

## 第4章 高齢者に関する各種調査結果の概要

### 1 高齢者実態調査結果

#### (1) 調査の概要

今後の高齢者施策の効果的・効率的な展開を図ることを目的として、2019(令和元)年度に高齢者本人、介護保険サービス利用者・未利用者・介護者、介護支援専門員及び大阪市内にある介護保険施設及び福祉施設を対象に「大阪市高齢者実態調査」を実施しました。

##### ① 本人調査

調査対象	市内に居住する65歳以上の高齢者から無作為抽出した20,400人		
調査方法	郵送配付、郵送回収	調査期間	7月8日～9月19日
調査項目数	57問(前回45問)	有効回答数	10,568件(51.8%)
調査概要	世帯の状況、健康状態、日常生活の状況、就労・地域生活の状況・意向、いきがいの状況、将来の介護や援護に対する考え、高齢者施策全般等		

##### ② ひとり暮らし調査

調査対象	市内に居住するひとり暮らし高齢者のうち、本人調査において「ひとり暮らし」と回答した方		
調査方法	郵送配付、郵送回収	調査期間	7月8日～9月19日
調査項目数	7問(前回9問)	有効回答数	3,203件(30.3%*)
調査概要	ひとりで暮らしている期間、日常的なつながり、緊急時の支援者の有無等		

※本人調査回答者のうち「ひとり暮らし」と回答された人の割合

##### ③ 介護支援専門員調査

調査対象	市内の居宅介護支援事業所等に勤務するすべての介護支援専門員4,355人(介護保険事務処理端末から抽出)		
調査方法	郵送配付、郵送回収	調査期間	7月8日～7月31日
調査項目数	52問(前回37問)	有効回答数	2,630件(60.4%)
調査概要	担当している利用者の状況、サービス内容と課題、支援困難な利用者への対応状況、高齢者虐待の状況、居宅介護支援事業全般について等		

##### ④ 介護保険サービス利用者調査

調査対象	市内に居住する要支援・要介護認定者で、2019(平成31)年1月から3か月の間、介護サービスを利用した方から無作為抽出した6,040人		
調査方法	郵送配付、郵送回収	調査期間	7月8日～9月19日
調査項目数	14問(前回13問)	有効回答数	2,669件(44.2%)

調査概要	世帯の状況、介護保険サービスの利用状況と利用に関する考え、介護予防の取り組み等
------	---

### ⑤ 介護保険サービス未利用者調査

調査対象	市内に居住する要支援・要介護認定者で、2019(平成31)年1月から3か月の間、介護サービスを利用しなかった方から無作為抽出した6,440人		
調査方法	郵送配付、郵送回収	調査期間	7月8日～9月19日
調査項目数	17問(前回12問)	有効回答数	1,948件(30.2%)
調査概要	世帯の状況、介護保険サービスの利用状況と利用に関する考え、介護予防の取り組み等		

### ⑥ 介護者調査

調査対象	介護保険サービス利用者・未利用者調査の対象者を介護している者(介護サービス事業者を除く)		
調査方法	郵送配付、郵送回収	調査期間	7月8日～9月19日
調査項目数	利用者調査の介護者22問(前回17問)、未利用者調査に介護者24問(前回16問)		
有効回答数	利用者調査1,208件(45.3%※)、未利用者調査1,174件(60.3%※)		
調査概要	基本属性、介護の状況、介護上の問題点、介護離職に関する問題等		

※利用者調査及び未利用者調査回答者のうち介護者調査に回答された人の割合

### ⑦ 施設調査

調査対象	市内にある介護保健施設及び福祉施設(1,009施設)		
調査方法	郵送配付、郵送回収	調査期間	7月8日～9月30日
調査項目数	21問(前回36問)	有効回答数	797件(79.0%)
調査概要	利用者の属性、施設の運営状況、サービスの質向上にあたっての取り組み状況等		

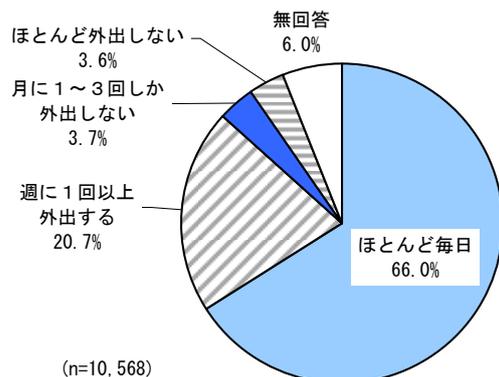
## (2) 調査結果の分析

### ① 本人調査

#### (ア) 外出の状況

本人調査によると、外出の頻度については、「ほとんど毎日」が66.0%と最も高く、「週に1回以上外出する」をあわせると86.7%となっています。

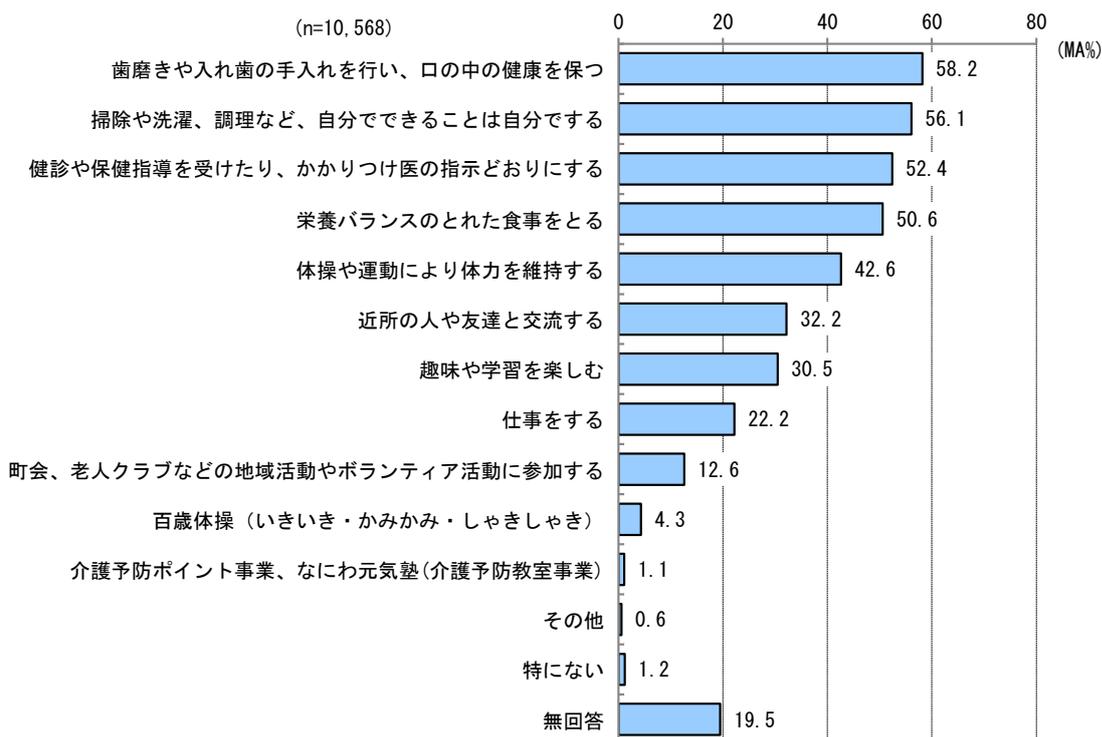
図表 4-1-1 外出頻度



#### (イ) 介護予防の状況

本人調査によると、介護予防のための取組みについては、「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」が58.2%で最も高く、次いで、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が56.1%、「健診や保健指導を受けたり、かかりつけ医の指示どおりにする」が52.4%となっています。

図表 4-1-2 介護予防のための取組み



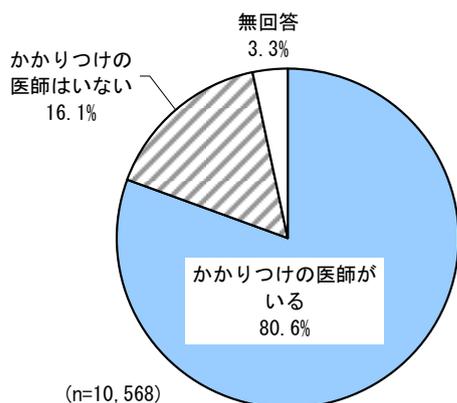
### (ウ) かかりつけ医の状況

かかりつけ医の有無については、「かかりつけの医師がいる」が80.6%に対して、「かかりつけの医師はいない」が16.1%となっています。

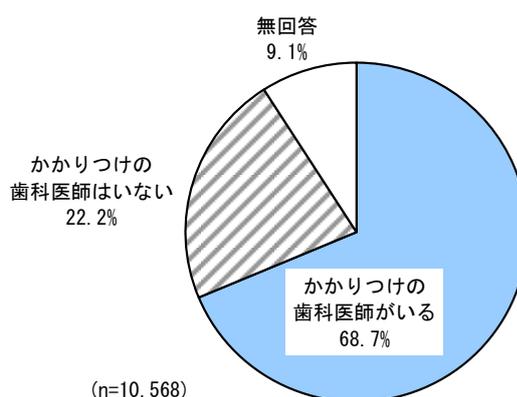
かかりつけ歯科医については、「かかりつけの歯科医師がいる」が68.7%に対して、「かかりつけの歯科医師はいない」が22.2%となっています。

区別でみると、かかりつけ医がいる割合は平野区が最も高く、かかりつけ歯科医がいる割合は天王寺区が最も高くなっています。

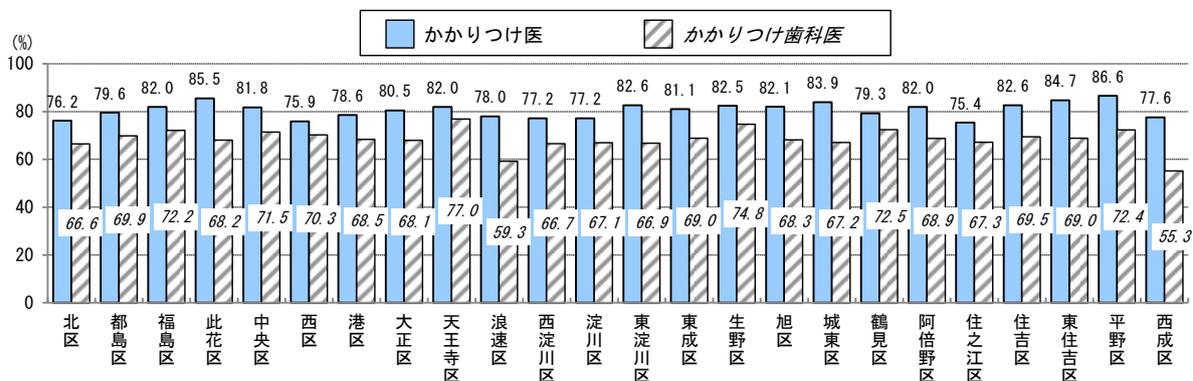
図表4-1-3 かかりつけ医の有無



図表4-1-4 かかりつけ歯科医の有無



図表4-1-5 かかりつけ医・歯科医のいる割合<区別>



### (エ) 在宅医療、希望する暮らし方について

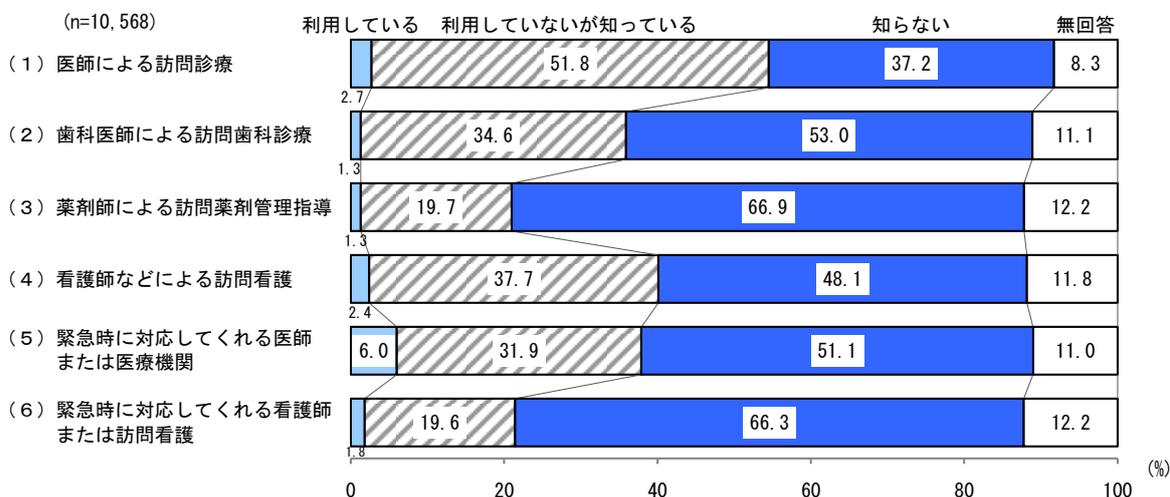
在宅で提供される医療について、「利用している」の回答割合をみると「緊急時に対応してくれる医師または医療機関」が最も高く6.0%となっており、「利用している」と「利用していないが知っている」を合計した認知度は「医師による訪問診療」が54.5%と最も高くなっています。

介護が必要になった時に希望する暮らし方については、「居宅介護サービスを受けながら、現在の住宅に住み続けたい」が32.0%と最も高く、次いで「家族などの介護を受けながら、現在の住宅に住み続けたい」が22.7%となっています。

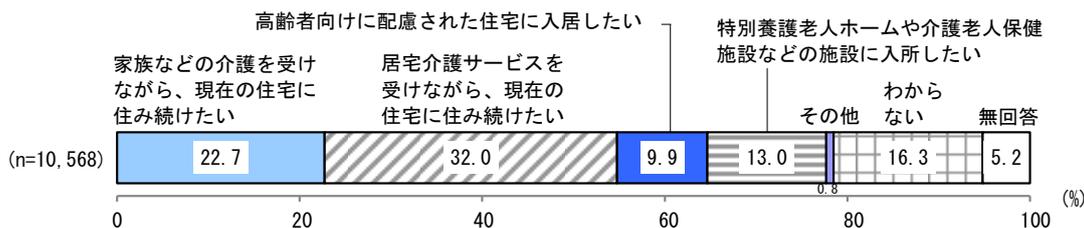
在宅生活の継続のために必要な支援については、「毎日の食事の準備・後片づけなど家事を手伝ってもらえること」、「災害時や緊急時の支援体制ができていくこと」、「自宅に

来てくれる医師や歯科医師、薬剤師などの専門職がいること」の順に高く、「自宅に来てくれる医師や歯科医師、薬剤師などの専門職がいること」の回答割合は前回調査結果よりもやや高くなっています。

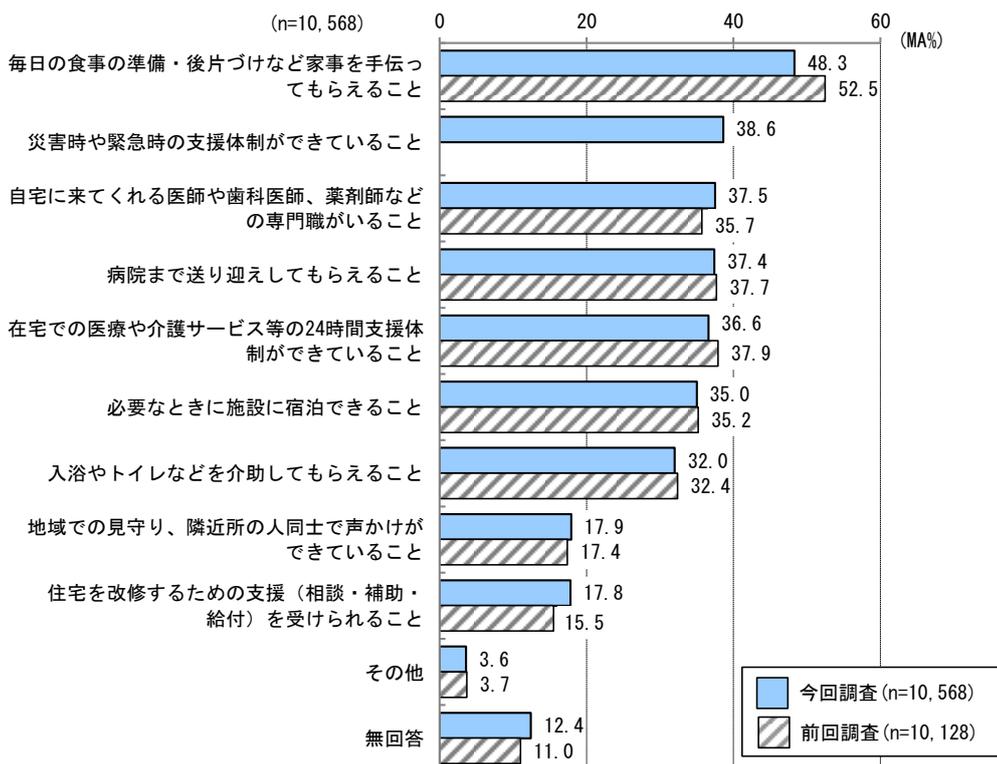
図表 4-1-6 在宅で提供される医療の利用度・認知度



図表 4-1-7 介護が必要になった時に希望する暮らし方



図表 4-1-8 在宅生活継続のために必要な支援



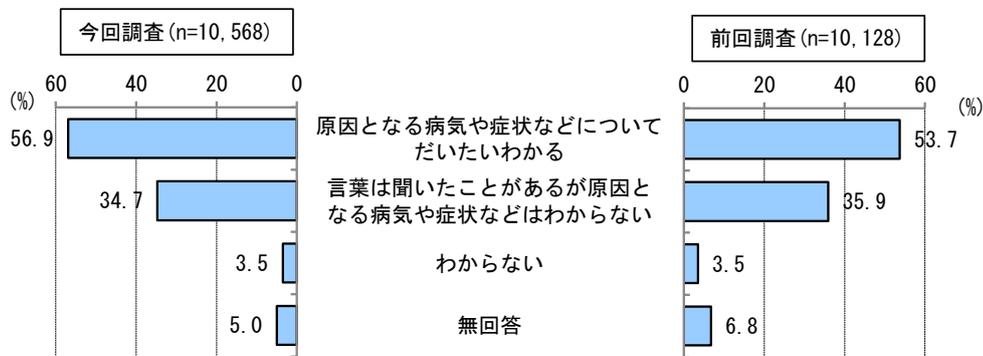
## (オ) 認知症について

認知症という病気の認知度については、「原因となる病気や症状などについてだいたいわかる」が56.9%で、前回調査結果よりも回答割合が高まっています。一方、「言葉は聞いたことがあるが原因となる病気や症状などはわからない」は34.7%と前回よりやや低い回答割合となっています。

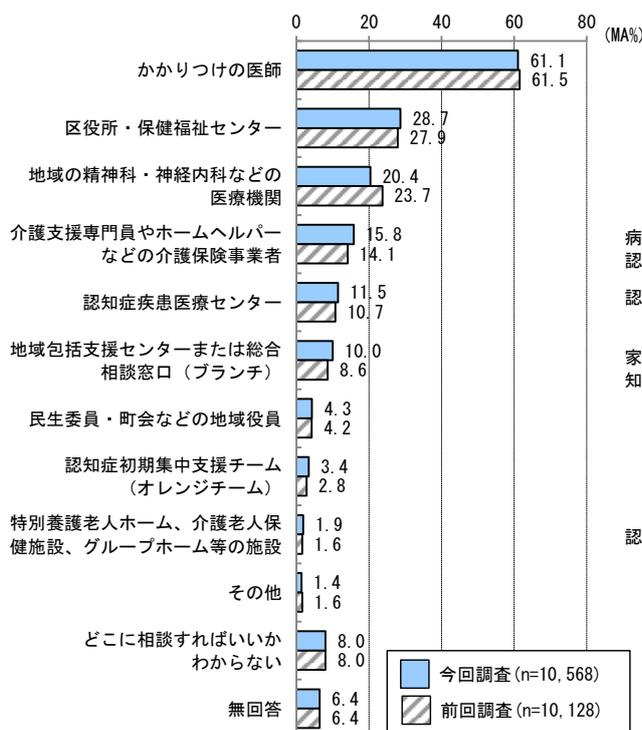
認知症を不安に感じる時の相談先については、「かかりつけの医師」が61.1%と最も高く、「区役所・保健福祉センター」、「地域の精神科・神経内科などの医療機関」が2割台となっています。

認知症の人の支援に必要なことについては、「認知症の早期発見への取組み」が57.5%と最も高く、次いで「認知症の人を介護する家族に対する支援」が43.5%となっています。

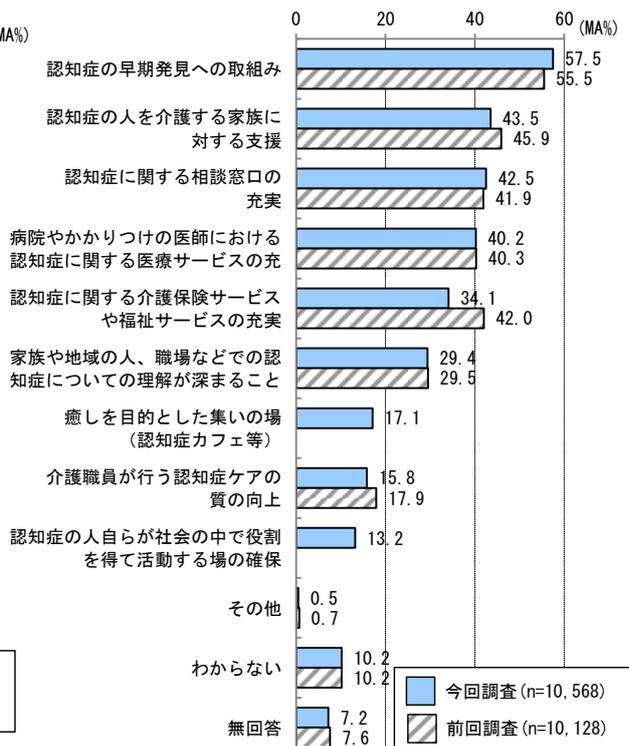
図表 4-1-9 認知症という病気の認知度



図表 4-1-10 認知症を不安に感じる時の相談先



図表 4-1-11 認知症の人の支援に必要なこと

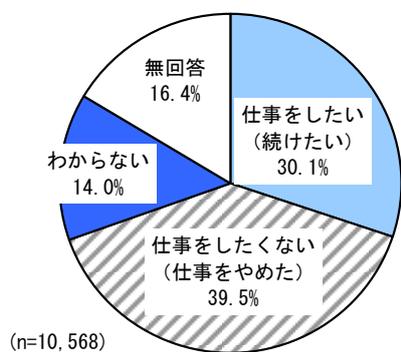


(カ) 就労について

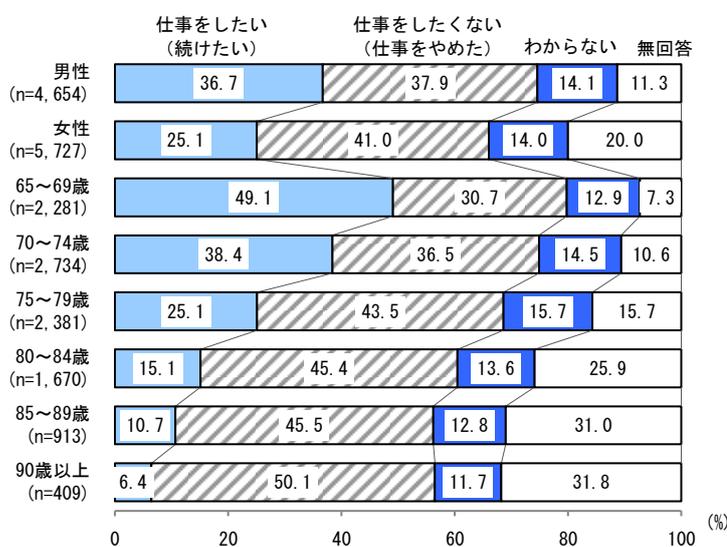
今後の就労意向については、「仕事をしたい(続けたい)」が30.1%となっており、性別にみると、女性より男性のほうが1割程度高くなっています。年齢別では、「仕事をしたい(続けたい)」が65～69歳では半数近くを占めていますが、高齢になるにつれて「仕事をしたくない(仕事をやめた)」が増加し、75～79歳で割合が逆転しています。

仕事をしたい(続けたい)と回答した人に、その理由をたずねると、「健康に良いから」が59.5%で最も高く、次いで「生きがいを得られるから」が56.6%、「生活費が必要だから」が52.0%となっています。前回調査と比べると、「生活費が必要だから」は前回よりも高い割合となっています。

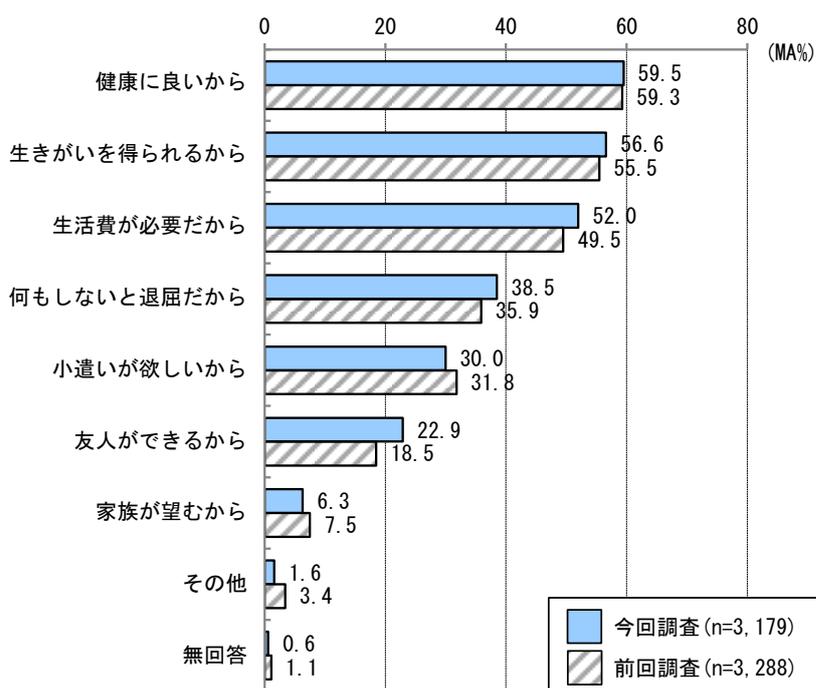
図表 4-1-12 今後の就労意向



図表 4-1-13 今後の就労意向 (性別・年齢別)



図表 4-1-14 仕事をしたい(続けたい)理由



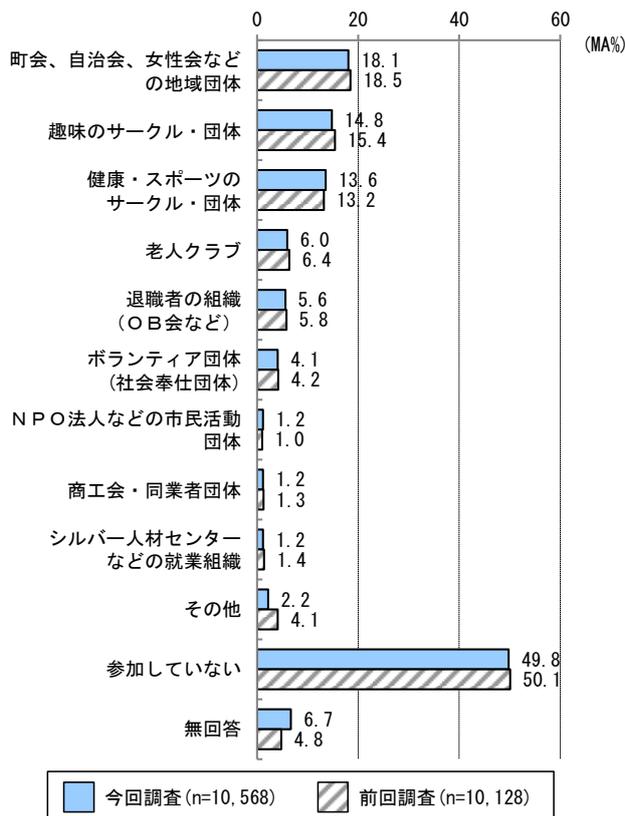
## (キ) 地域活動について

現在、継続的に参加している活動では、「町会、自治会、女性会などの地域団体」、「趣味のサークル・団体」、「健康・スポーツのサークル・団体」などが挙げられていますが、回答割合は「参加していない」が最も高く 49.8%となっています。参加している人のきっかけでは「健康のため」との回答割合が高く、参加していない人の理由では「興味をひくものがない」が高くなっています。

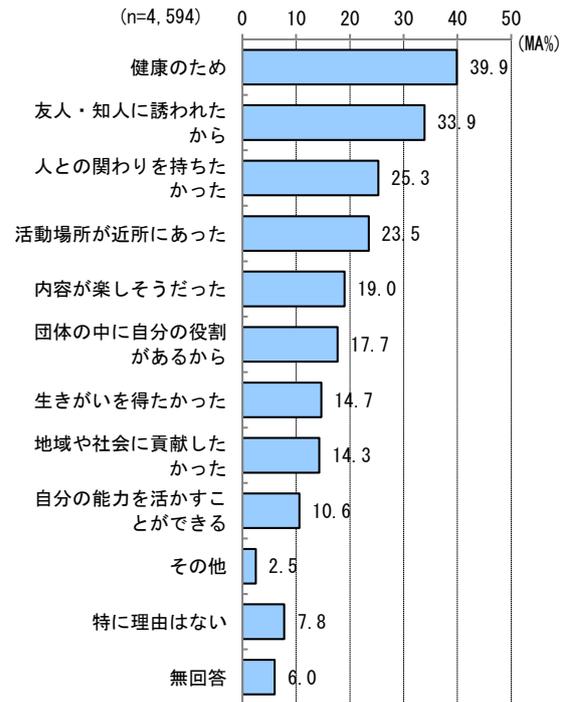
また、地域社会に貢献できると考える活動では、「ボランティア活動」が 21.9%、「地域の防災・防犯などの活動」が 11.5%となっています。

一方で、近所の方がお困りのときに支援できることについては、「安否確認の見守りや声かけ」が 37.5%で最も高く、次いで「災害時の手助け」が 21.2%、「ちょっとした買い物の手伝い」と「話し相手、相談相手」がともに 19.2%となっています。

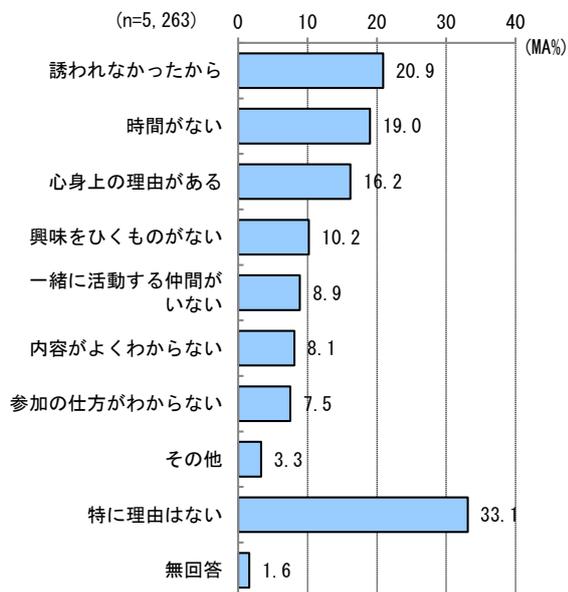
図表 4-1-15 継続的に参加している団体や集まり



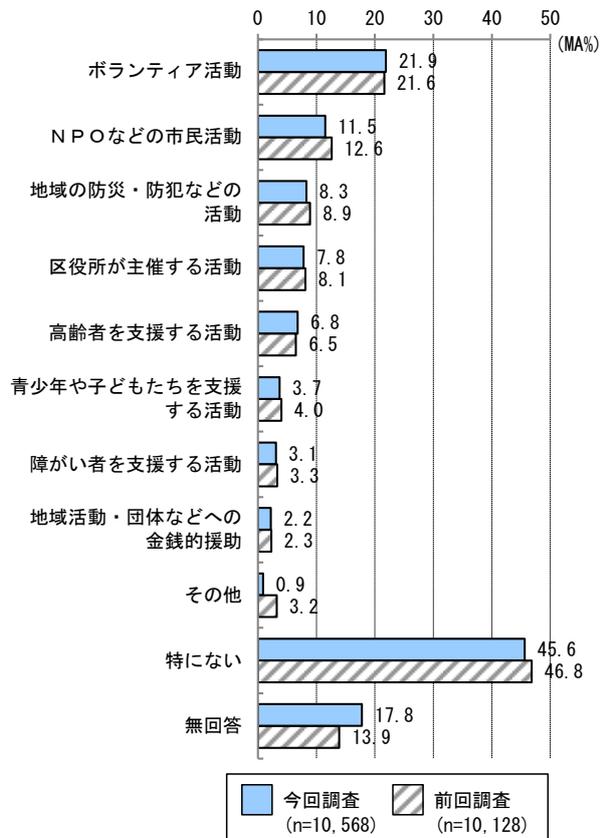
図表 4-1-16 参加のきっかけ



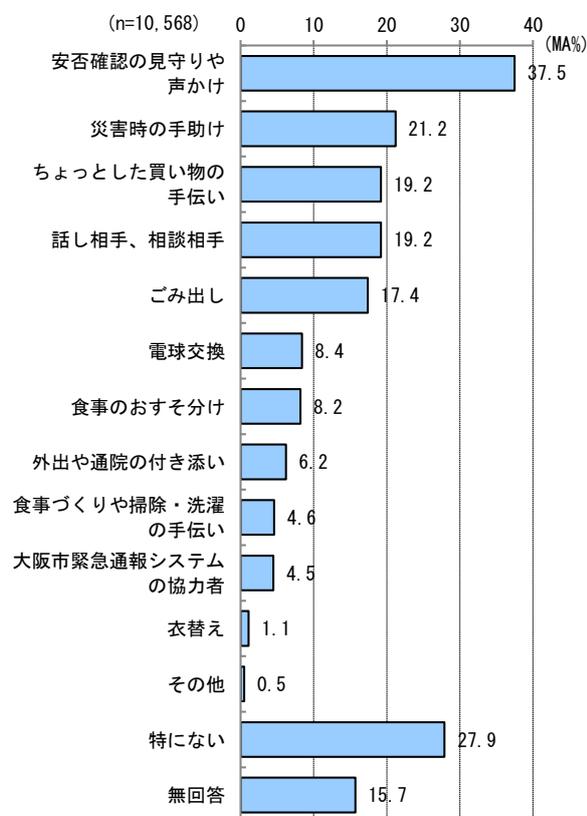
図表 4-1-17 参加していない理由



図表 4-1-18 地域社会に貢献できると考える活動



図表 4-1-19 近所の方への支援

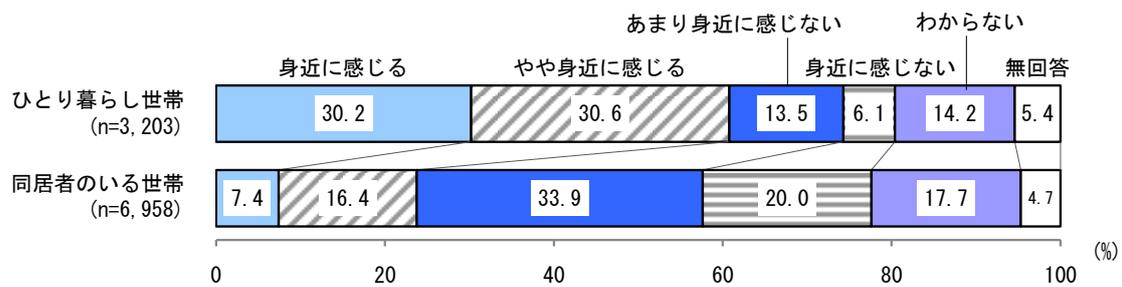


## ② ひとり暮らし調査（本人調査における世帯比較結果）

### （ア）孤立死について

ひとり暮らし世帯の回答者の「孤立死について考えること」について、「身近に感じる」「やや身近に感じる」をあわせた割合は60.8%となっており、同居者のいる世帯の23.8%に対して大きな差がみられます。

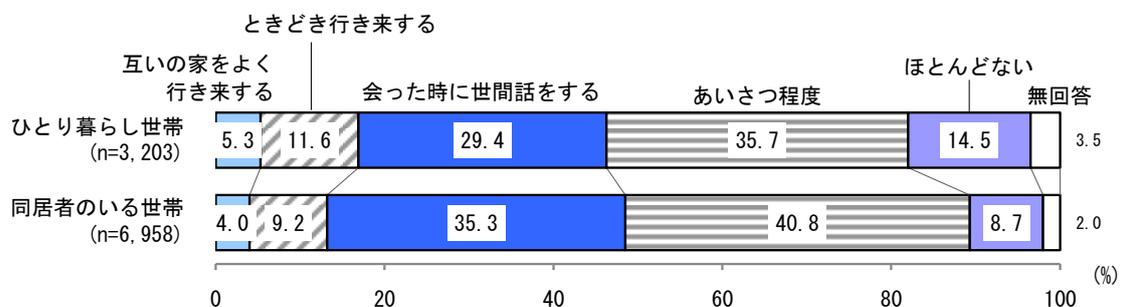
図表4-2-1 孤立死に関する不安



### （イ）近所付き合いの状況

ひとり暮らし世帯の回答者の「近所付き合いの状況」については、「互いの家をよく行き来する」、「ときどき行き来する」の回答割合が、同居者のいる世帯に比べて高くなっています。また、「ほとんどない」についても、同居者のいる世帯に比べて回答割合が高くなっています。

図表4-2-2 近所付き合いの頻度

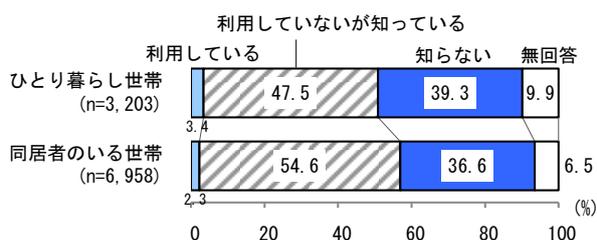


(ウ) 在宅で提供される医療について

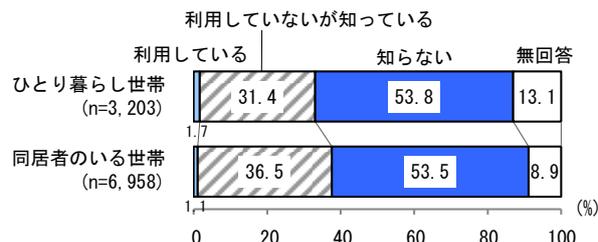
ひとり暮らし世帯の回答者の「在宅で提供される医療」については、「利用している」はいずれの項目も同居者のいる世帯よりひとり暮らし世帯のほうが回答割合が高くなっています。「利用していないが知っている」の回答割合は、「緊急時に対応してくれる看護師または訪問看護」のみ同居者のいる世帯よりもひとり暮らし世帯のほうが高くなっています。

図表4-2-3 在宅で提供される医療

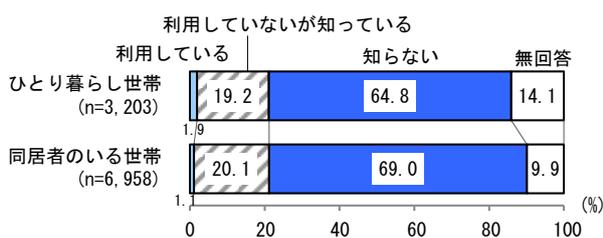
(1) 医師による訪問診療



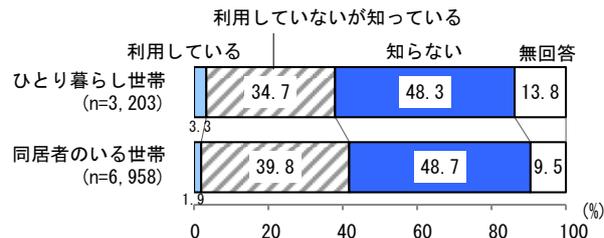
(2) 歯科医師による訪問歯科診療



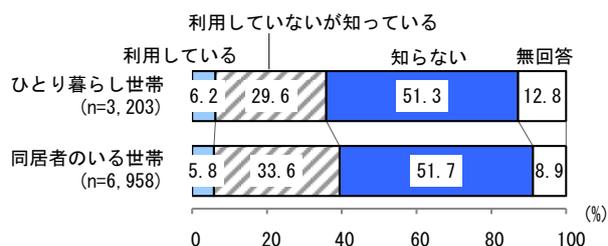
(3) 薬剤師による訪問薬剤管理指導



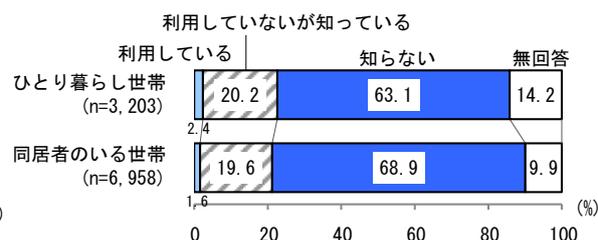
(4) 看護師などによる訪問看護



(5) 緊急時に対応してくれる医師または医療機関



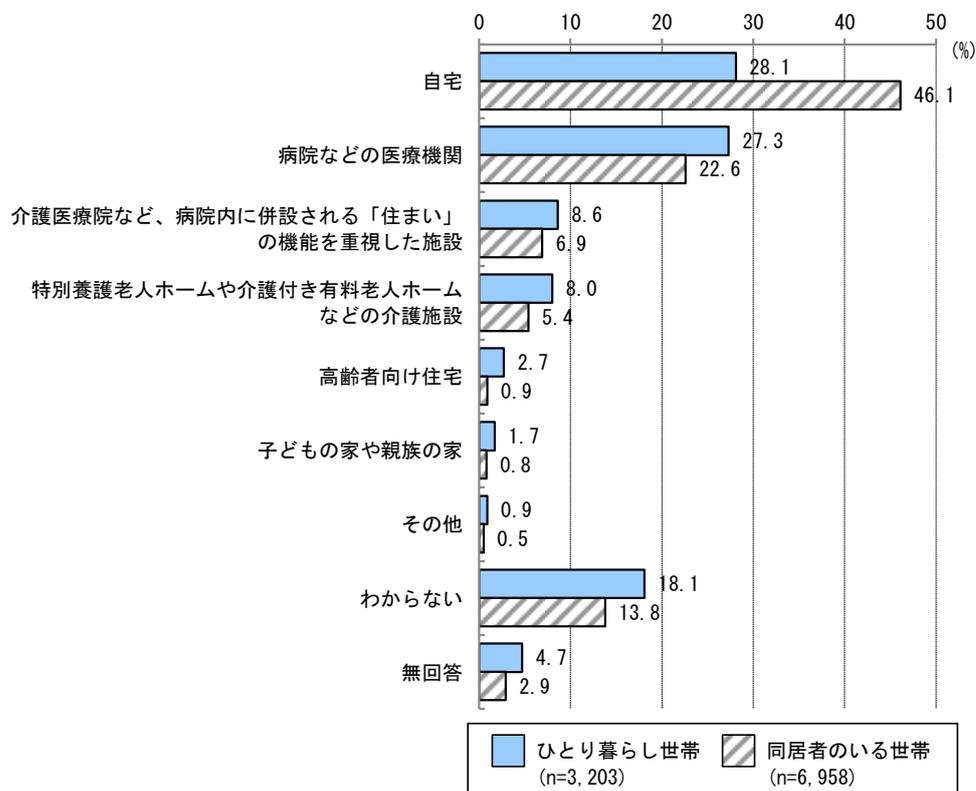
(6) 緊急時に対応してくれる看護師または訪問看護



## (エ) 人生の最終段階に過ごしたい場所について

ひとり暮らし世帯の回答者の「人生の最終段階に過ごしたい場所」については、「自宅」が28.1%と最も高くなっていますが、同居者のいる世帯に比べると2割低くなっています。「自宅」に次いで「病院などの医療機関」が高くなっています。

図表4-2-4 人生の最終段階に過ごしたい場所

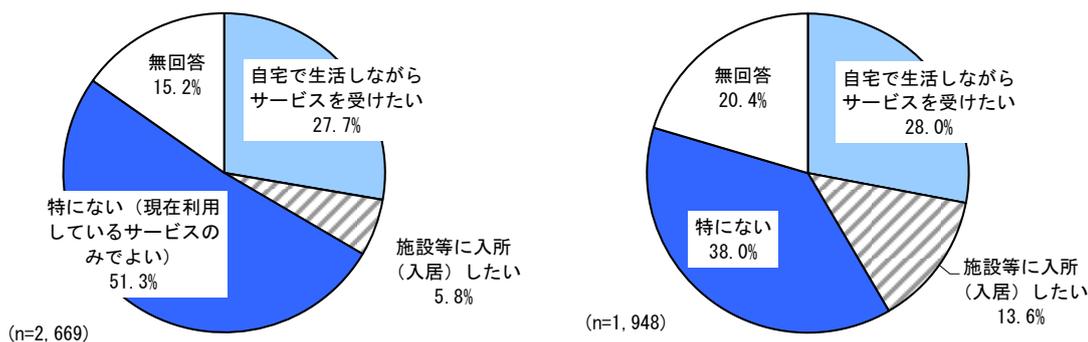


## ③ 介護保険サービス利用者・未利用者調査

### (ア) 1年以内に利用したい介護保険サービス

1年以内に利用したい介護保険サービスについては、サービス利用者、サービス未利用者とも「施設に入所（入居）したい」よりも「自宅で生活しながらサービスを受けたい」の方が高くなっています。

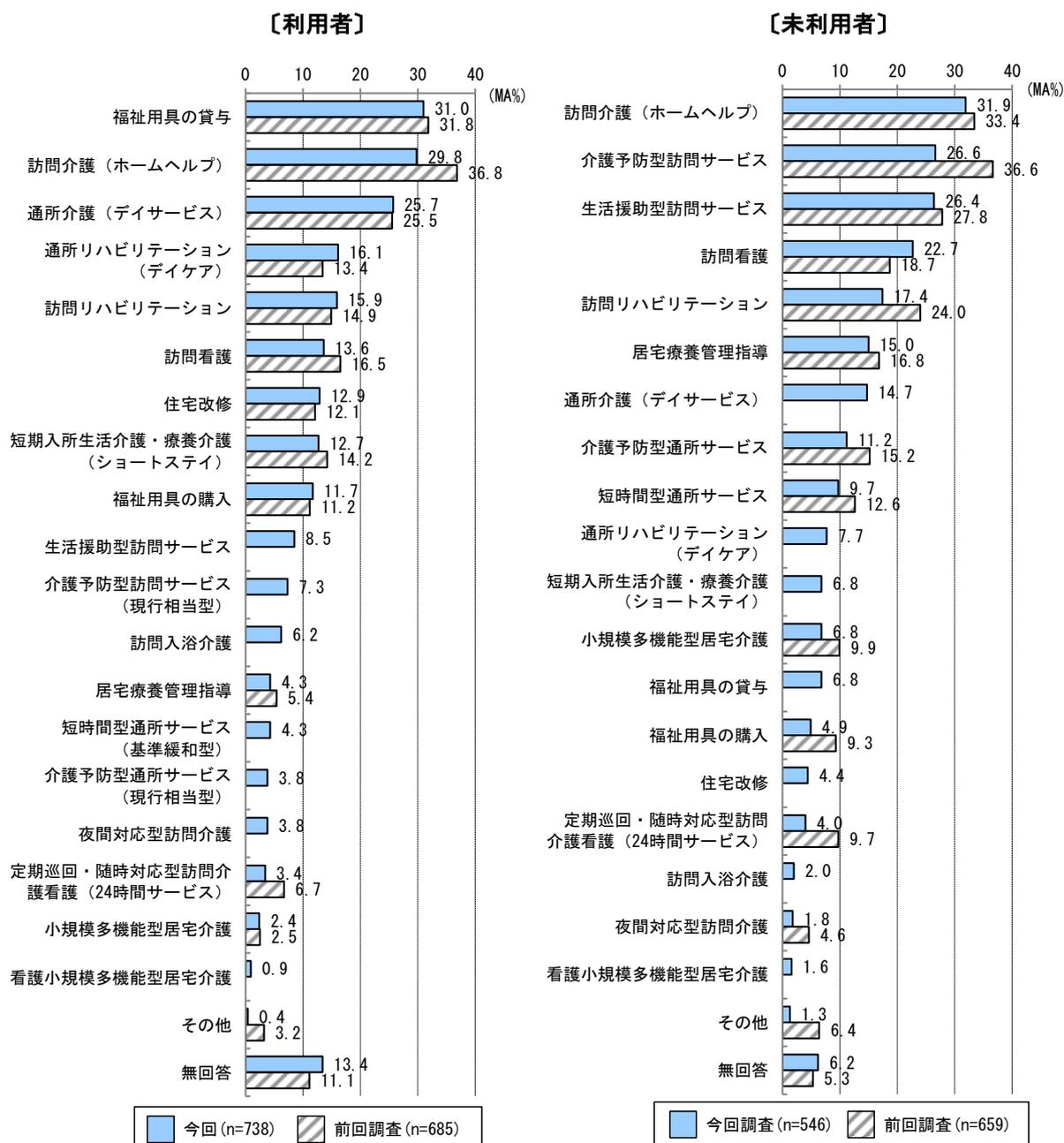
図表4-3-1 利用中のサービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービス  
〔利用者〕 〔未利用者〕



(イ) 1年以内に利用したい「在宅」の介護保険サービス

1年以内に利用したい在宅の介護保険サービスについては、サービス利用者・未利用者ともに「福祉用具の貸与」、「訪問介護（ホームヘルプ）」、「通所介護（デイサービス）」の順に高く、次いで利用者では「通所リハビリテーション（デイケア）」、未利用者では「福祉用具の購入」となっています。

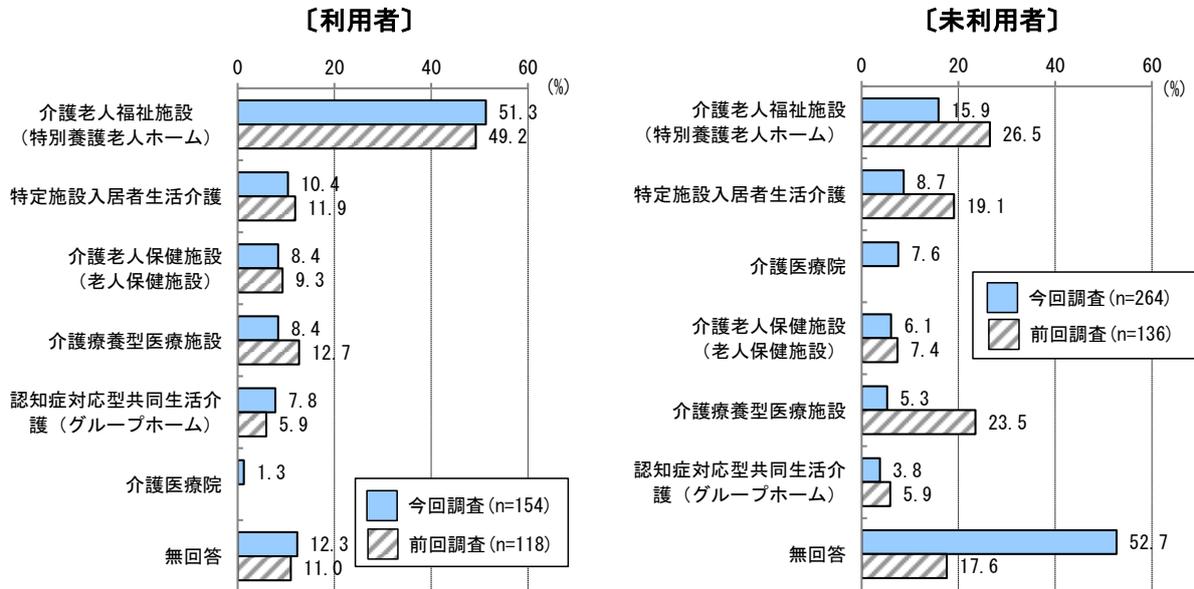
図表4-3-2 1年以内に利用したい在宅の介護保険サービス



### (ウ) 1年以内に利用したい「施設」の介護保険サービス

1年以内に利用したい施設の介護保険サービスについては、サービス利用者、サービス未利用者とも「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最も高く、次いで「特定施設入居者生活介護」となっています。

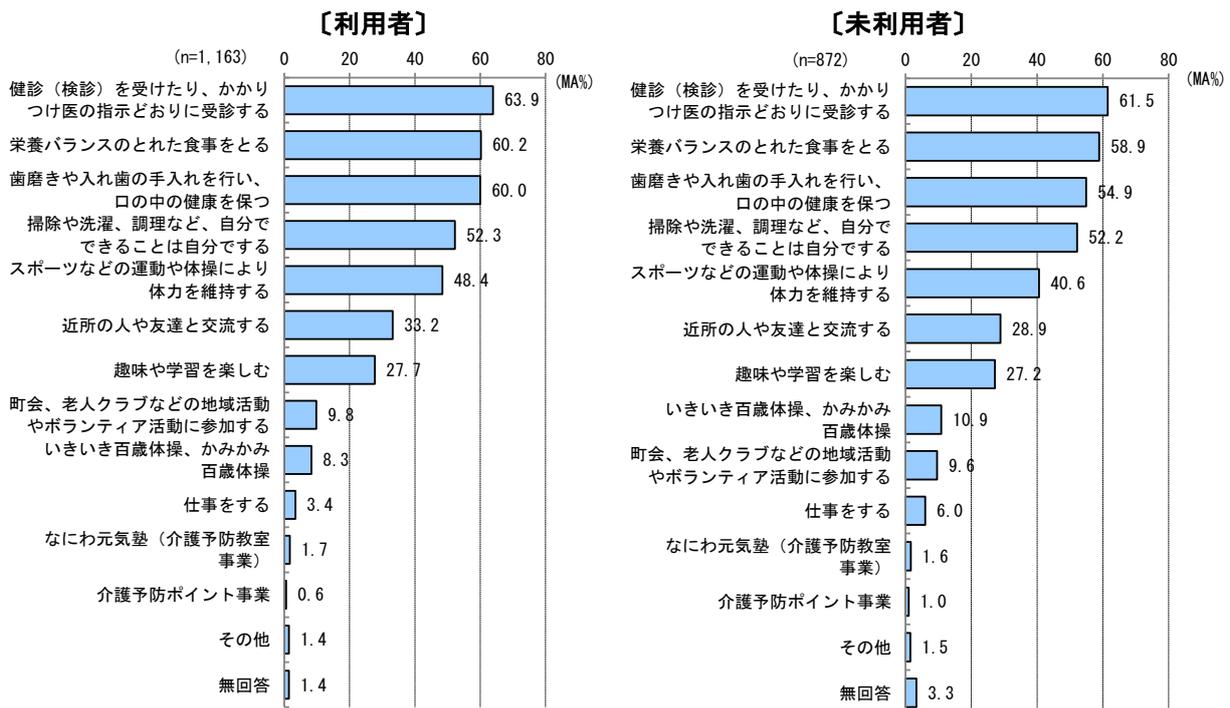
図表4-3-3 1年以内に利用したい施設の介護保険サービス



### (エ) 介護予防の取組みについて

介護予防の取組みについては、利用者・未利用者ともに、「健診（検診）を受けたり、かかりつけ医の指示どおりに受診する」が最も高く、次いで「栄養バランスのとれた食事をとる」、「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」などとなっています。

図4-3-4 取り組み意向のある介護予防

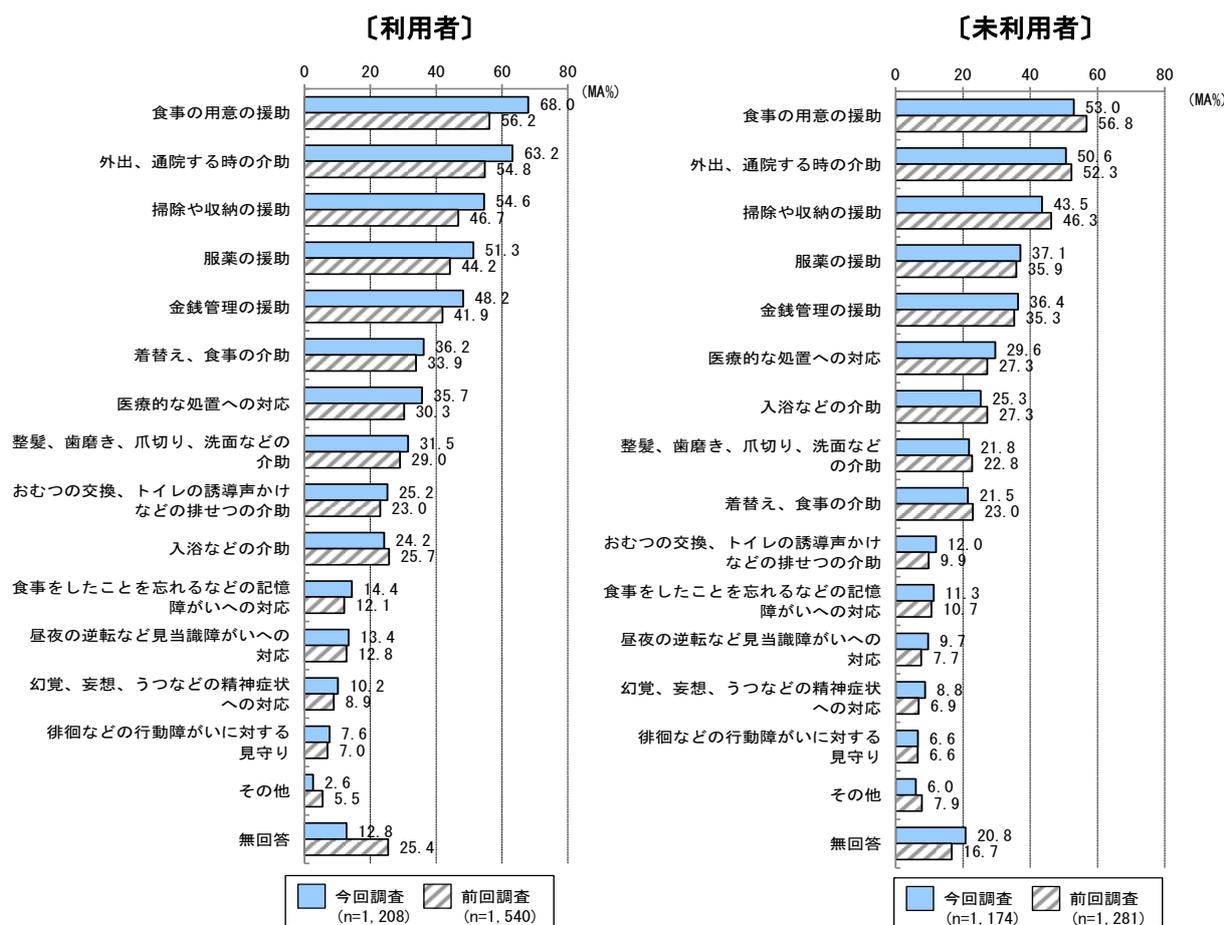


#### ④ 介護をしている方を対象とした調査

##### (ア) 介護の内容について

介護をしている方にたずねた、回答者本人への介護の内容については、サービス利用者・未利用者ともに、「食事の用意の援助」が最も高く、次いで「外出、通院する時の介助」、「掃除や収納の援助」となっています。利用者では「入浴などの介助」を除く項目で、前回調査結果を上回っています。

図表4-4-1 本人への介護内容

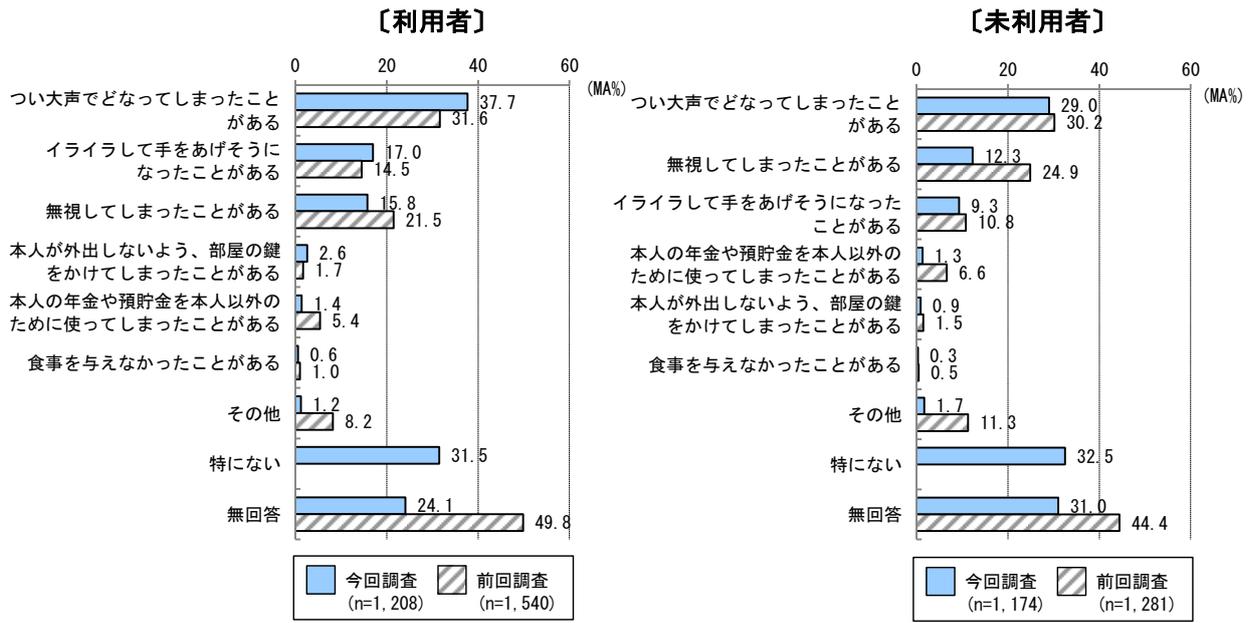


##### (イ) 介護時の状態、困りごとについて

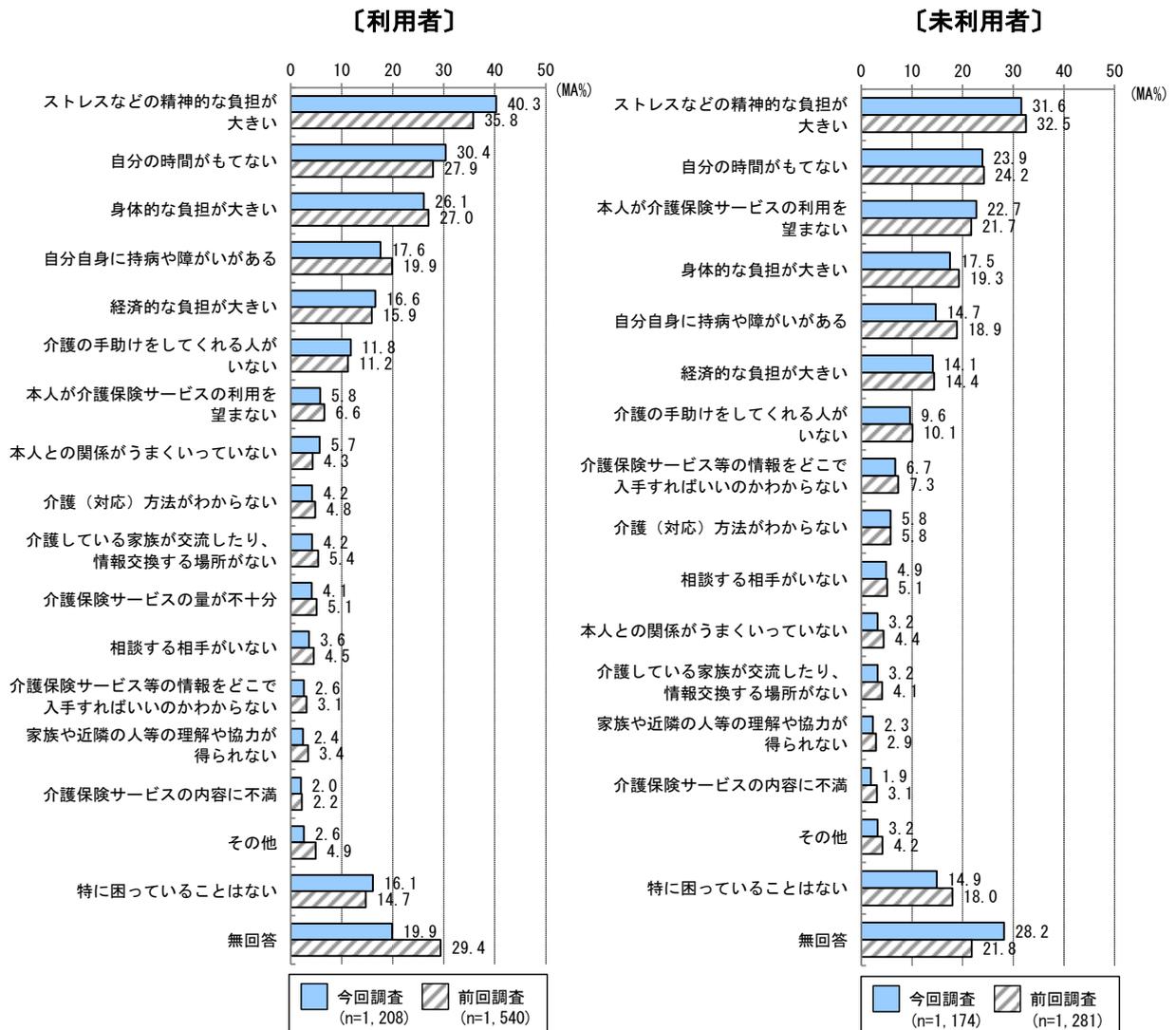
介護者が本人に対して行ってしまった虐待につながるおそれのある行為については、サービス利用者・未利用者の両介護者とも「つい大声でどなってしまったことがある」が最も高く、利用者では前回よりも割合は高まっています。次いで利用者では「イライラして手をあげそうになったことがある」、未利用者では「無視してしまっただことがある」などとなっています。

介護を行ううえで困っていることについては、サービス利用者・未利用者の両介護者とも「ストレスなどの精神的な負担が大きい」が最も高く、次いで「自分の時間がもてない」となっています。続いて、サービス利用者の介護者は「身体的な負担が大きい」、サービス未利用者の介護者では「本人が介護保険サービスの利用を望まない」となっています。

図表 4-4-2 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと



図表 4-4-3 介護を行ううえで困っていること

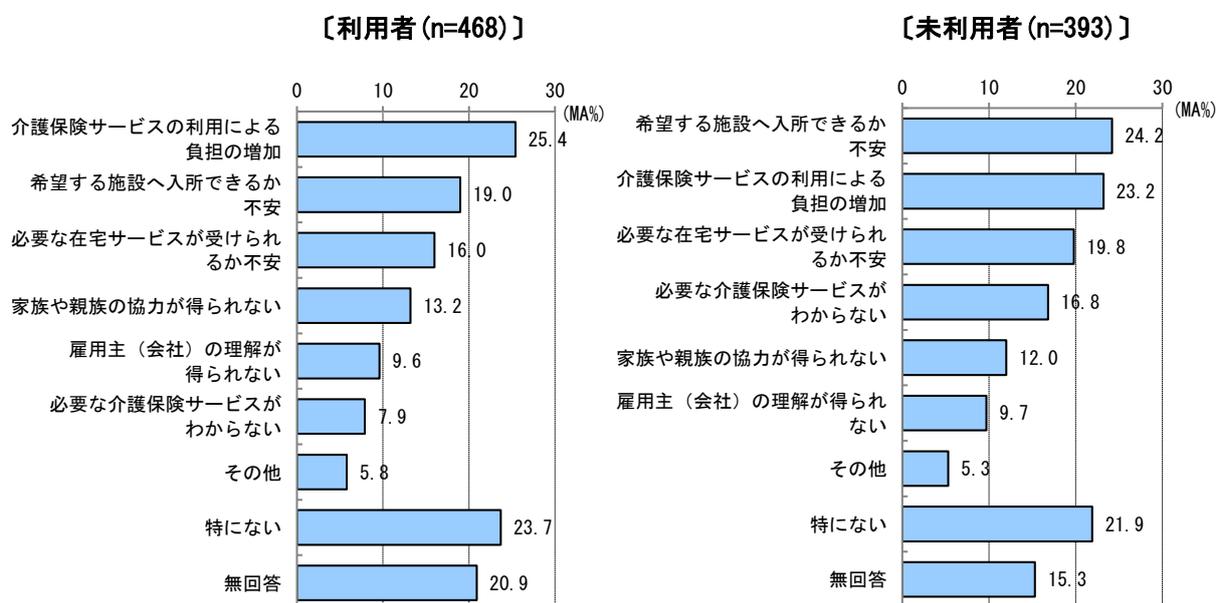


(ウ) 介護者の就労継続について

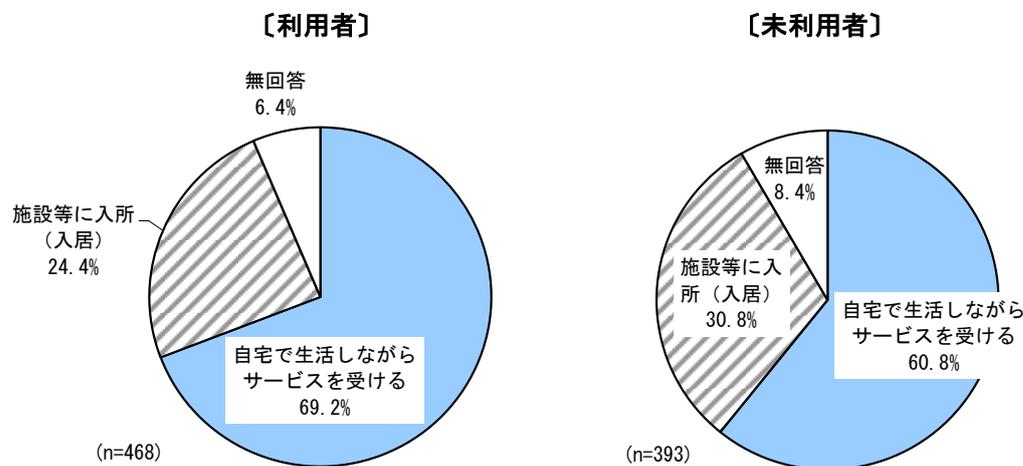
介護者が仕事を続けるにあたって不安なことについては、サービス利用者の介護者では「介護保険サービスの利用による負担の増加」が最も高く、次いで「希望する施設へ入所できるか不安」、「必要な在宅サービスが受けられるか不安」となっています。サービス未利用者の介護者では「希望する施設へ入所できるか不安」が最も高く、次いで「介護保険サービスの利用による負担の増加」、「必要な在宅サービスが受けられるか不安」となっています。

就業中もしくは本人の介護のために離職した介護者が仕事を続けるために必要な介護保険サービスについては、サービス利用者・未利用者の両介護者とも「自宅で生活しながらサービスを受ける」が6割台、「施設等に入所（入居）」は利用者は2割強、未利用者は3割となっています。

図表 4-4-4 介護者が仕事を続けるにあたって不安なこと



図表 4-4-5 介護者が仕事を続けるために必要な介護保険サービス



## ⑤ 施設調査

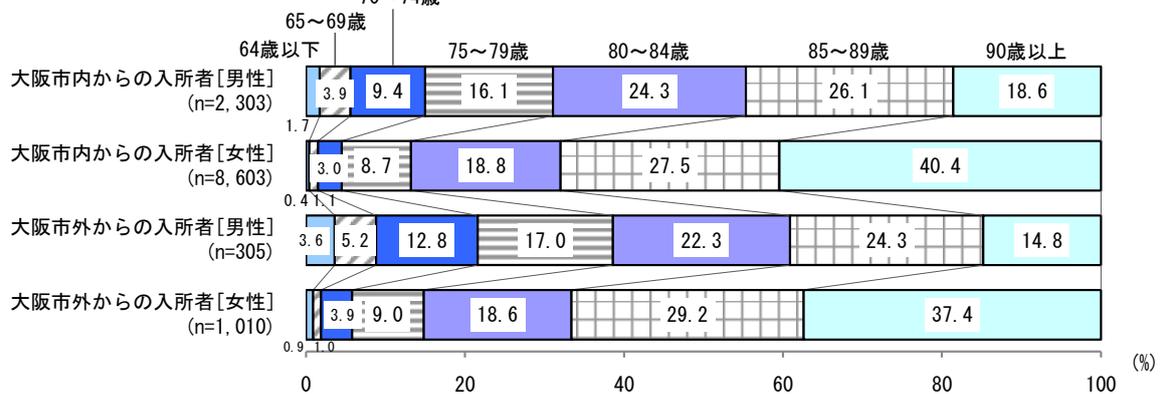
### (ア) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の入所者の状況

介護老人福祉施設への入所者の状況を性別・年齢別にみると、大阪市内・市外からの入所者とも90歳以上の女性で最も高い割合となっています。女性は年齢が上がるにつれ、割合が高くなっています。男性も年齢が上がるにつれ割合が高くなっていますが、85～89歳がピークとなっています。

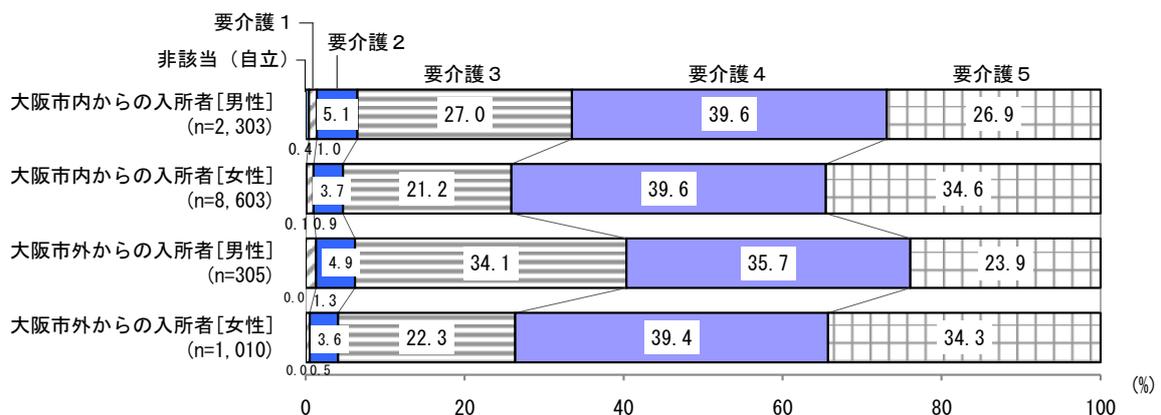
性別・要介護度別にみると、男女ともに「要介護4」が最も高く、次いで男性は「要介護3」、女性は「要介護5」となっています。「要介護5」は男性よりも女性の割合が高くなっています。

介護老人福祉施設への入所時の住所別の内訳では、「施設の所在区」が67.6%、「その他の区」が21.0%、「府内市町村」が8.1%となっています。

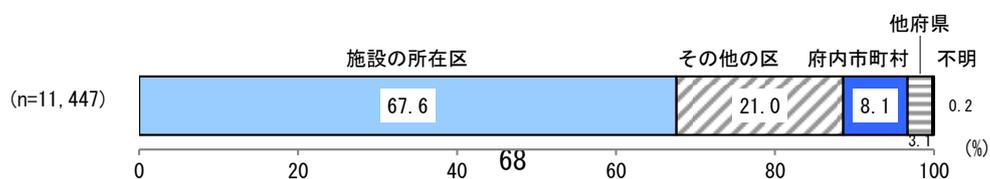
図表4-5-1 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）における入居者の状況 年齢別・男女別



図表4-5-2 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）入居者の状況 要介護度別・男女別



図表4-5-3 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）入所（入院・入居）時の住所別人数構成比

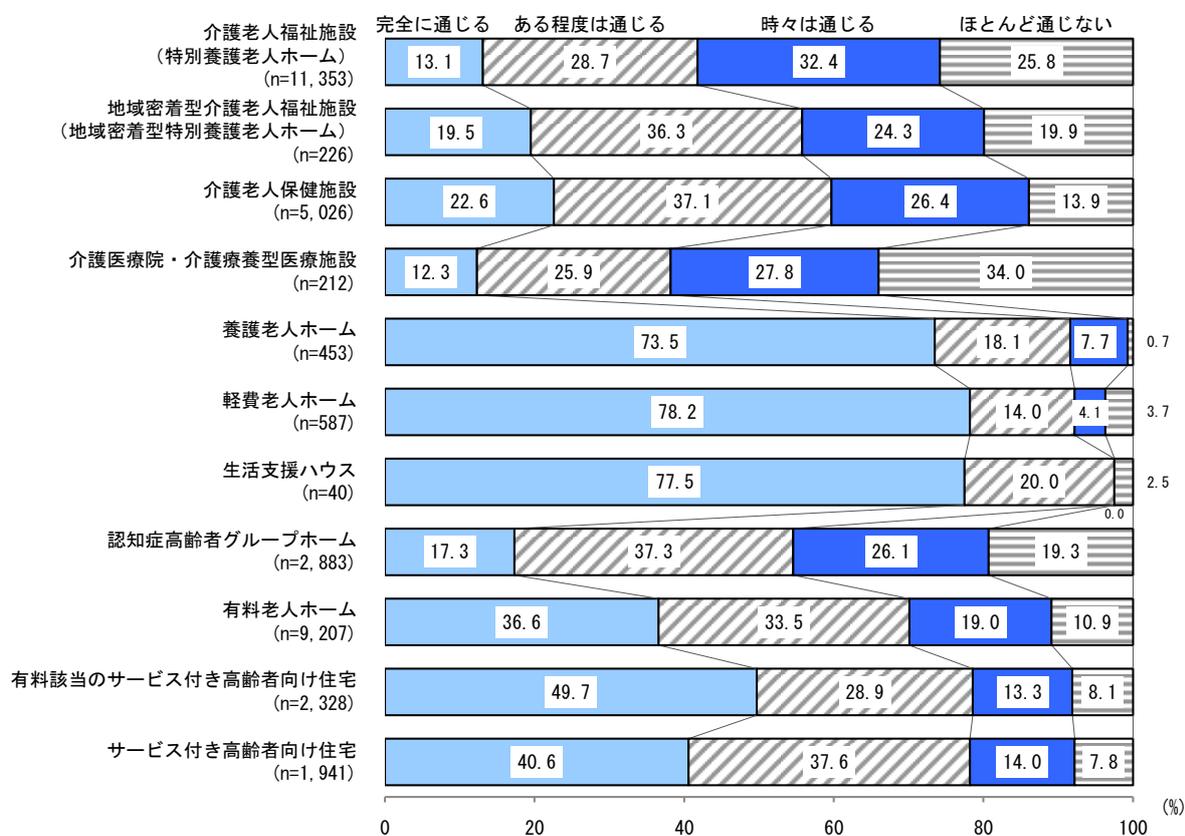


### (イ) 各施設入所者の意思疎通の状況

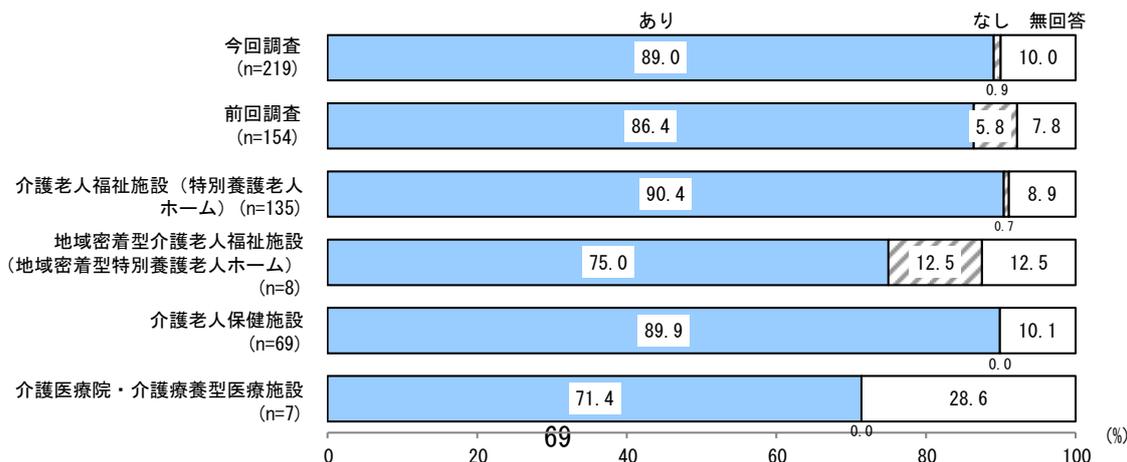
介護老人福祉施設への入所者の意思疎通について、「完全に通じる」と「ある程度通じる」、「時々通じる」を合わせた『通じる』入所者の割合は、施設別にみると、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、生活支援ハウス、有料該当のサービス付き高齢者向け住宅、サービス付き高齢者向け住宅ではいずれも9割を超えています。「ほとんど通じない」は、介護医療院・介護療養型医療施設で34.0%、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）で25.8%となっています。

医療的処置が必要な方の入所が「あり」の施設は全体が89.0%で、いずれの施設も7割を超えており、前回調査と比較すると、「あり」は前回より高まっています。

図表4-5-4 入所（入院・入居）者の意思疎通の状況（施設別）



図表4-5-5 医療的処置が必要な方の入所有無



## 2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

### (1) 調査の概要

本市に居住する65歳以上の高齢者で要介護認定を受けておられない方を対象に、日常生活圏域ごとに、要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の課題の特定に資することを目的として「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」を実施しました。

調査対象	2019（令和元）年10月1日現在で、市内在住、要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者から無作為抽出した52,800人					
調査方法	郵送配布・郵送回収					
調査期間	2019（令和元）年11月29日（金）～12月20日（金）					
有効回答数	32,953件（62.4%）					
	＜圏域別回収数＞					
	北区 501件[62.6%]	天王寺区 503件[62.9%]	生野区 500件[62.5%]	阿倍野区 541件[67.6%]	東住吉北 497件[62.1%]	
	北区大淀 505件[63.1%]	浪速区 464件[58.0%]	東生野 450件[56.3%]	阿倍野区北部 556件[69.5%]	平野区 507件[63.4%]	
	都島区 488件[61.0%]	西淀川区 521件[65.1%]	鶴橋 459件[57.4%]	阿倍野区中部 525件[65.6%]	加美 467件[58.4%]	
	都島区北部 520件[65.0%]	西淀川区南西部 478件[59.8%]	巽 482件[60.3%]	住之江区 484件[60.5%]	長吉 502件[62.8%]	
	福島区 534件[66.8%]	淀川区 504件[63.0%]	旭区 512件[64.0%]	さきしま 511件[63.9%]	瓜破 514件[64.3%]	
	此花区 472件[59.0%]	淀川区東部 500件[62.5%]	旭区西部 508件[63.5%]	安立・敷津浦 514件[64.3%]	喜連 522件[65.3%]	
	此花区南西部 460件[57.5%]	淀川区西部 483件[60.4%]	旭区東部 541件[67.6%]	加賀屋・粉浜 504件[63.0%]	西成区 423件[52.9%]	
	中央区 467件[58.4%]	淀川区南部 493件[61.6%]	城東区 527件[65.9%]	住吉区 489件[61.1%]	玉出 457件[57.1%]	
	中央区北部 516件[64.5%]	東淀川区 494件[61.8%]	城東・放出 522件[65.3%]	住吉区北 524件[65.5%]	西成区北西部 417件[52.1%]	
	西区 489件[61.1%]	東淀川区北部 521件[65.1%]	城陽 503件[62.9%]	住吉区東 513件[64.1%]	西成区東部 411件[51.4%]	
	港区 486件[60.8%]	東淀川区南西部 508件[63.5%]	葦・鯉江 523件[65.4%]	住吉区西 531件[66.4%]	不明 7件	
	港区南部 500件[62.5%]	東淀川区中部 521件[65.1%]	鶴見区 511件[63.9%]	東住吉区 540件[67.5%]		
	大正区 465件[58.1%]	東成区南部 505件[63.1%]	鶴見区西部 515件[64.4%]	矢田 505件[63.1%]		
	大正区北部 480件[60.0%]	東成区北部 504件[63.0%]	鶴見区南部 512件[64.0%]	中野 545件[68.1%]		
	※日常生活圏域の詳細は、第6章「3 日常生活圏域の設定」参照					
	調査概要	回答者の属性、家族や生活状況、からだを動かすこと、食べること、毎日の生活、地域での活動、たすけあい、健康、認知症にかかる相談窓口の把握 等				

## (2) 調査結果の分析

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」では、「基本チェックリスト」の質問項目や「手段的自立度 (IADL)」などの指標の判定に関する項目と同様の項目が設定されています。

### □生活機能評価

「基本チェックリスト」<sup>※1</sup>に関する調査項目により、運動器機能、閉じこもり傾向、低栄養傾向、口腔機能、認知機能、うつ傾向などの機能の低下リスクがあるかを判定します。

### □日常生活評価

活動的な日常生活をおくるための能力 (手段的自立度: IADL<sup>※2</sup>) が低下している人の状況を把握します。IADLの判定は、高齢者の比較的高次の生活機能进行评估することができる「老研式活動能力指標」<sup>※3</sup>による判定を用いています。

### □社会参加評価

余暇や創作など生活を楽しむ能力 (知的能動性) や、地域で社会的な役割を果たす能力 (社会的役割) が低下している人の状況を把握します。手段的自立度 (IADL) の評価判定で用いた「老研式活動能力指標」の知的能動性、社会的役割に関する調査項目により、社会参加の評価を行っています。

※1 「基本チェックリスト」…65歳以上の高齢者が、日常生活に必要な生活機能の低下がないかどうかをチェックするための質問票のこと。要支援・要介護状態等になるおそれが高い高齢者を早期に把握し、必要な支援に適切につなげるにより状態悪化を防ぐ目的で活用し、全25項目の質問に対し、「はい」「いいえ」等で記入する。

※2 「手段的自立度 (IADL)」…買物、洗濯、電話、薬の管理など、「日常生活動作 (Activity of Daily Living: ADL、食事、排泄、更衣、整容、入浴など日常生活を送るために必要な基本動作のことをいう)」より複雑で高度な動作を行える自立度の程度を示す指標を「手段的自立度 (Instrument Activity of Daily Living: IADL)」という。

※3 「老研式活動能力指標」…社会的な生活機能を測る指標で、「バスや電車で一人で外出しているか」、「友人の家を訪ねているか」など13の質問項目により構成されている。その内容は、(1)活動的な日常生活をおくるための動作能力 (IADL)、(2)余暇や創作などの積極的な知的活動能力、(3)地域で社会的な役割を果たす能力の3つとなっている。

## ① 生活機能評価

運動器の機能低下のリスクありの割合は、住吉区西圏域 (22.4%) が最も高くなっています。

閉じこもり傾向のリスクありの割合は、西成区北西部圏域 (6.2%) が最も高くなっています。

低栄養傾向のリスクありの割合は、西成区北西部圏域と西成区東部圏域がともに3.4%で最も高くなっています。

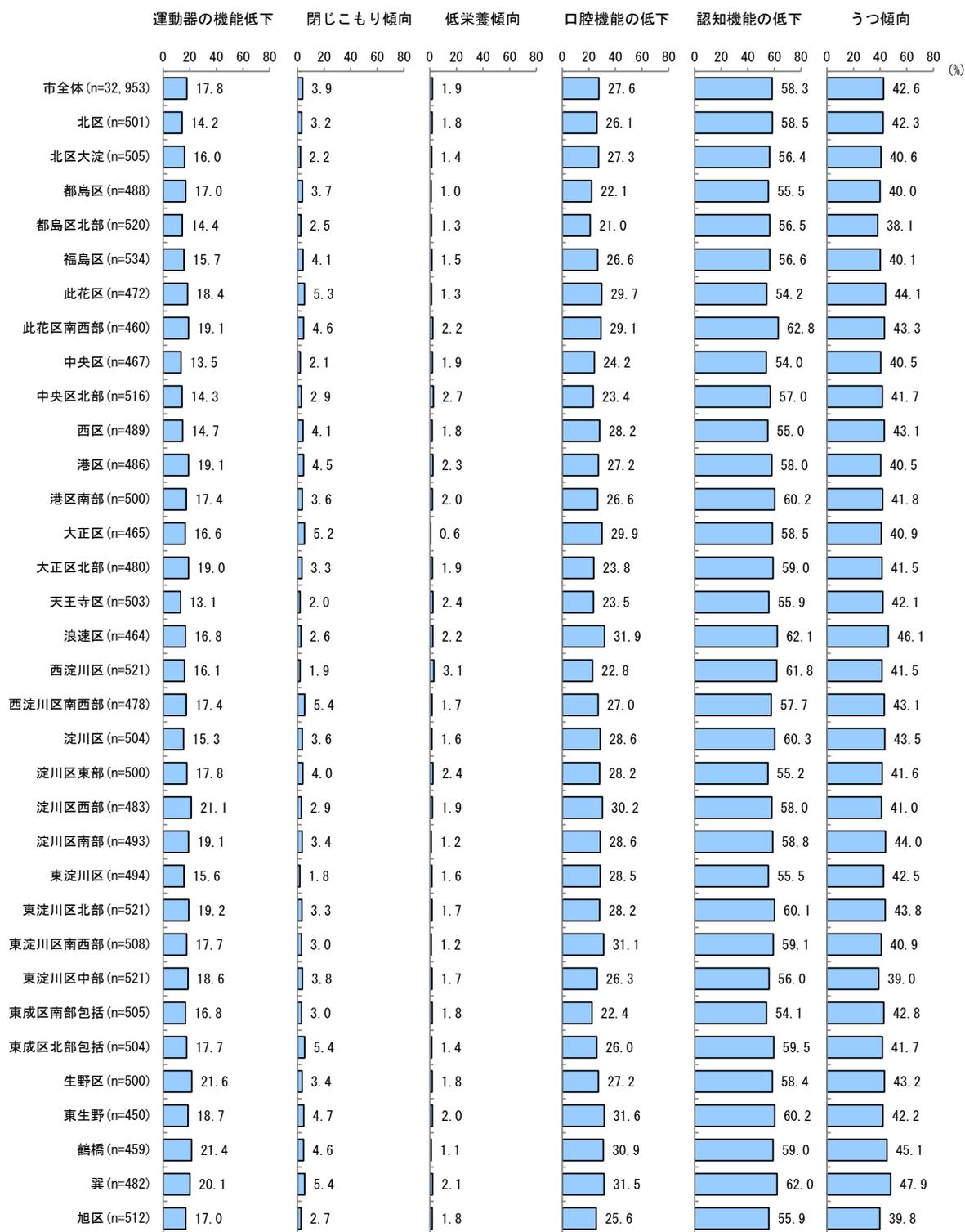
口腔機能の低下のリスクありの割合は、西成区圏域 (35.5%) が最も高くなっています。

認知機能の低下のリスクありの割合は、此花区南西部圏域と西成区東部圏域がともに

62.8%で最も高く、いずれの圏域も50%以上となっています。

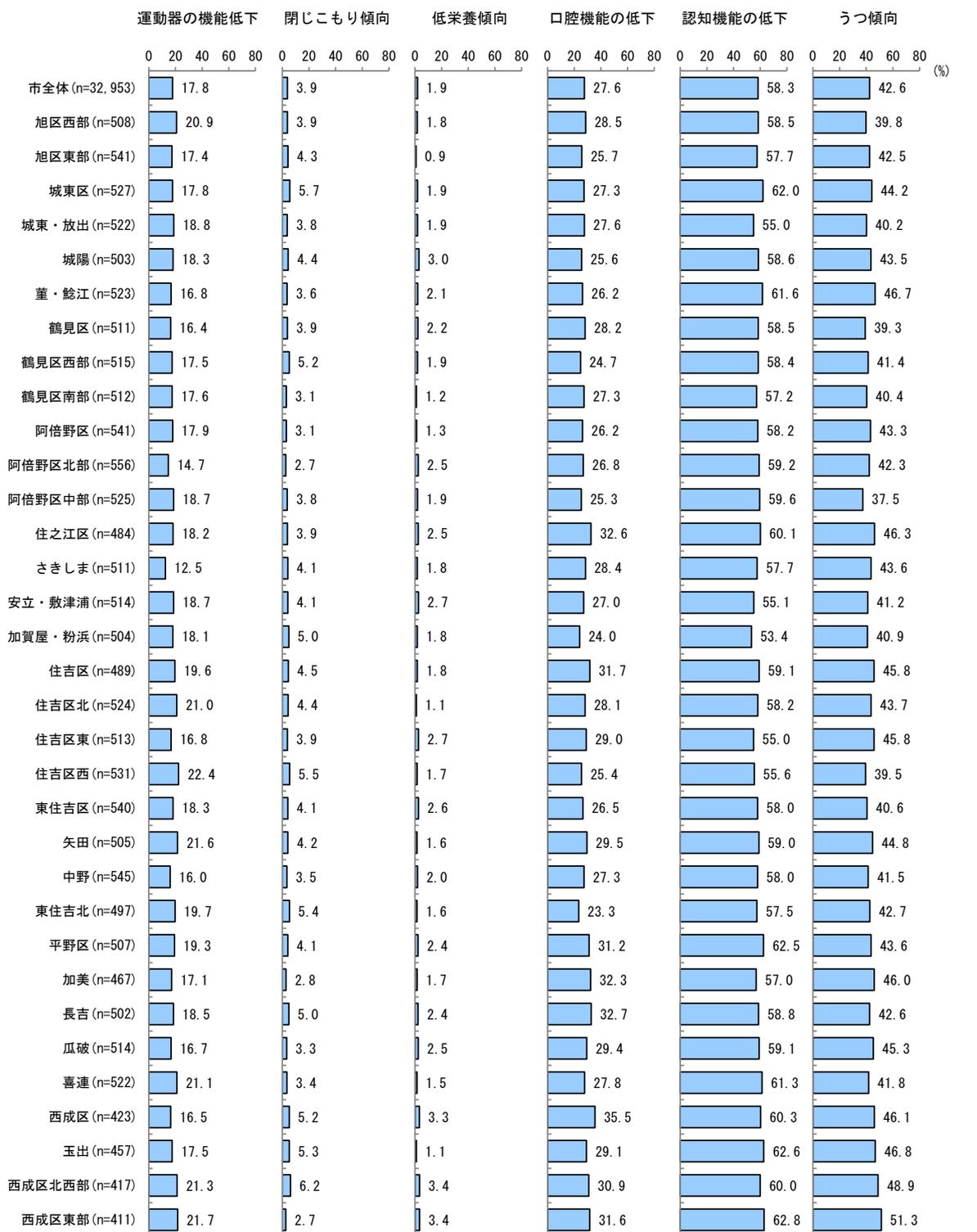
うつ傾向のリスクありの割合は、西成区東部圏域（51.3%）が最も高く、いずれの圏域も30%以上となっています。

図表4-6-1① 生活機能評価（日常生活圏域別）



※リスクありの割合

図表4-6-1② 生活機能評価(日常生活圏域別)

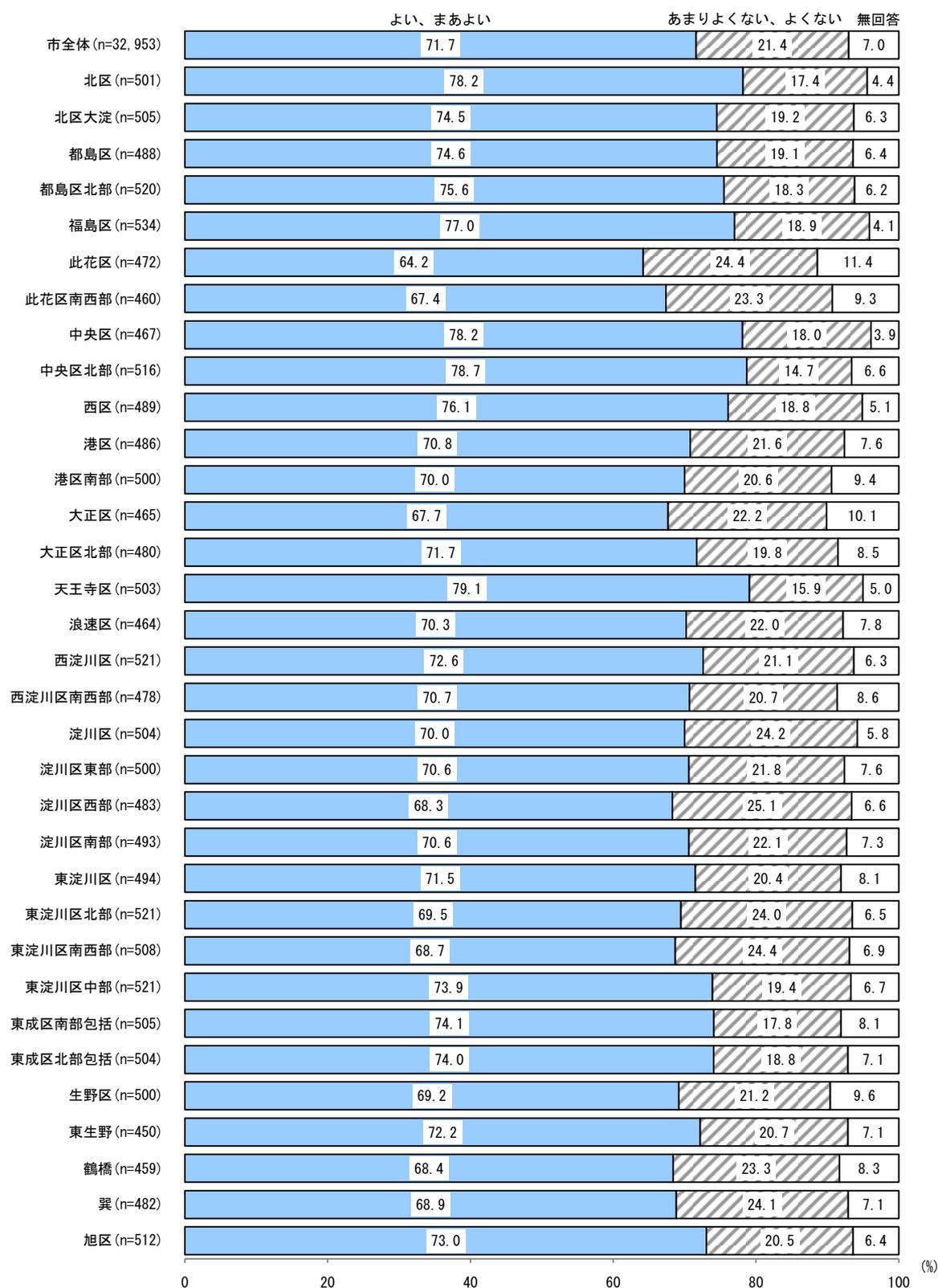


※リスクありの割合

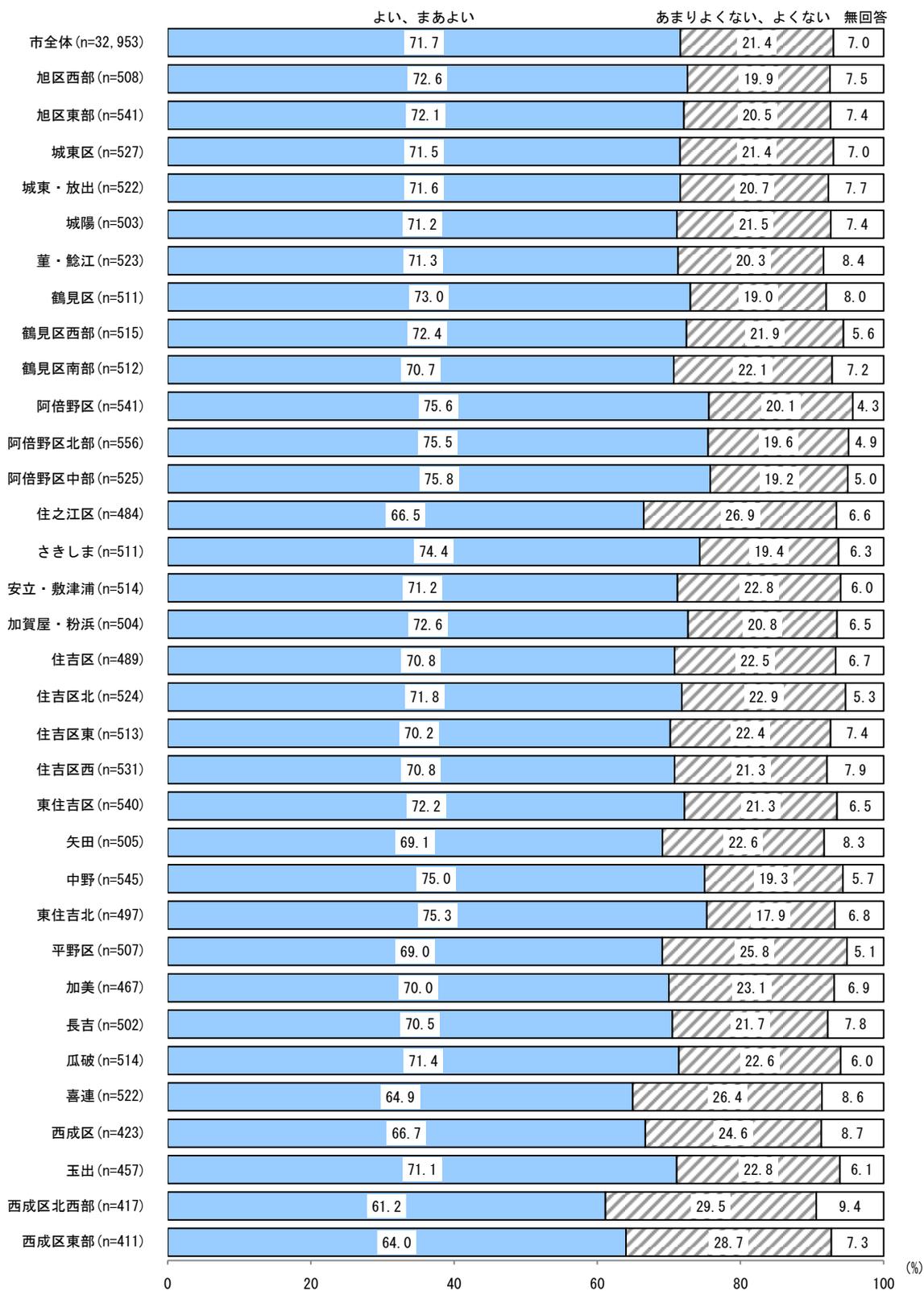
## ② 主観的健康観

現在の健康状態については、「よい、まあよい」は天王寺区圏域（79.1%）が最も高くなっています。

図表 4-7-1 ① 主観的健康観（日常生活圏域別）



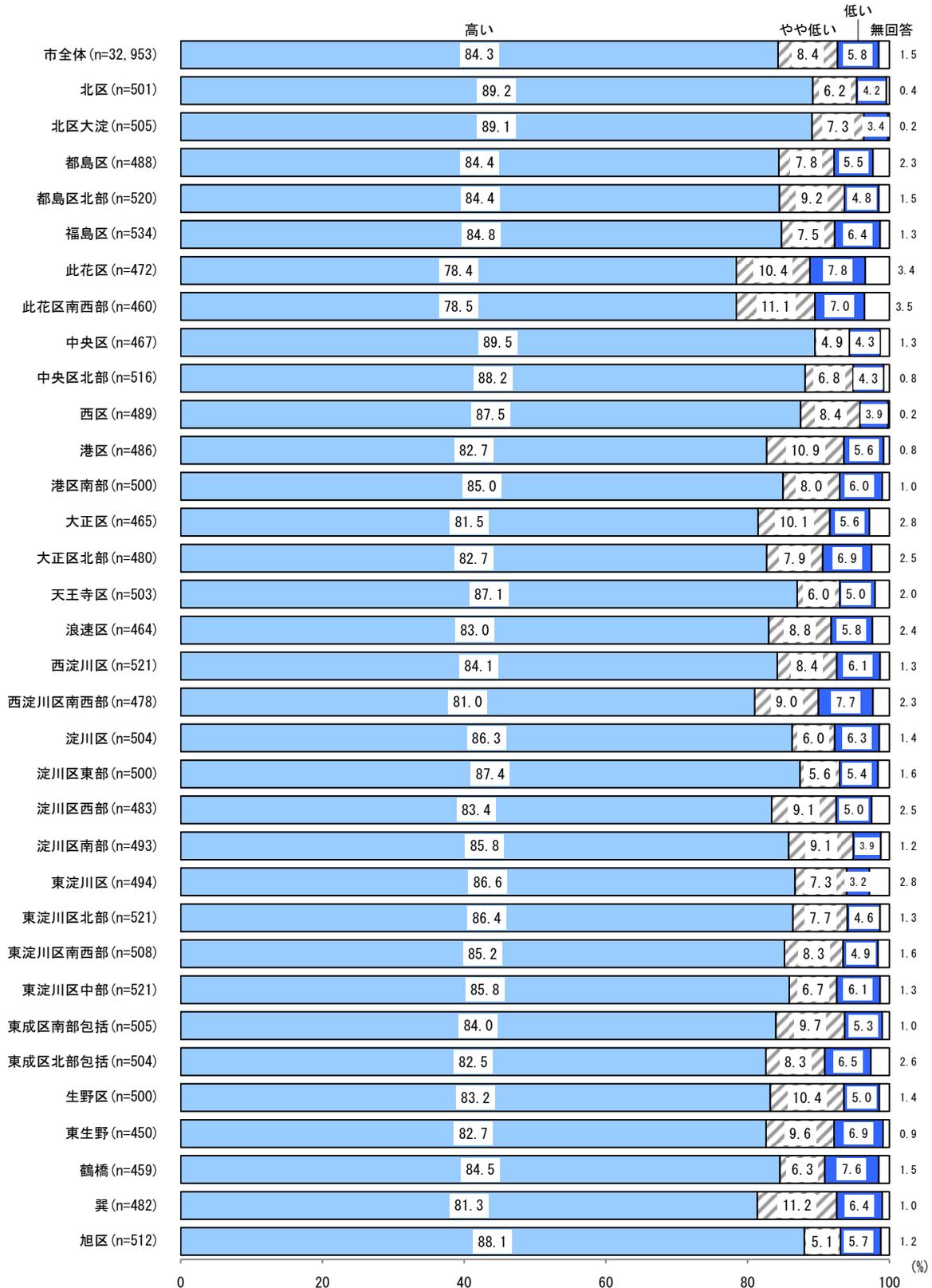
図表4-7-1② 主観的健康観(日常生活圏域別)



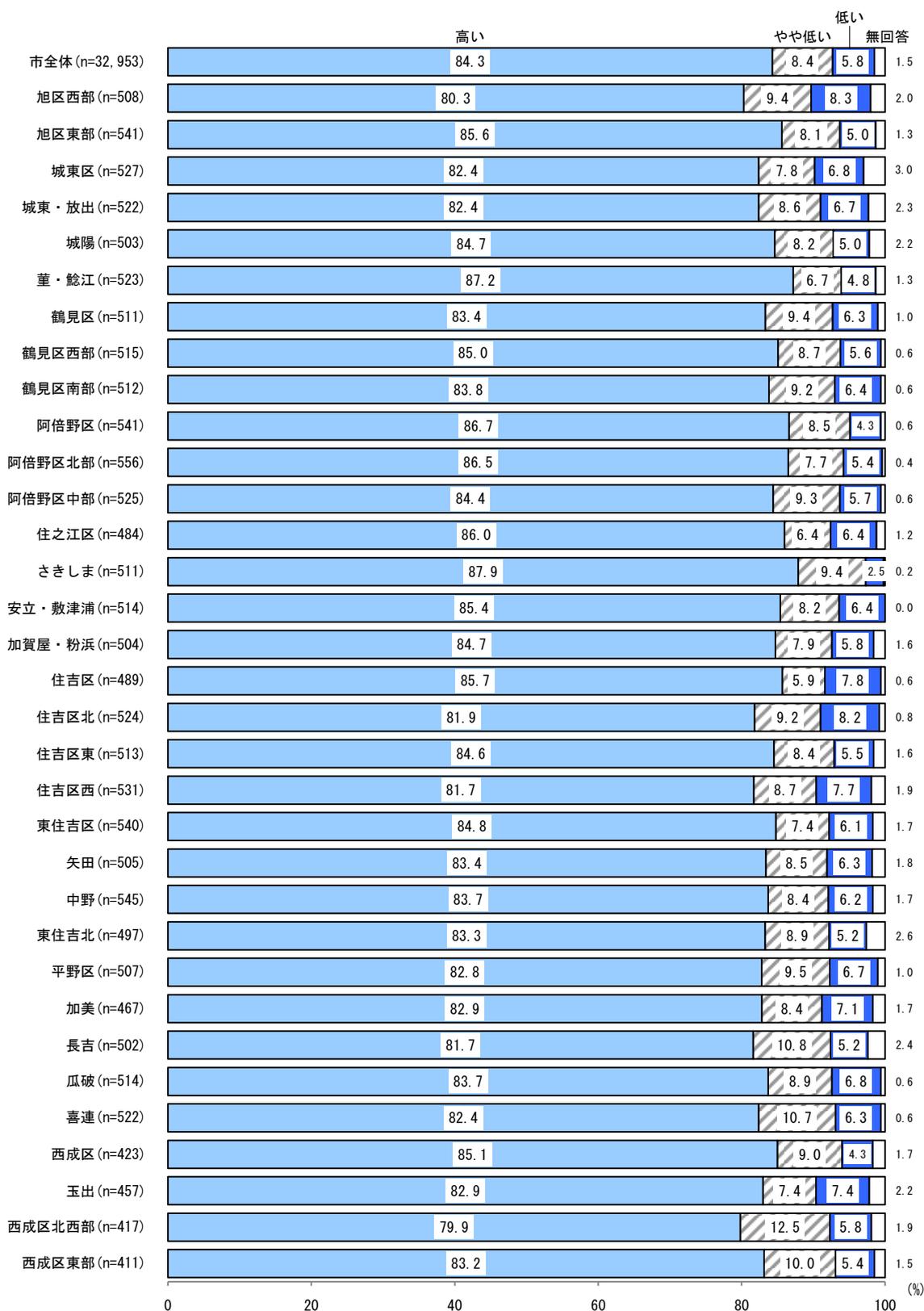
### ③ 手段的自立度

手段的自立度の低下者（「やや低い」「低い」の計）は、西成区北西部圏域（18.3%）が最も高くなっています。

図表 4-8-1① 手段的自立度（日常生活圏域別）



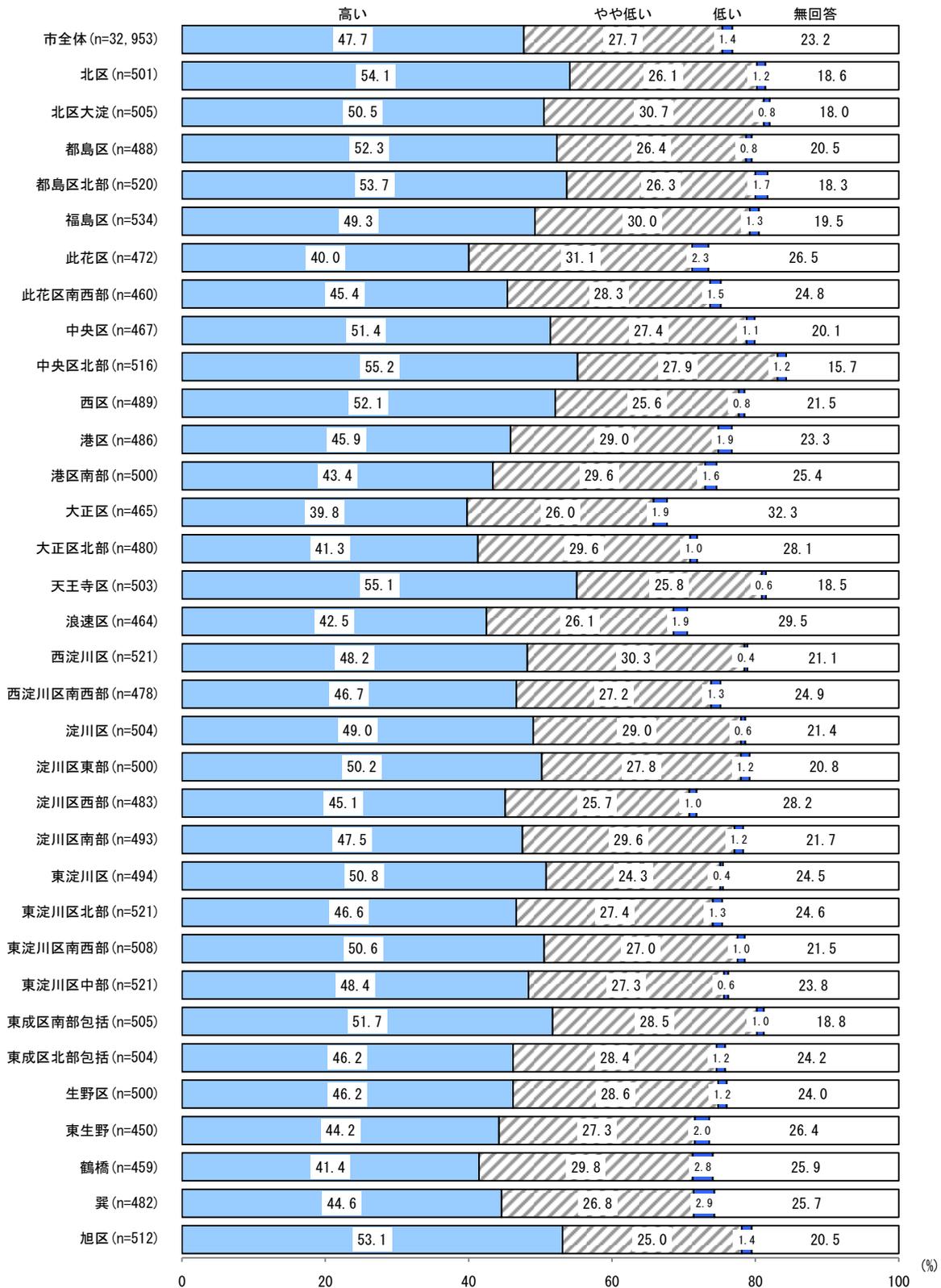
図表4-8-1② 手段的自立度(日常生活圏域別)



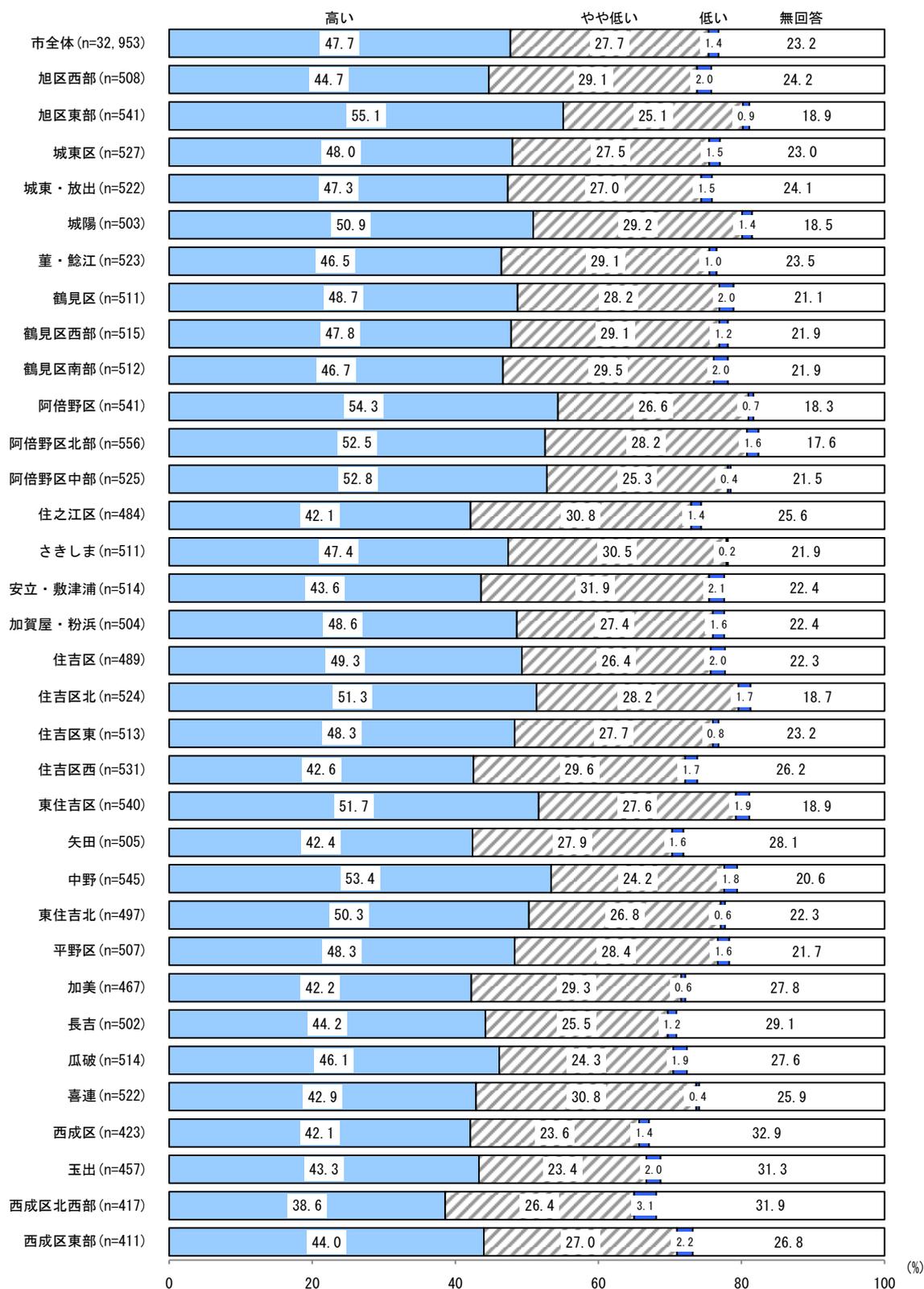
#### ④ 知的能動性

知的能動性の低下者（「やや低い」「低い」の計）は、安立・敷津浦圏域（34.0%）が最も高くなっています。

図表4-9-1① 知的能動性（日常生活圏域別）



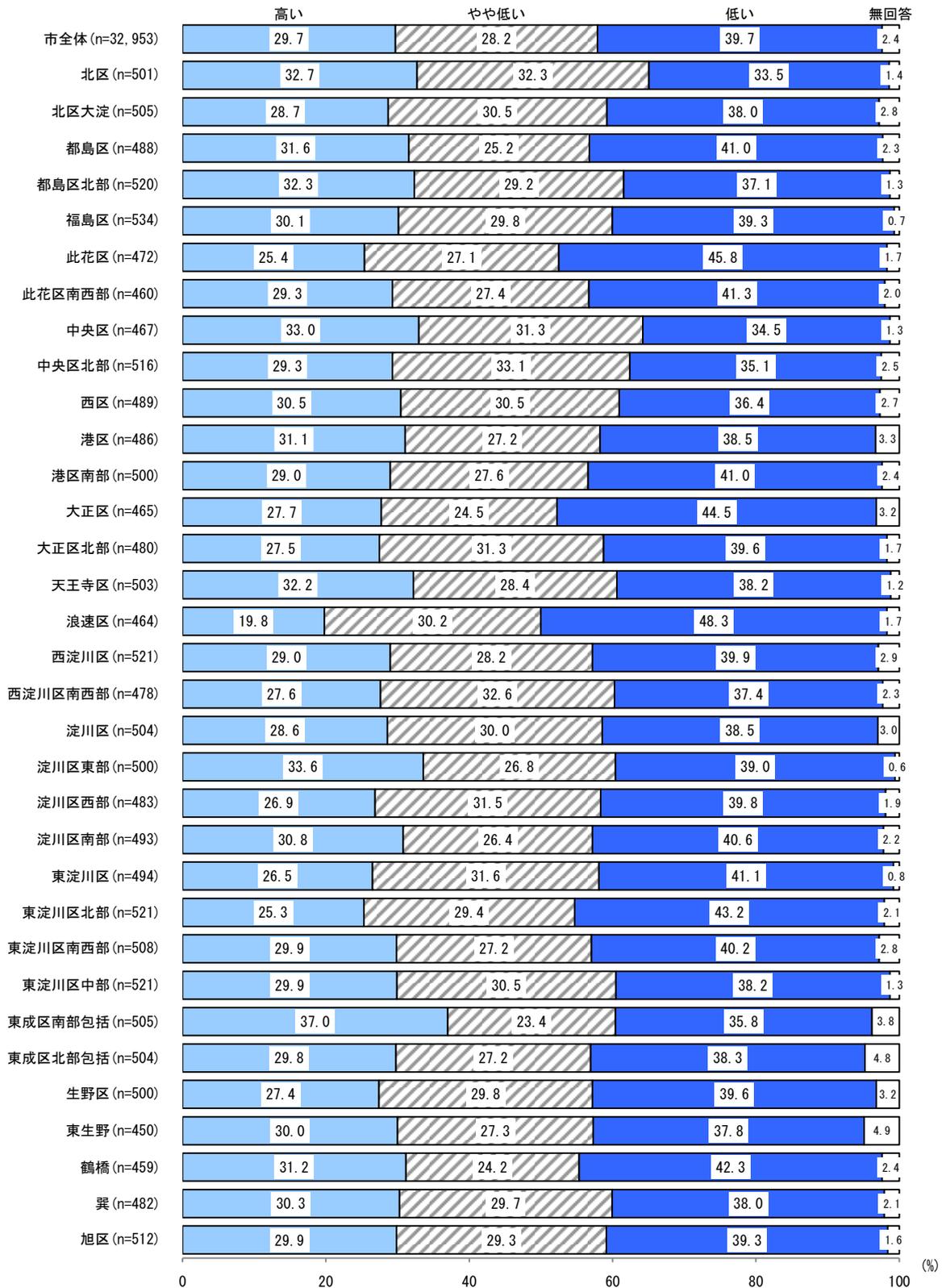
図表4-9-1② 知的能動性(日常生活圏域別)



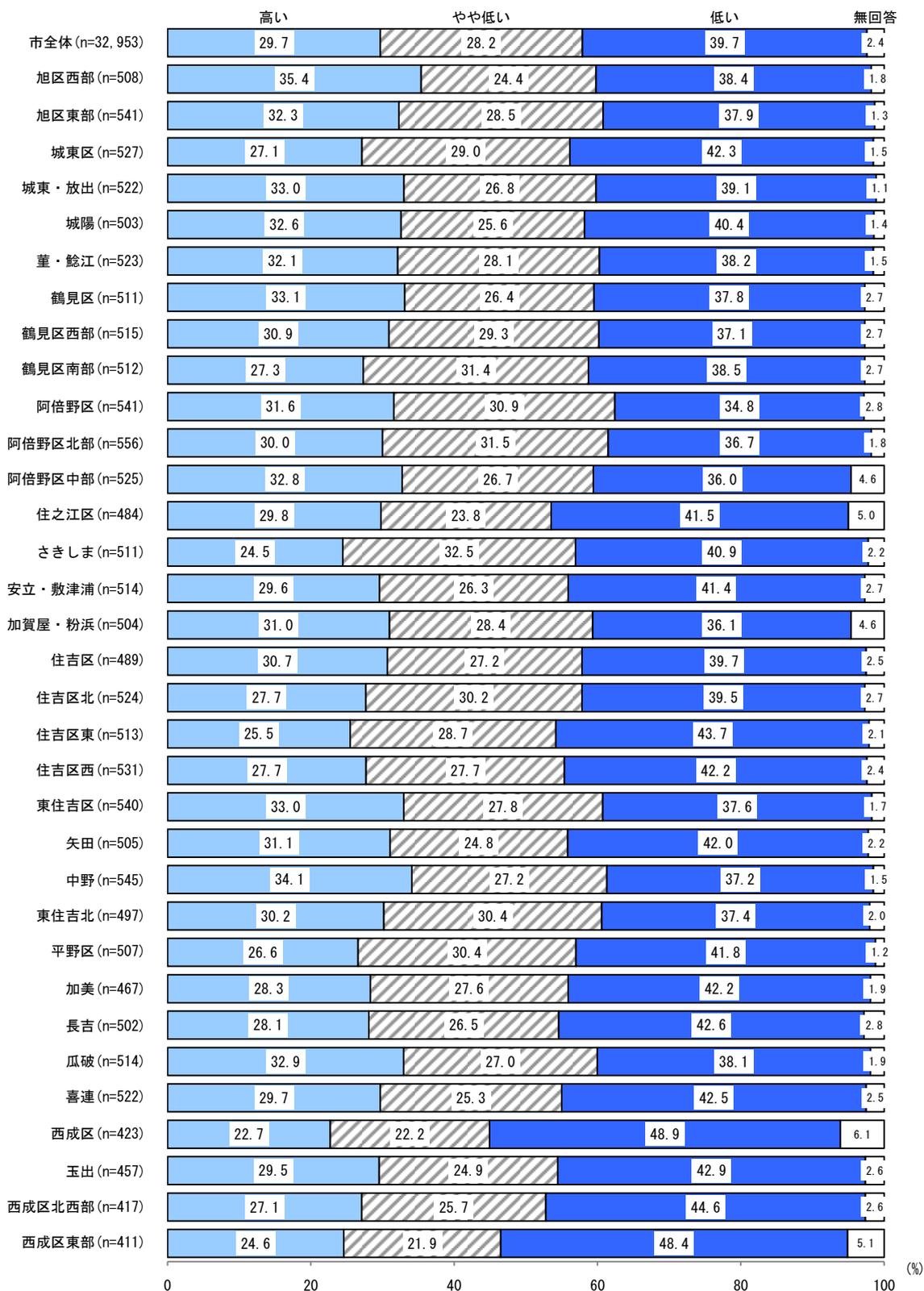
## ⑤ 社会的役割

社会的役割の低下者（「やや低い」「低い」の計）は、浪速区圏域（78.5%）が最も高くなっています。

図表 4-10-1① 社会的役割（日常生活圏域別）



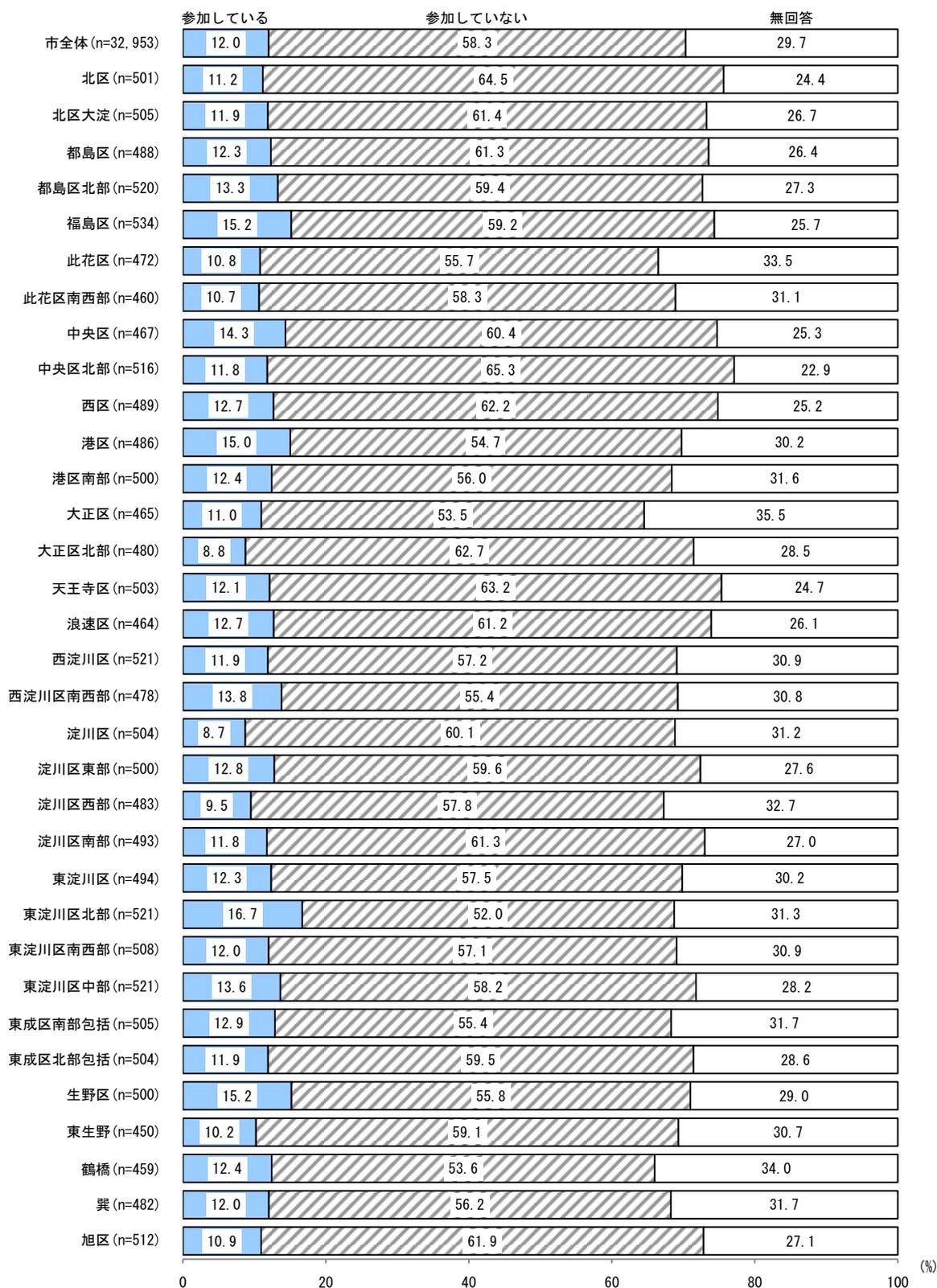
図表4-10-1② 社会的役割(日常生活圏域別)



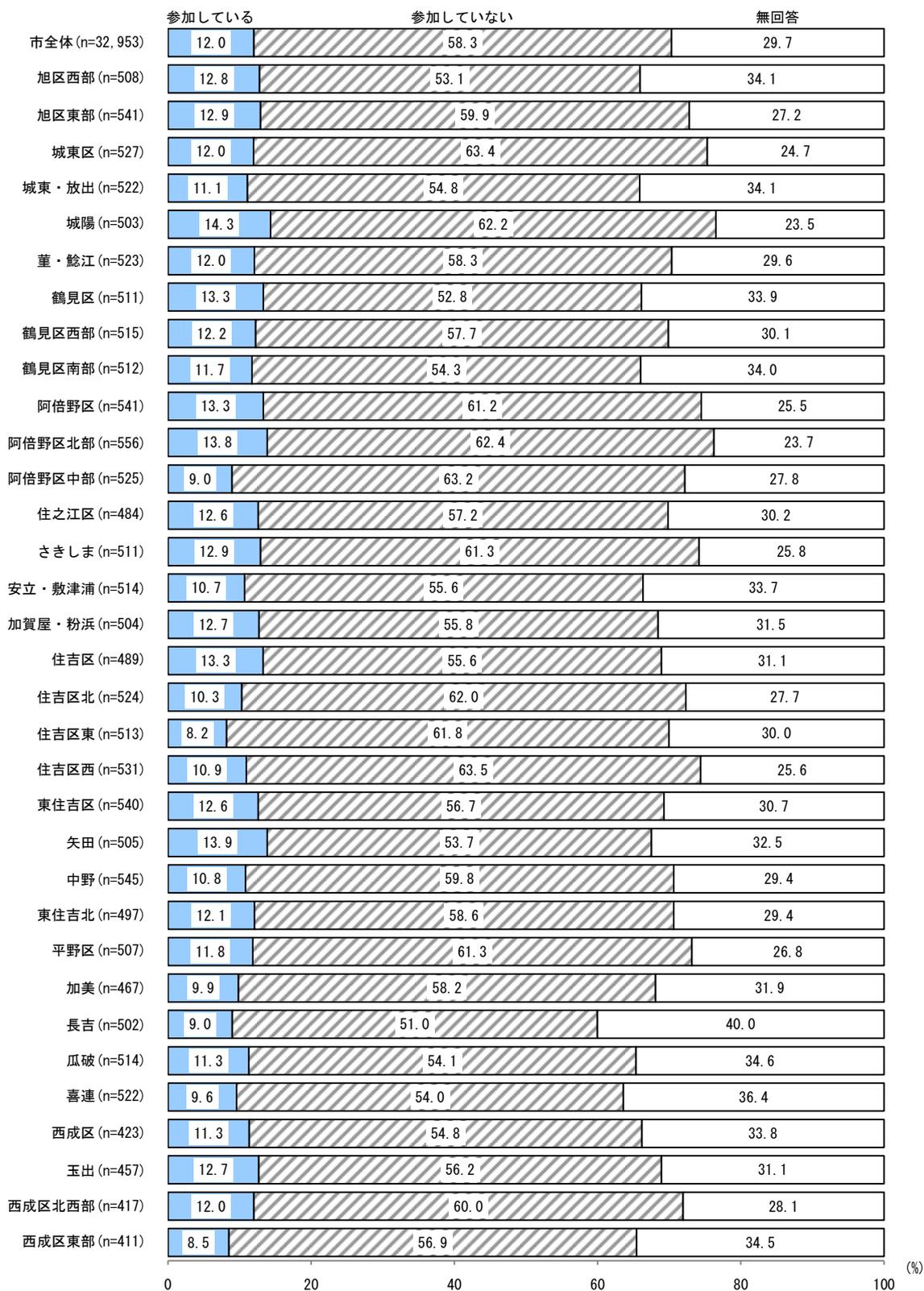
## ⑥ 社会参加の状況

地域の会・グループの参加状況についてたずねました。ボランティアのグループに「参加している」割合は、東淀川区北部圏域（16.7%）が最も高くなっています。

図表 4-11-1① 社会参加の状況〔ボランティアのグループ〕（日常生活圏域別）

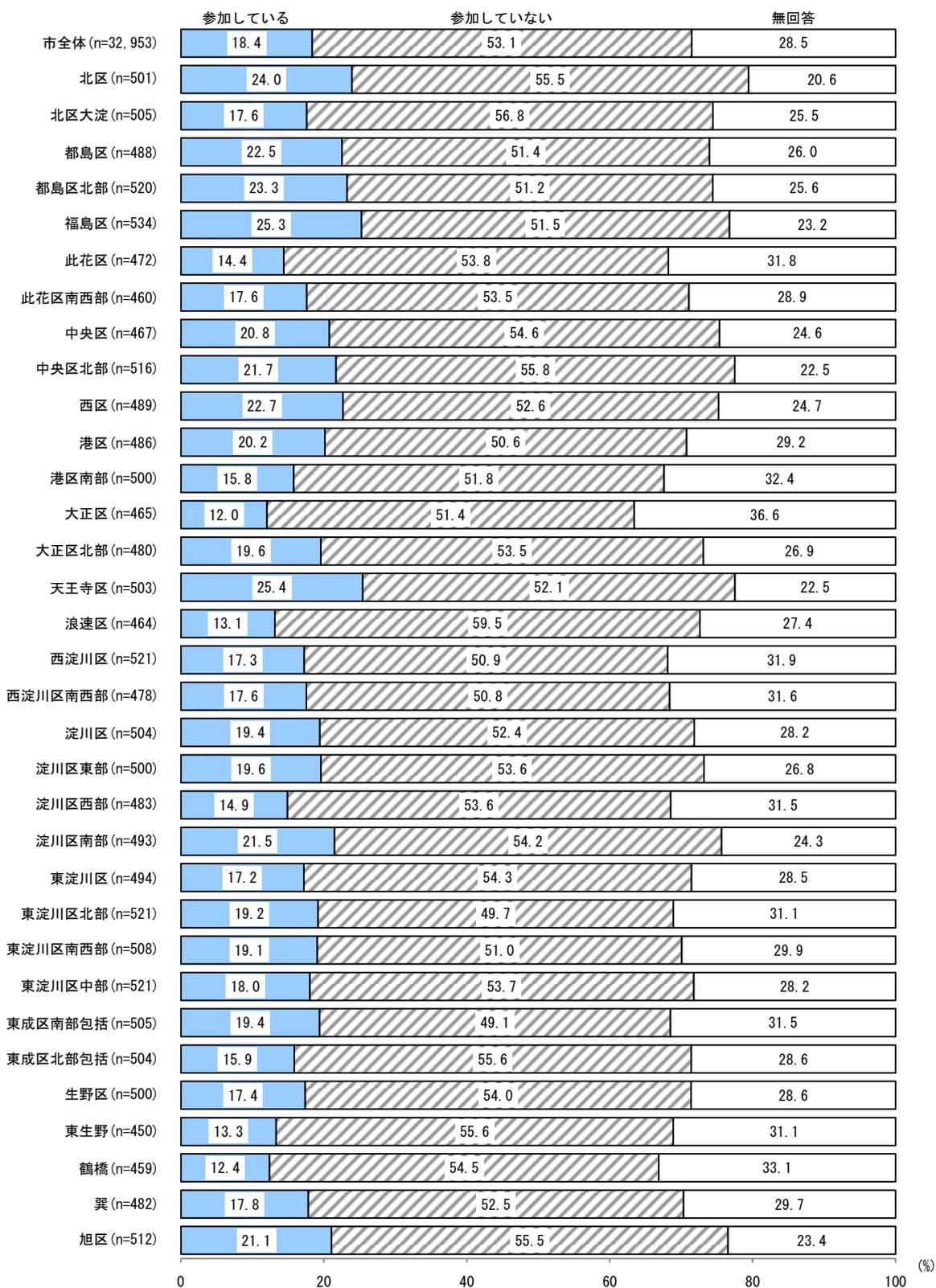


図表 4-11-1② 社会参加の状況〔ボランティアのグループ〕(日常生活圏域別)

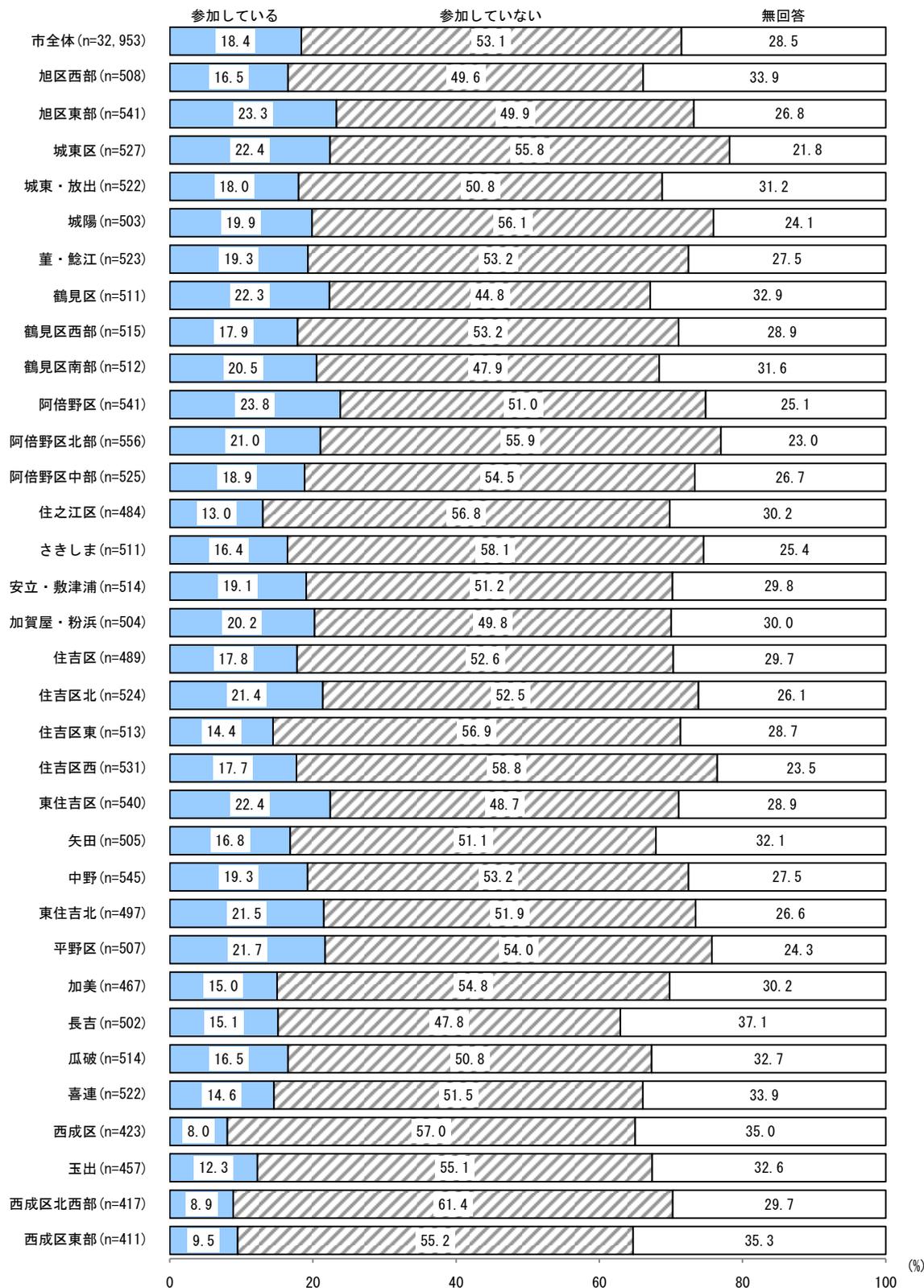


スポーツ関係のグループやクラブに「参加している」割合は、天王寺区圏域（25.4%）が最も高くなっています。

図表4-11-2① 社会参加の状況〔スポーツ関係のグループやクラブ〕（日常生活圏域別）

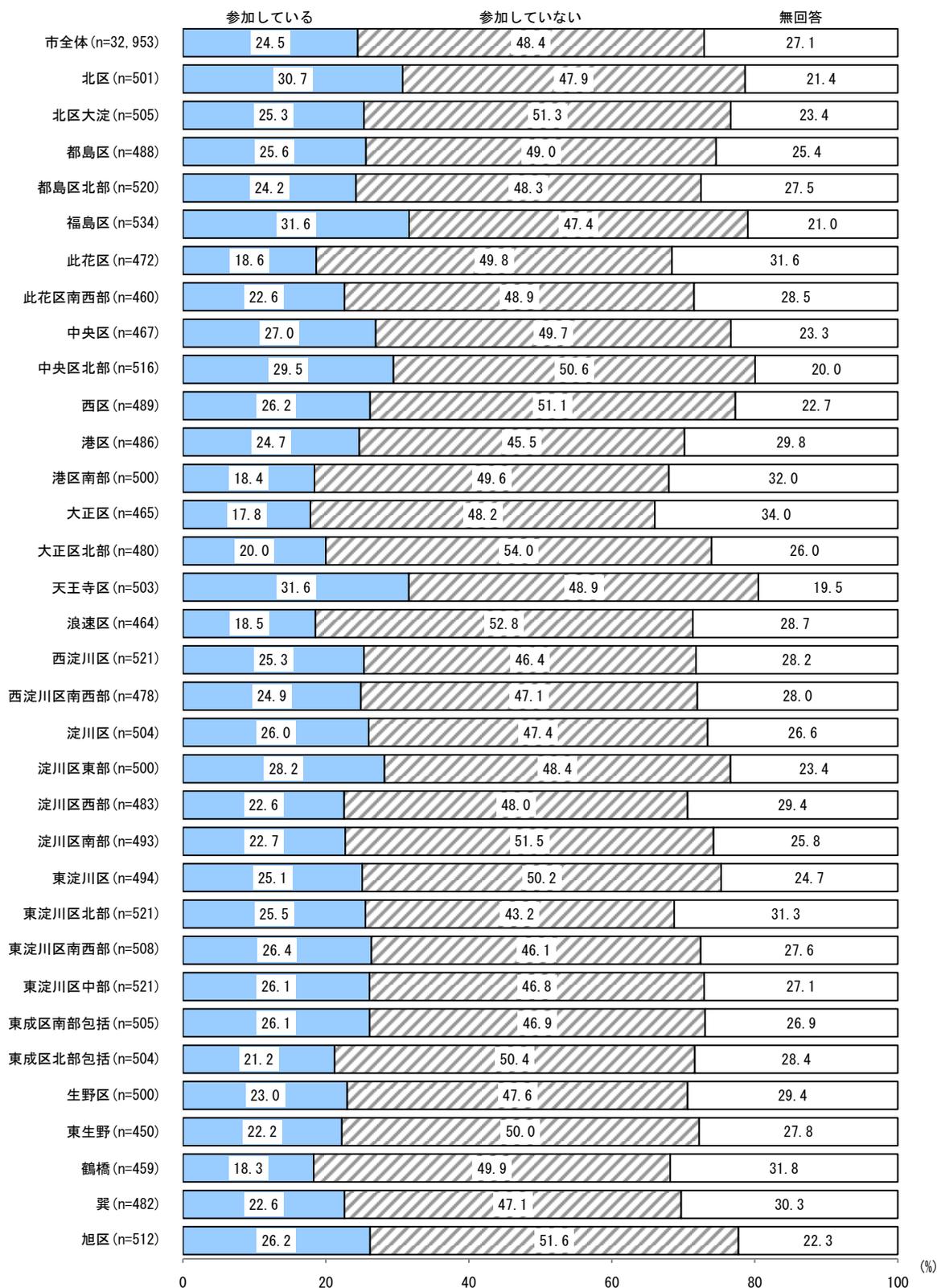


図表4-11-2② 社会参加の状況〔スポーツ関係のグループやクラブ〕(日常生活圏域別)

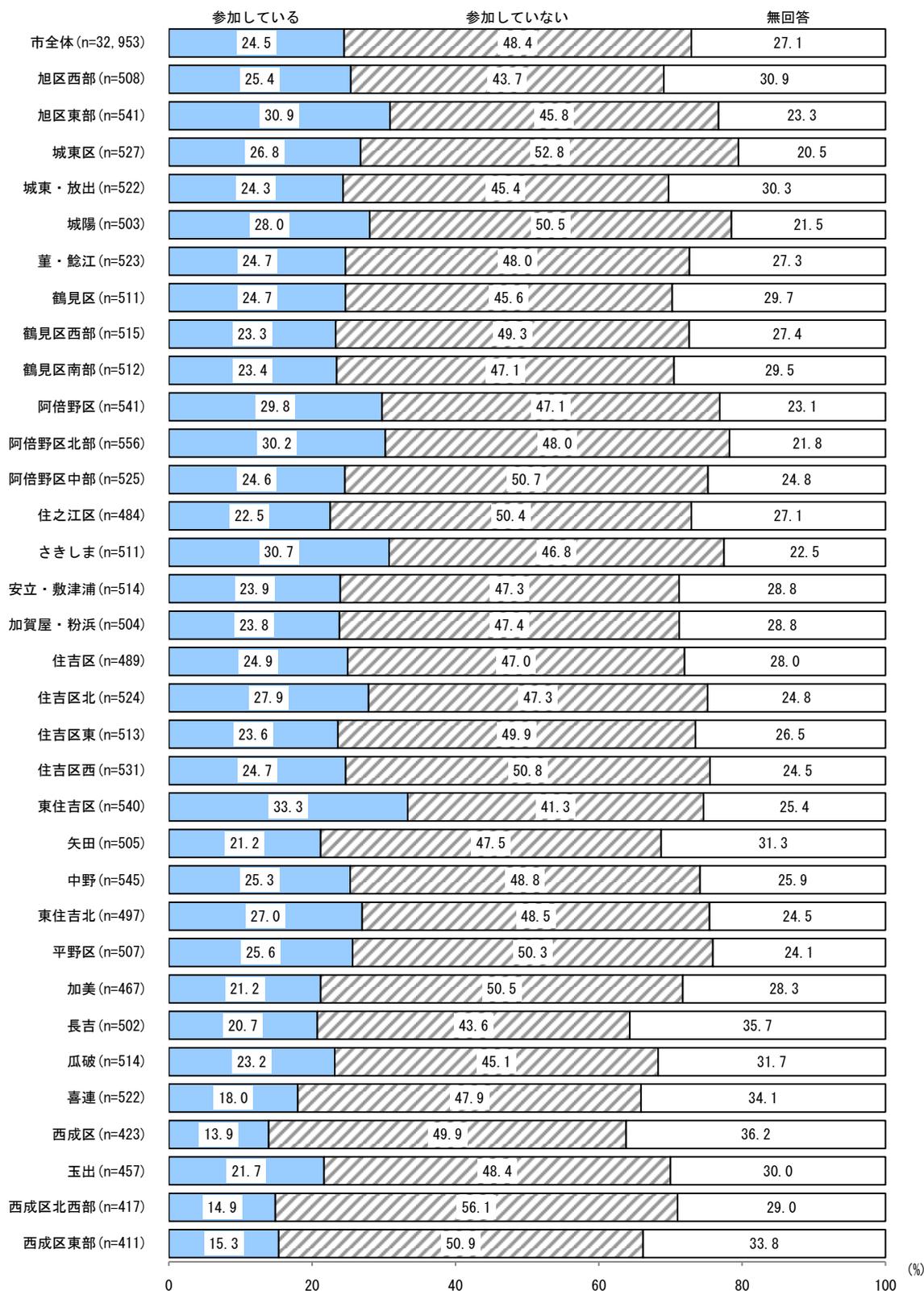


趣味関係のグループに「参加している」割合は、東住吉区圏域（33.3%）が最も高くなっています。

図表 4-11-3① 社会参加の状況〔趣味関係のグループ〕（日常生活圏域別）

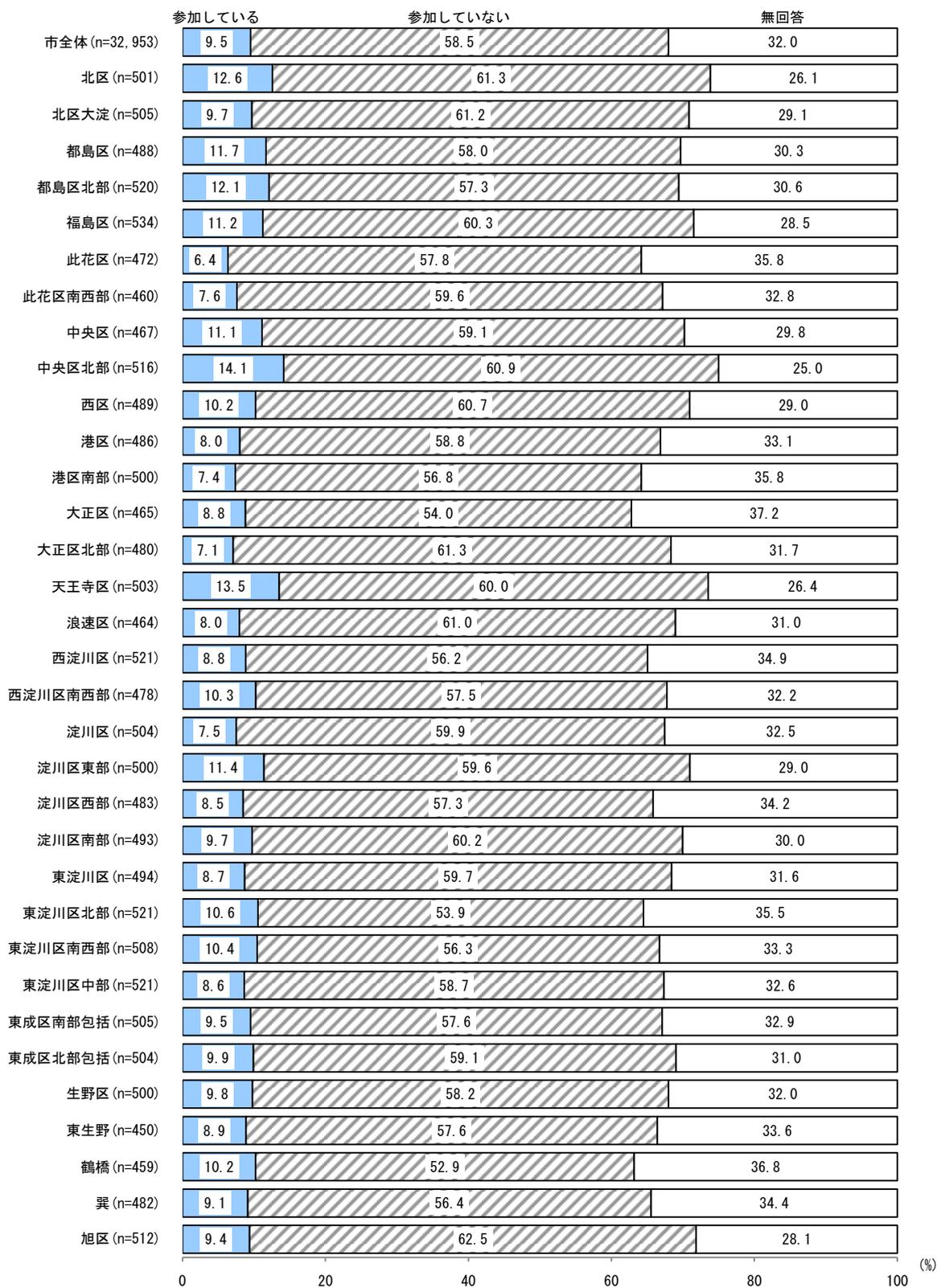


図表4-11-3② 社会参加の状況〔趣味関係のグループ〕(日常生活圏域別)

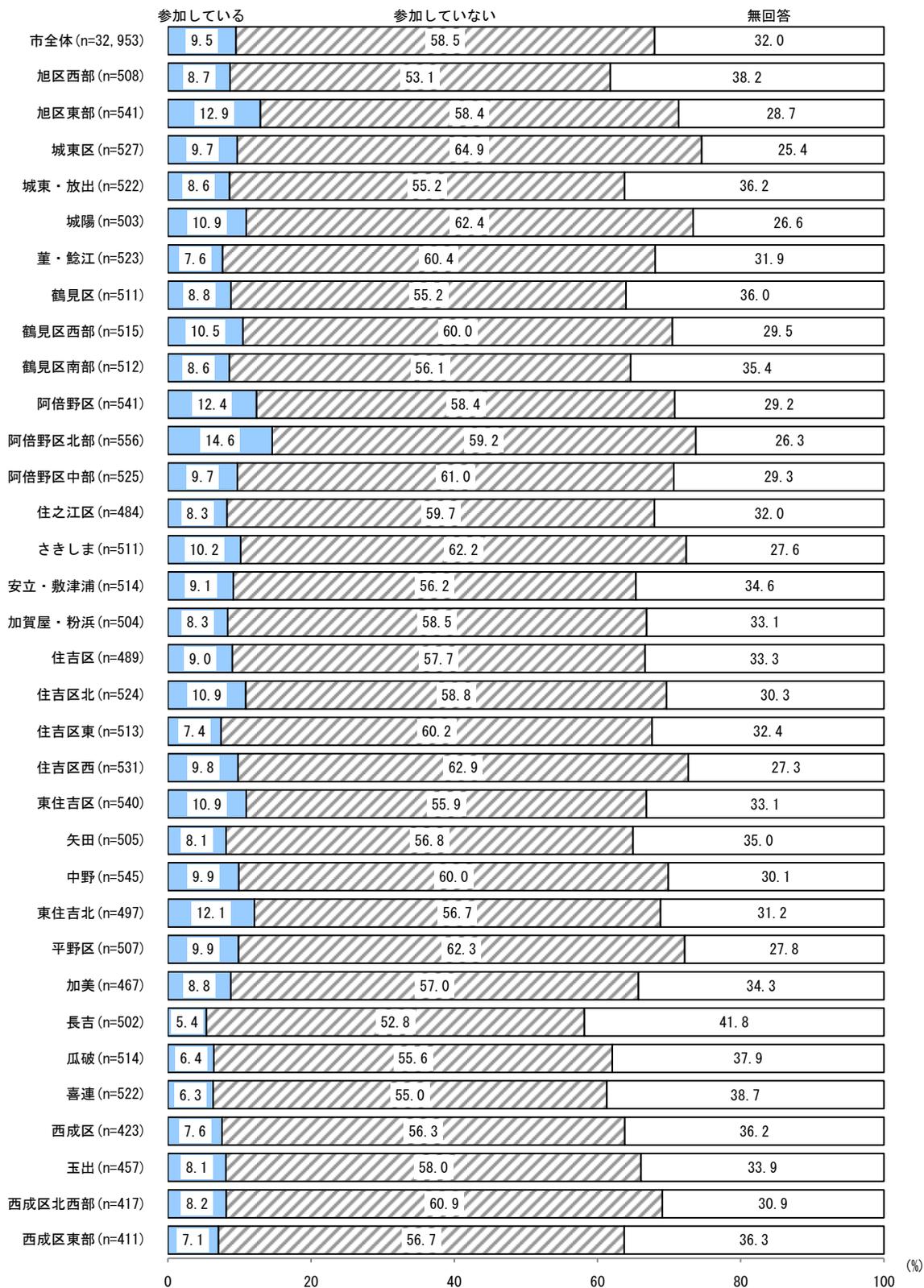


学習・教養サークルに「参加している」割合は、阿倍野区北部圏域（14.6％）が最も高くなっています。

図表4-11-4① 社会参加の状況〔学習・教養サークル〕（日常生活圏域別）

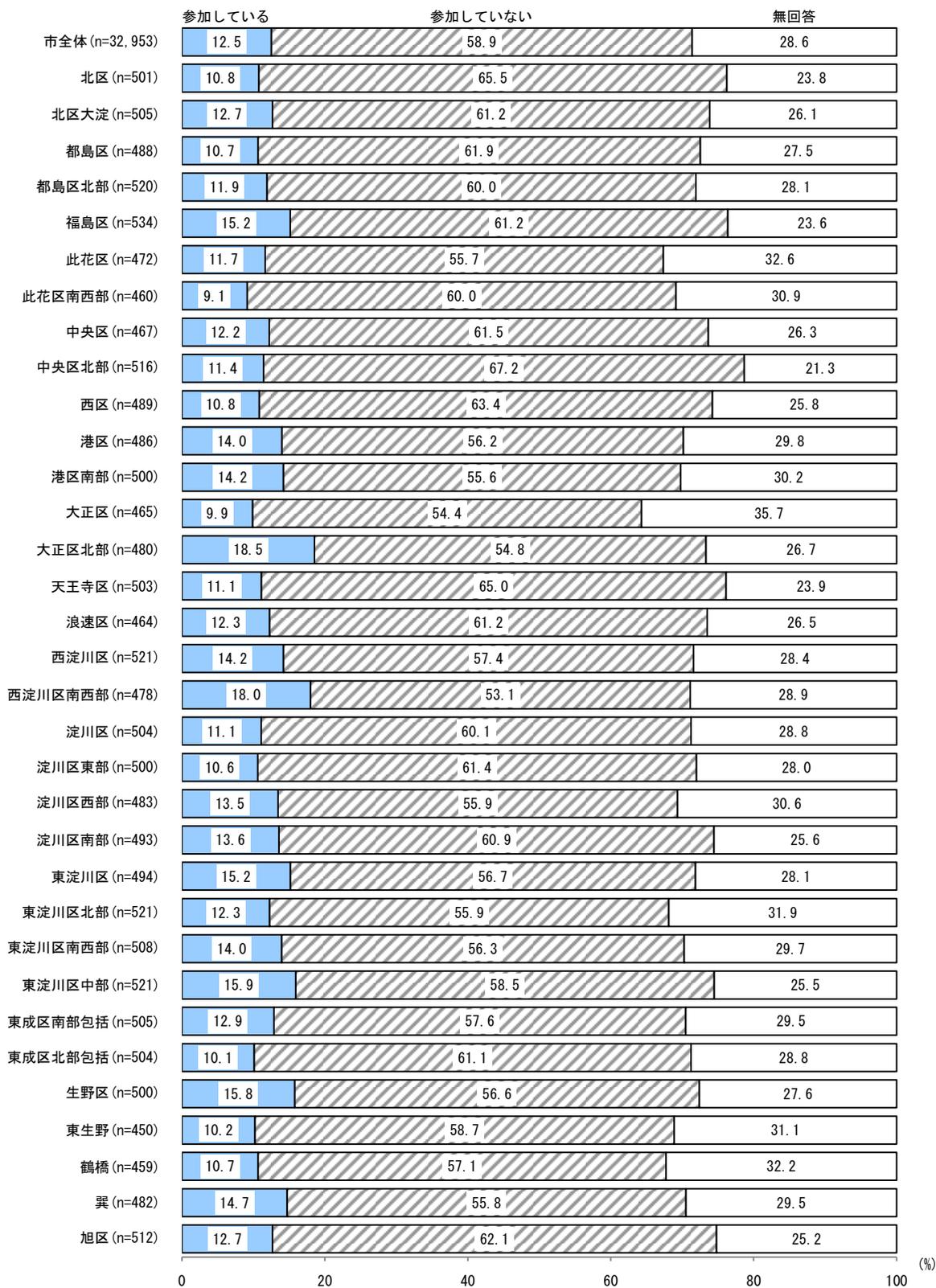


図表 4-11-4② 社会参加の状況〔学習・教養サークル〕(日常生活圏域別)

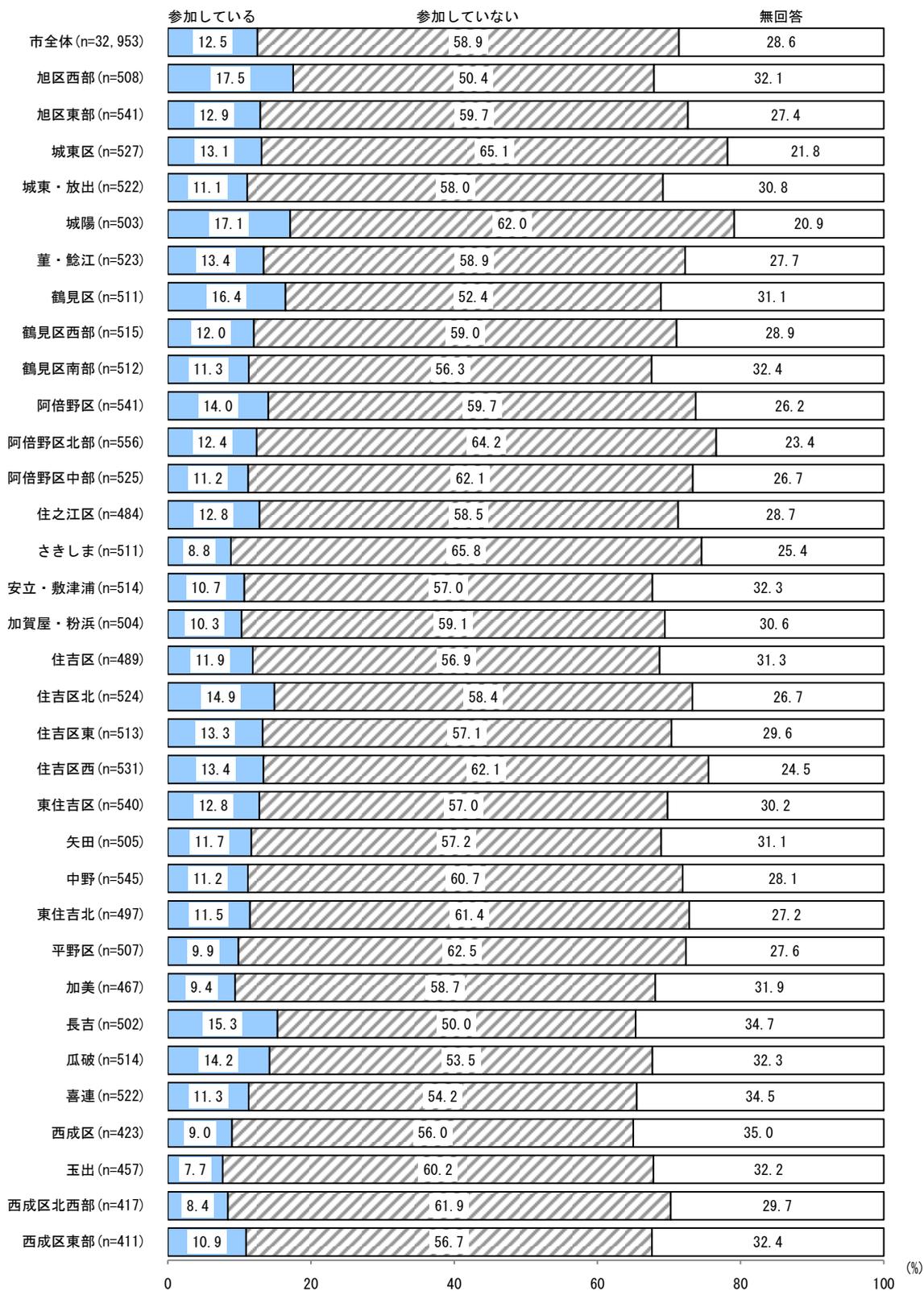


介護予防のための体操・運動の通いの場に「参加している」割合は、大正区北部圏域（18.5%）が最も高くなっています。

図表 4-11-5① 社会参加の状況〔介護予防のための体操・運動の通いの場〕（日常生活圏域別）

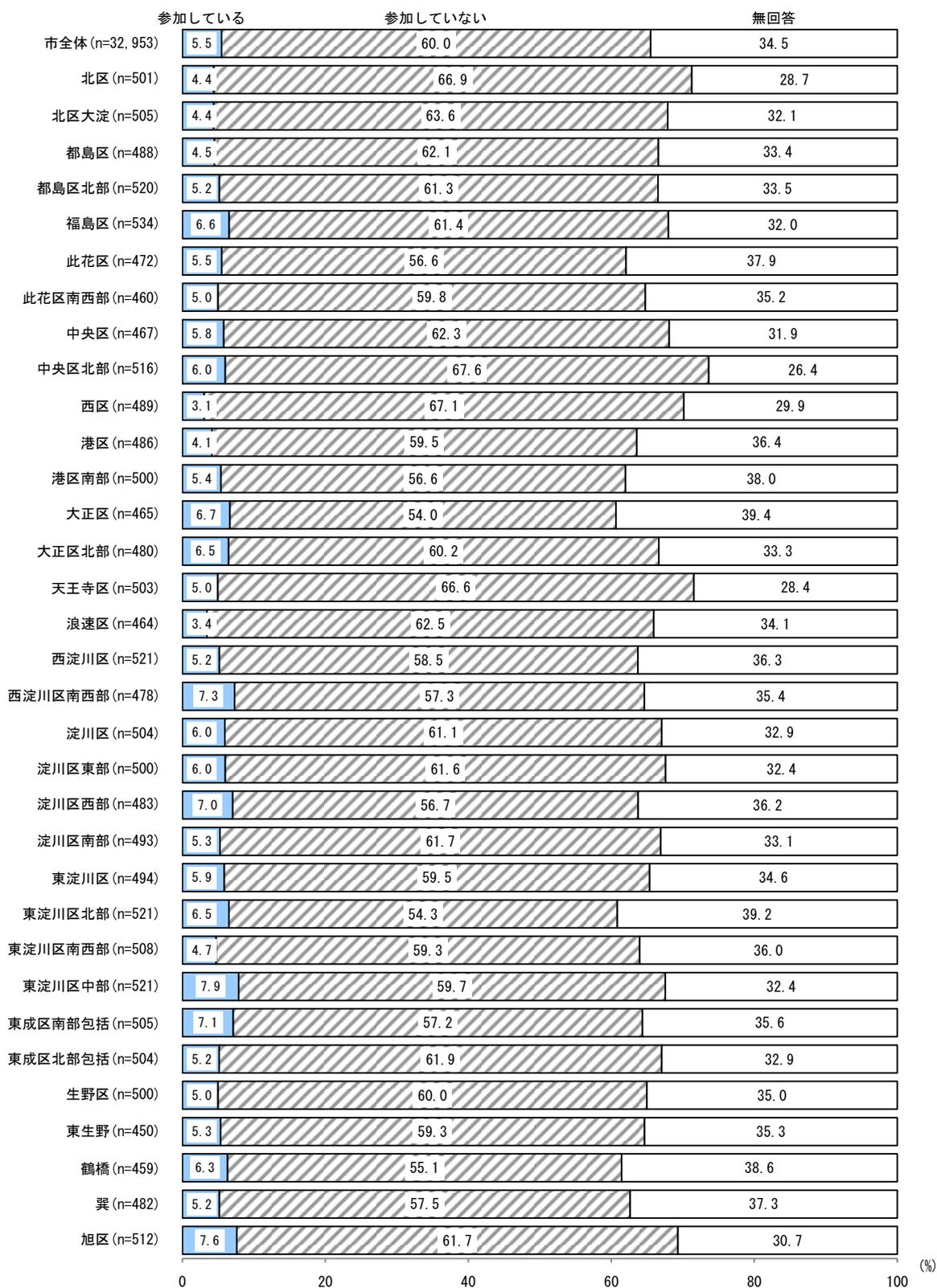


図表4-11-5② 社会参加の状況〔介護予防のための体操・運動の通いの場〕(日常生活圏域別)

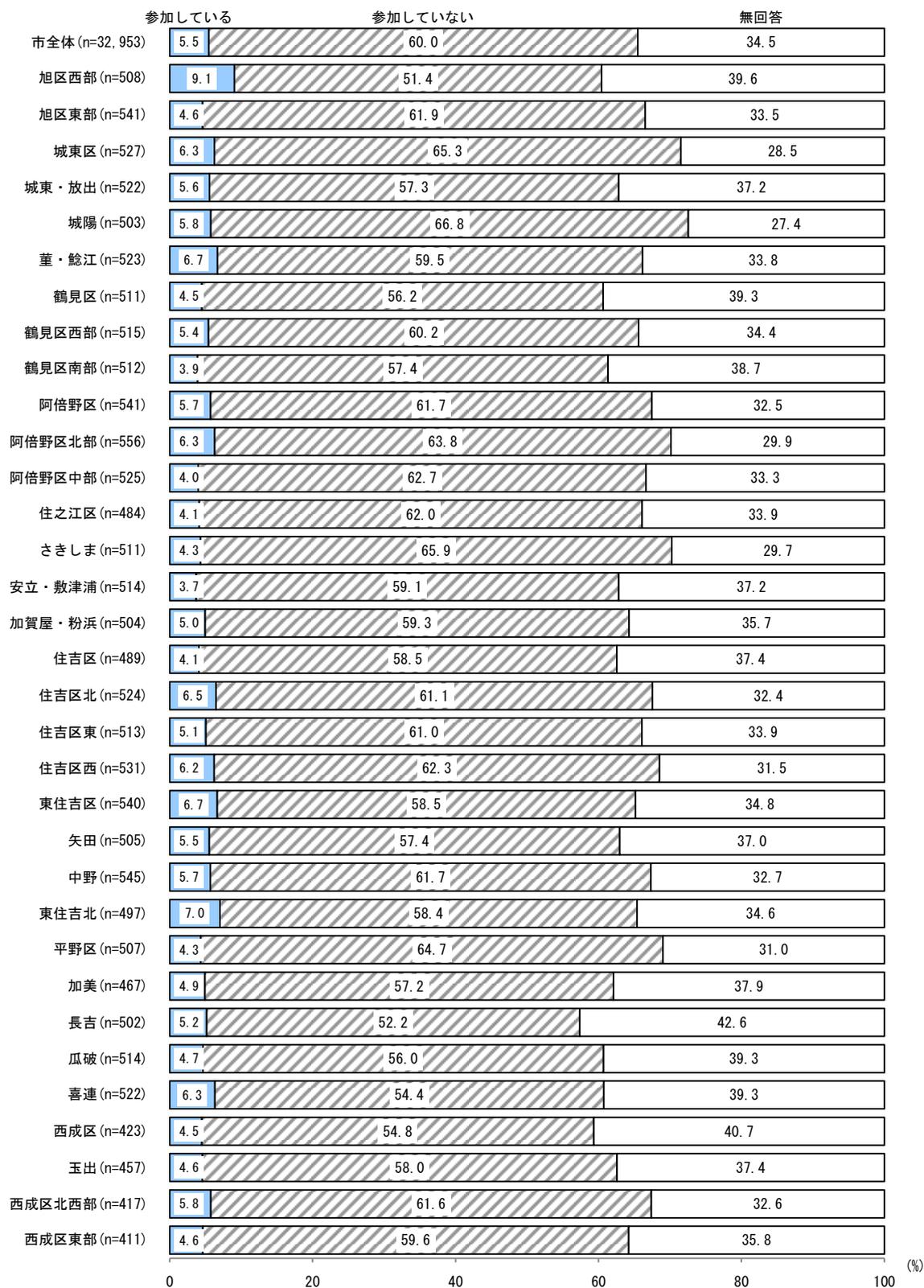


体操・運動以外の介護予防のための通いの場に「参加している」割合は、旭区西部圏域（9.1%）が最も高くなっています。

図表 4-11-6① 社会参加の状況〔体操・運動以外の介護予防のための通いの場〕（日常生活圏域別）

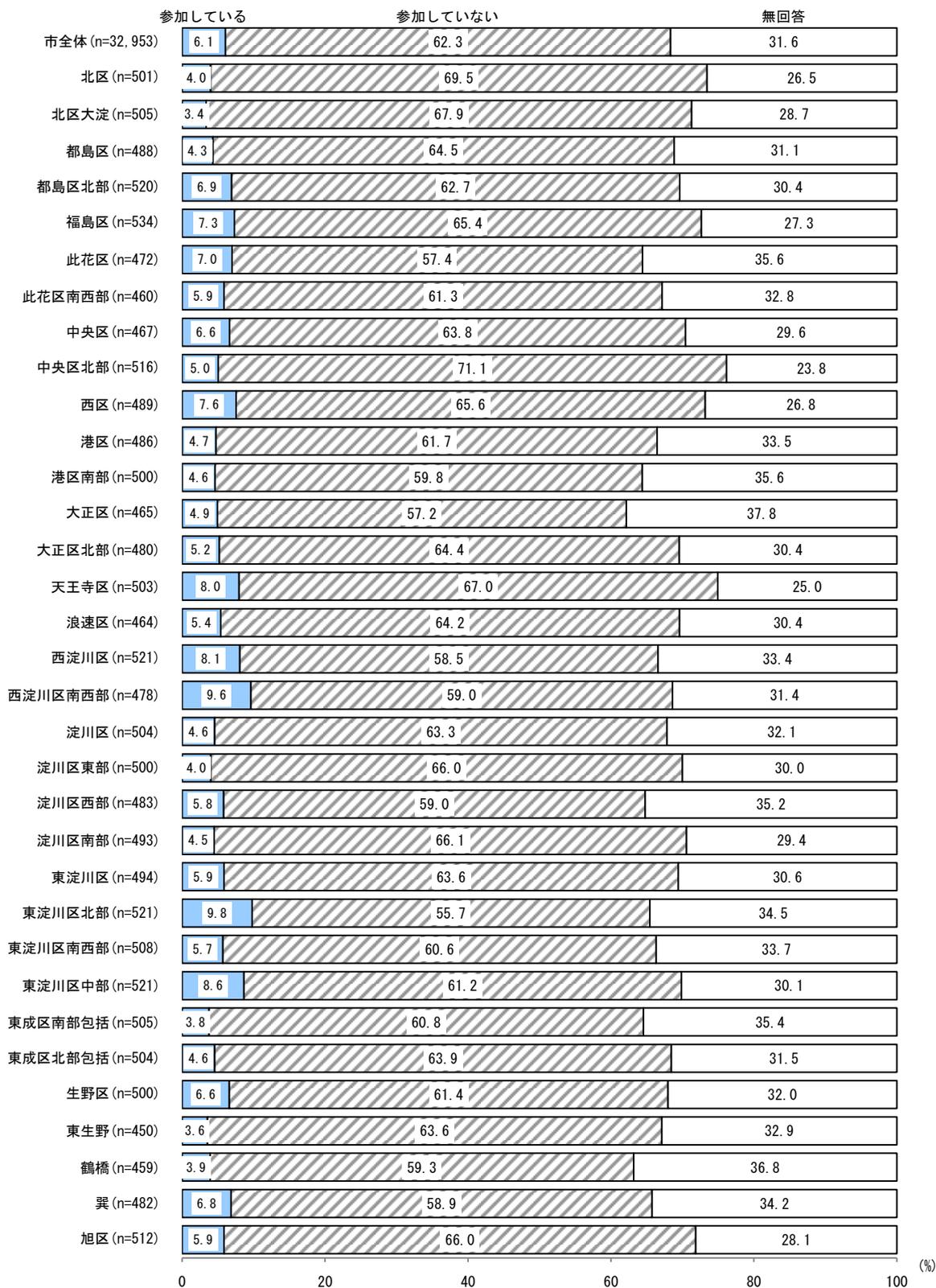


図表 4-11-6② 社会参加の状況〔体操・運動以外の介護予防のための通いの場〕(日常生活圏域別)

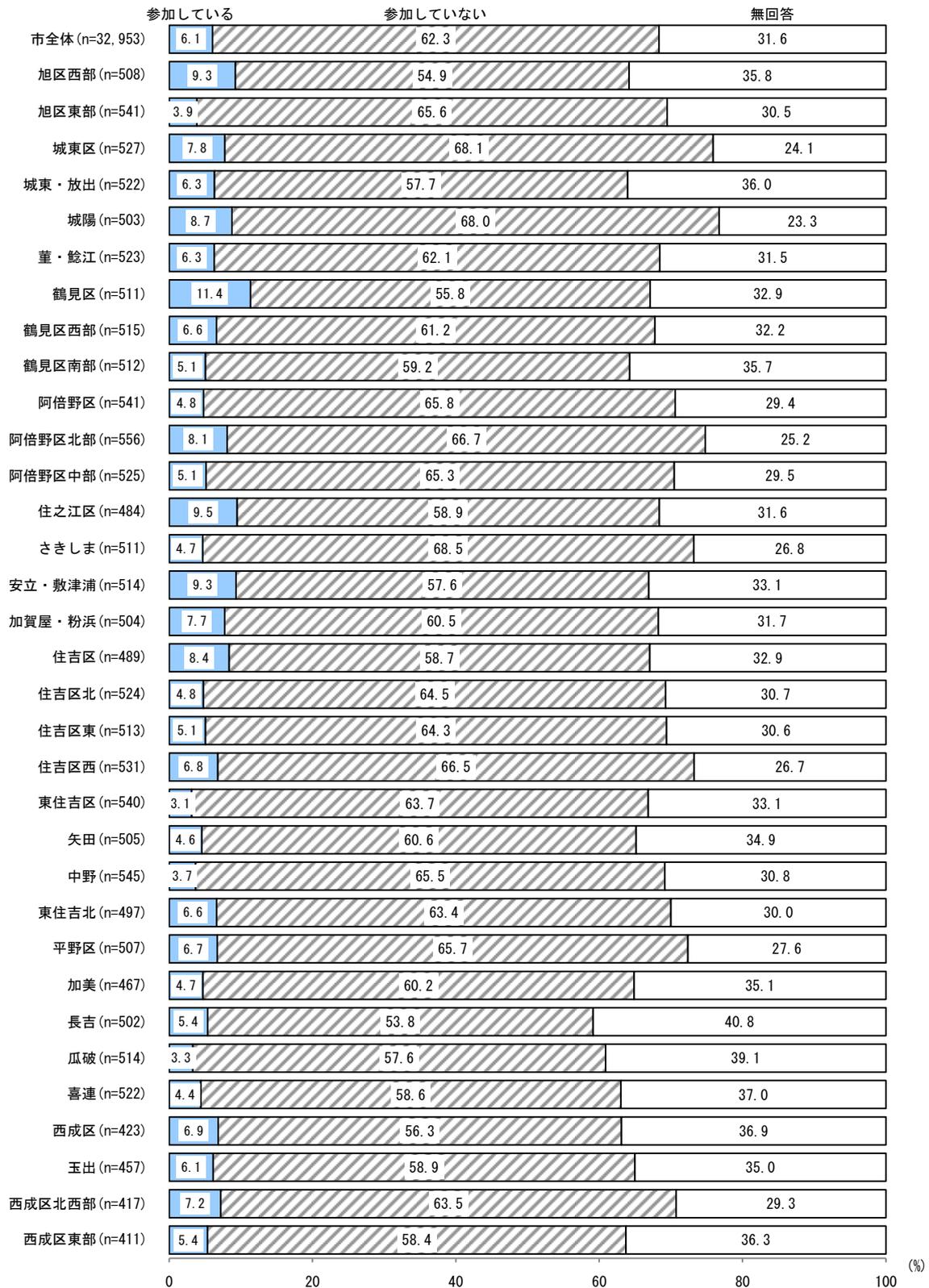


老人クラブに「参加している」割合は、鶴見区圏域（11.4%）が最も高くなっています。

図表 4-11-7① 社会参加の状況〔老人クラブ〕（日常生活圏域別）

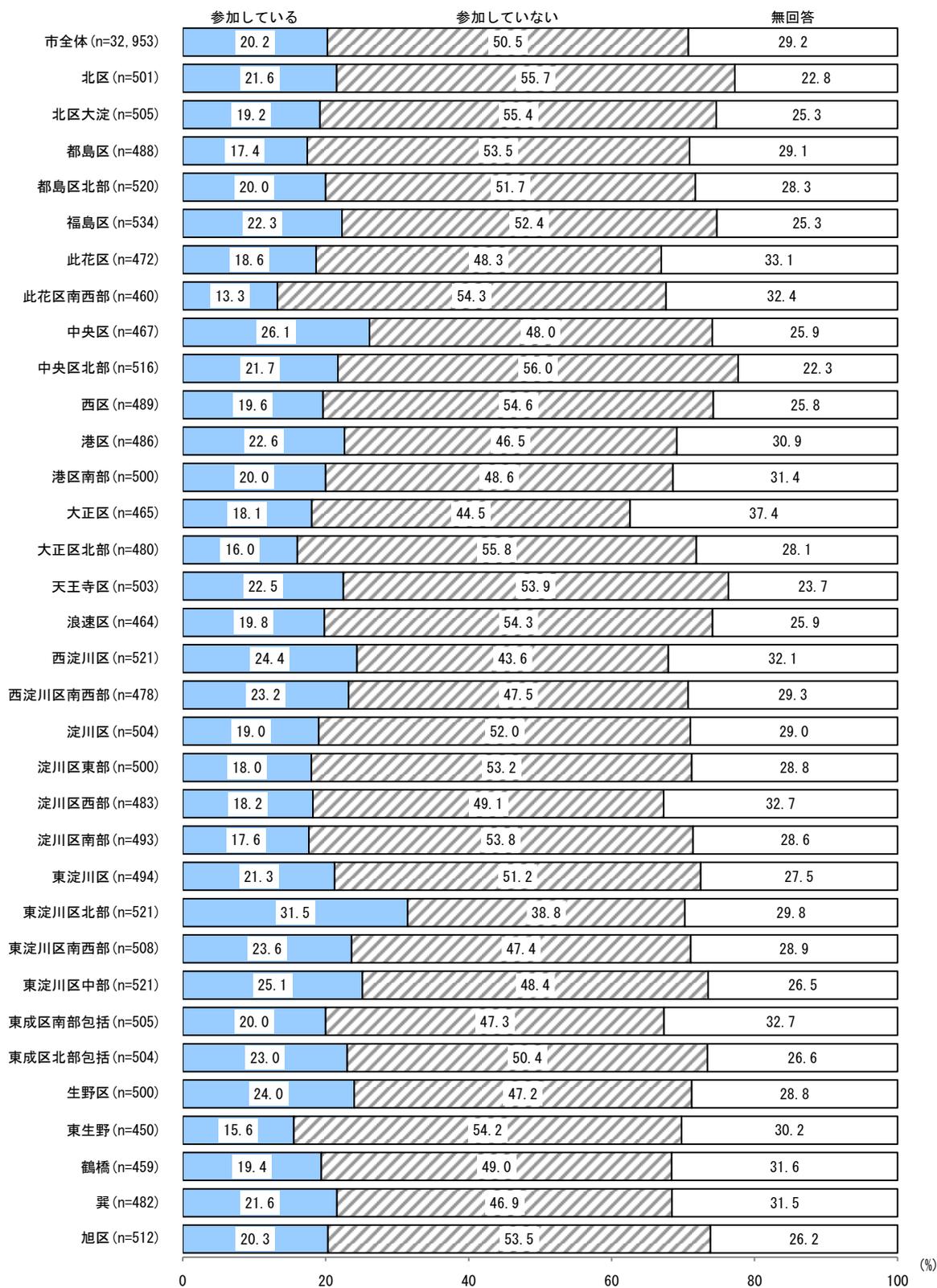


図表4-11-7② 社会参加の状況〔老人クラブ〕(日常生活圏域別)

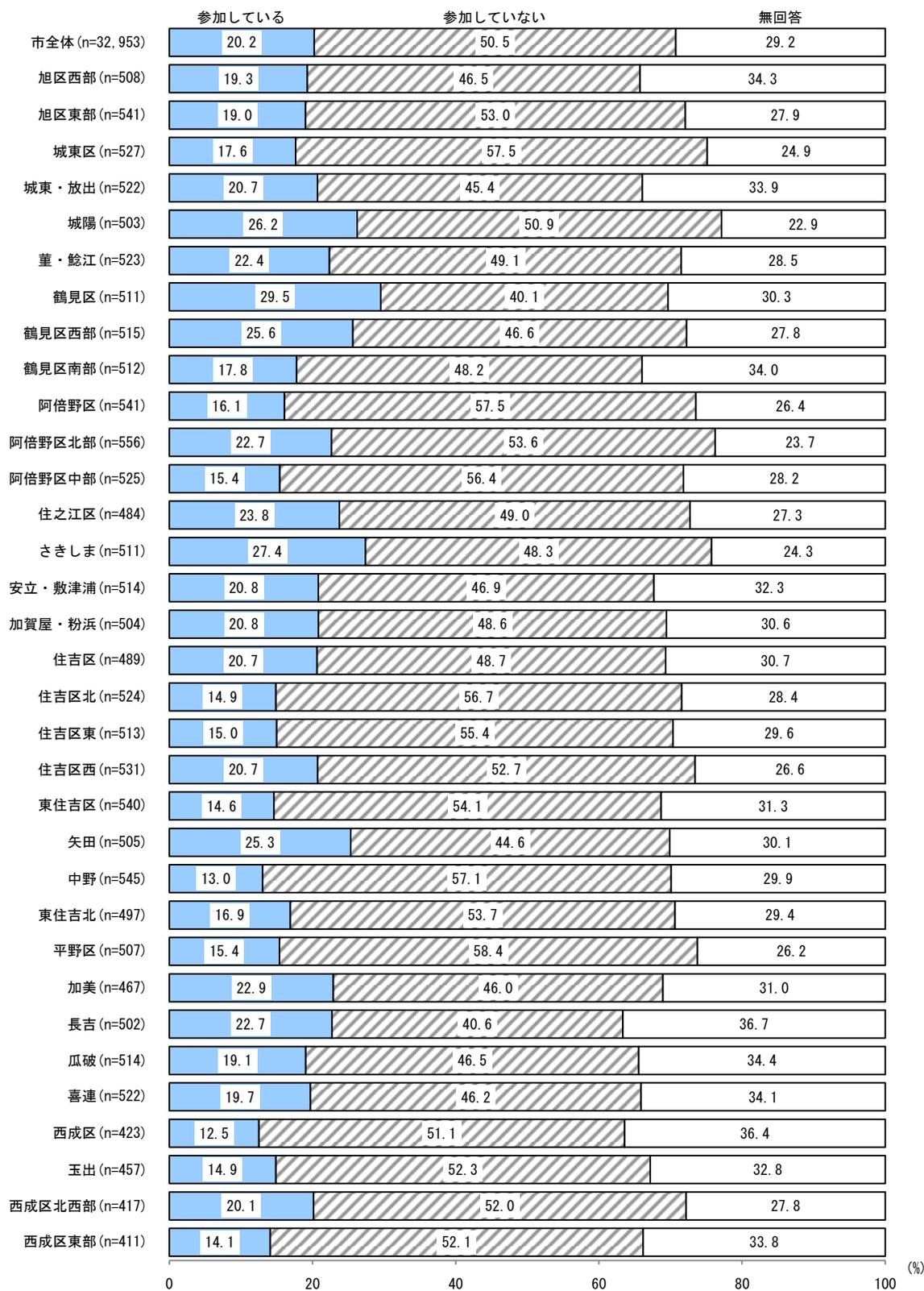


町内会・自治会に「参加している」割合は、東淀川区北部圏域（31.5%）が最も高くなっています。

図表 4-11-8① 社会参加の状況〔町内会・自治会〕（日常生活圏域別）

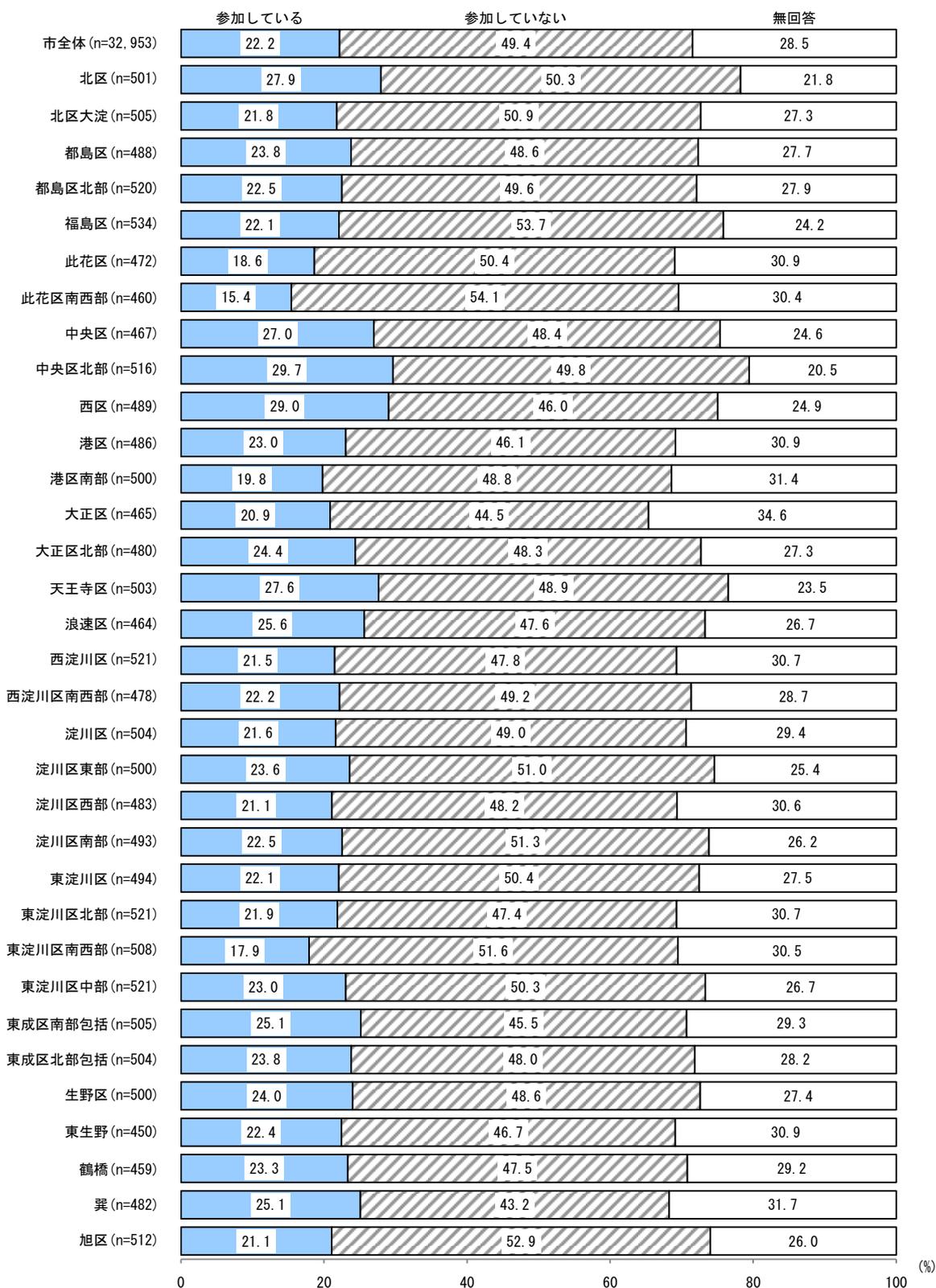


図表4-11-8② 社会参加の状況〔町内会・自治会〕(日常生活圏域別)

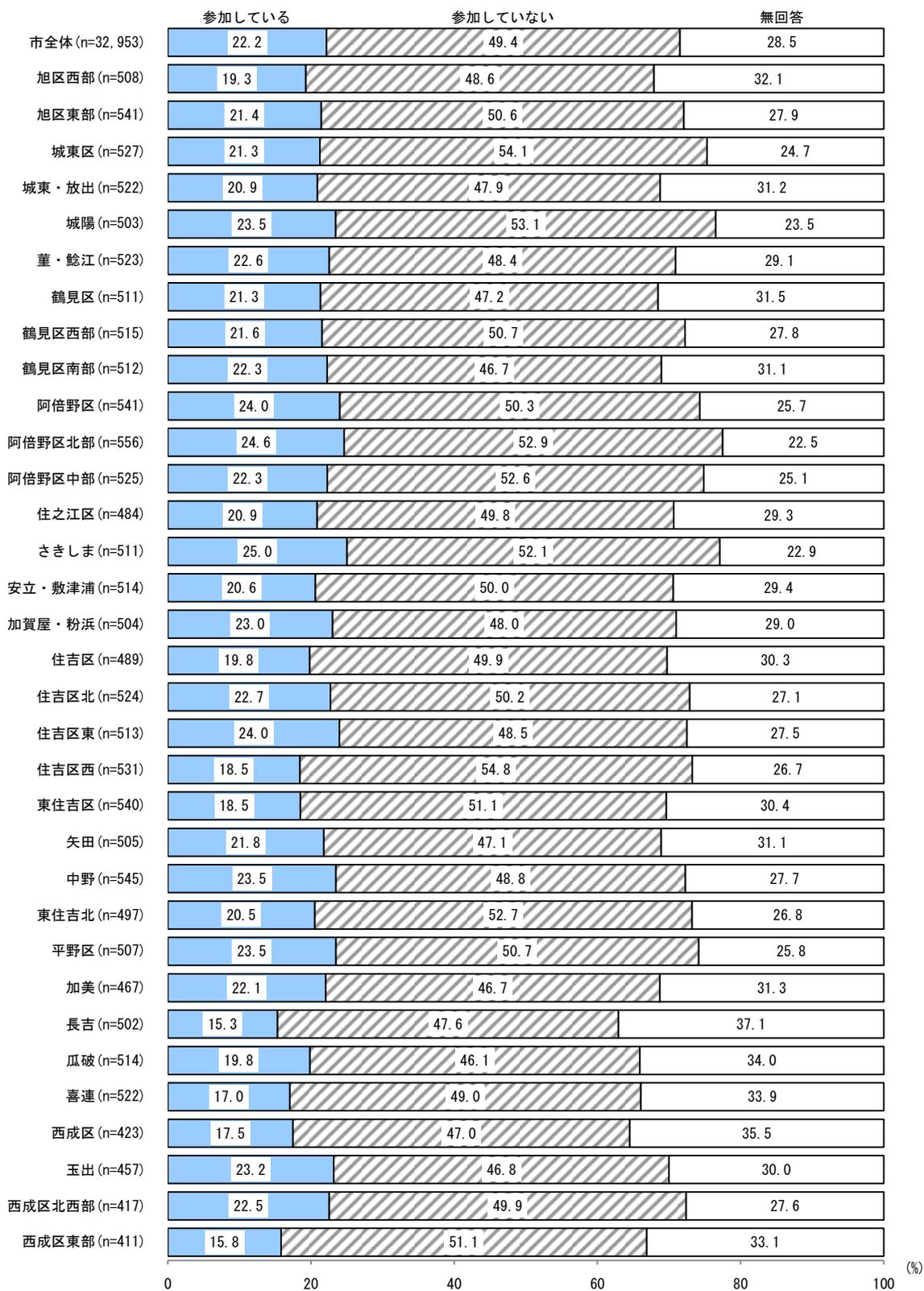


収入のある仕事に「参加している」割合は、中央区北部圏域（29.7%）が最も高くなっています。

図表4-11-9① 社会参加の状況〔収入のある仕事〕（日常生活圏域別）



図表4-11-9② 社会参加の状況〔収入のある仕事〕(日常生活圏域別)



# 第5章 2025(令和7)年、2040(令和22)年の姿

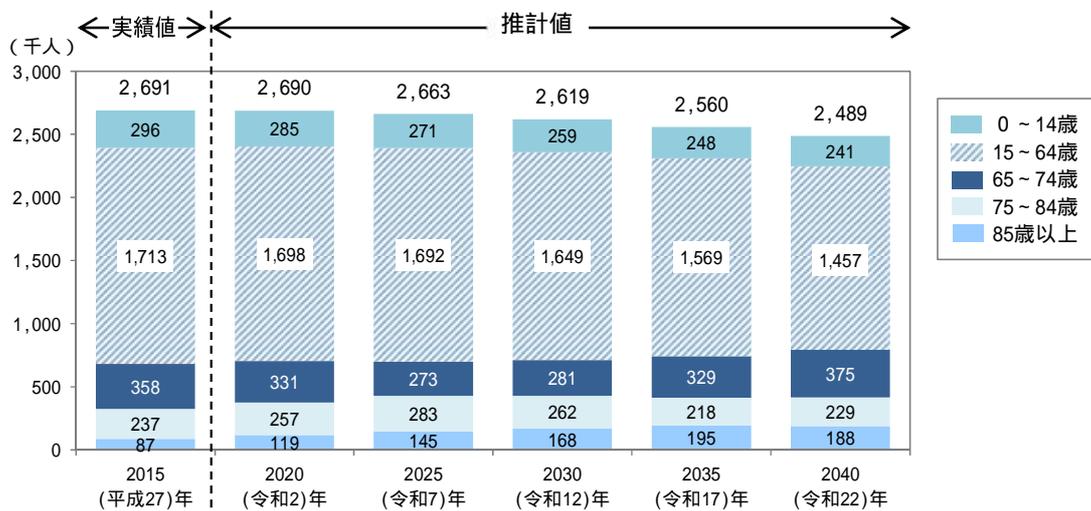
## 大阪市の人口等の将来推計

### (1) 人口構造の推移

大阪市の総人口は、2015(平成27)から2020(令和2)年頃を境に人口減少局面に向かい、将来の人口構成比をみると、少子高齢化の進行が予測されます。

高齢者人口については、65～74歳人口が、2015(平成27)年から2025(令和7)年まで、いったん減少する傾向がみられますが、2030(令和12)年以降は再び増加に転じます。75歳以上人口は「団塊の世代」がすべて75歳となる2025(令和7)年まで急激な増加が続き、その後は減少に転じると予測されています。

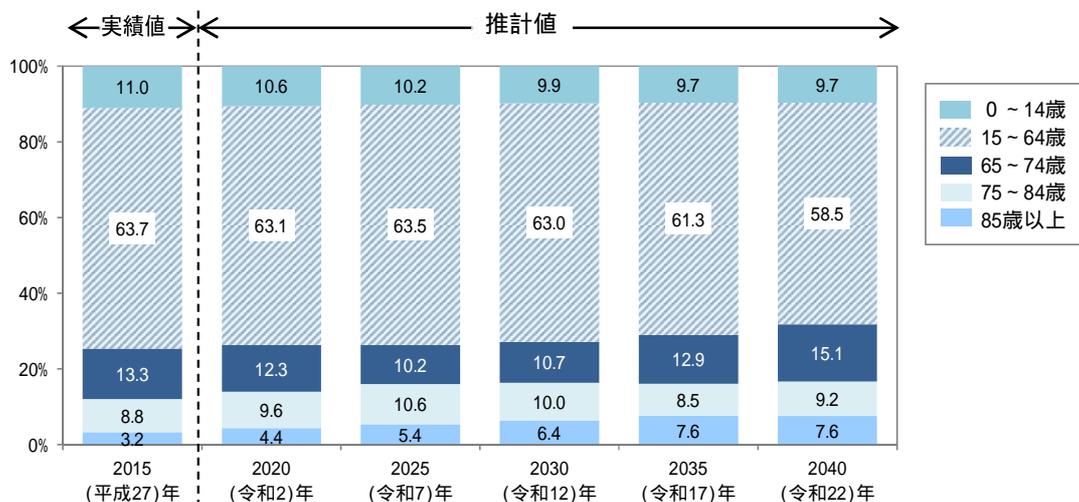
図表5-1-1 大阪市の年齢4区分別将来推計人口(推計)



総数には年齢不詳を含まない

資料: 国立社会保障・人口問題研究所「男女・年齢(5歳)階級別データ--『日本の地域別将来推計人口』(2018(平成30)年推計)」

図表5-1-2 大阪市の年齢4区分別将来推計人口(構成比)



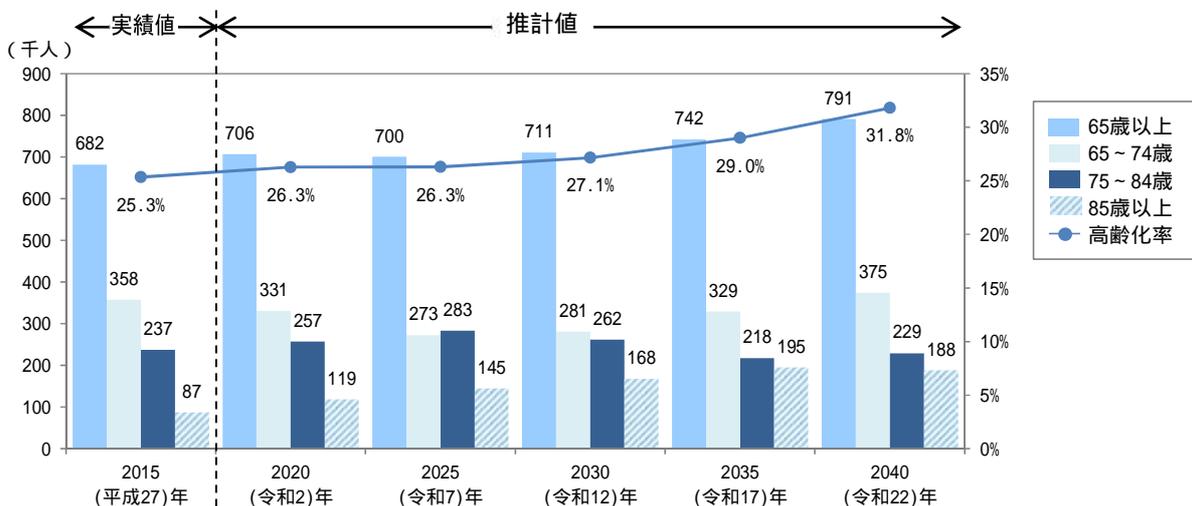
年齢不詳を除いた構成比

資料: 国立社会保障・人口問題研究所「男女・年齢(5歳)階級別データ--『日本の地域別将来推計人口』(2018(平成30)年推計)」

高齢化率については今後も上昇が見込まれ、大阪市の総人口に占める65歳以上人口の割合は、2025(令和7)年で26.3%、2040(令和22)年で31.8%と推計されます。

また、75歳以上人口については、2015(平成27)年から2020(令和2)年までの間に、65～74歳人口を上回ると見込まれています。

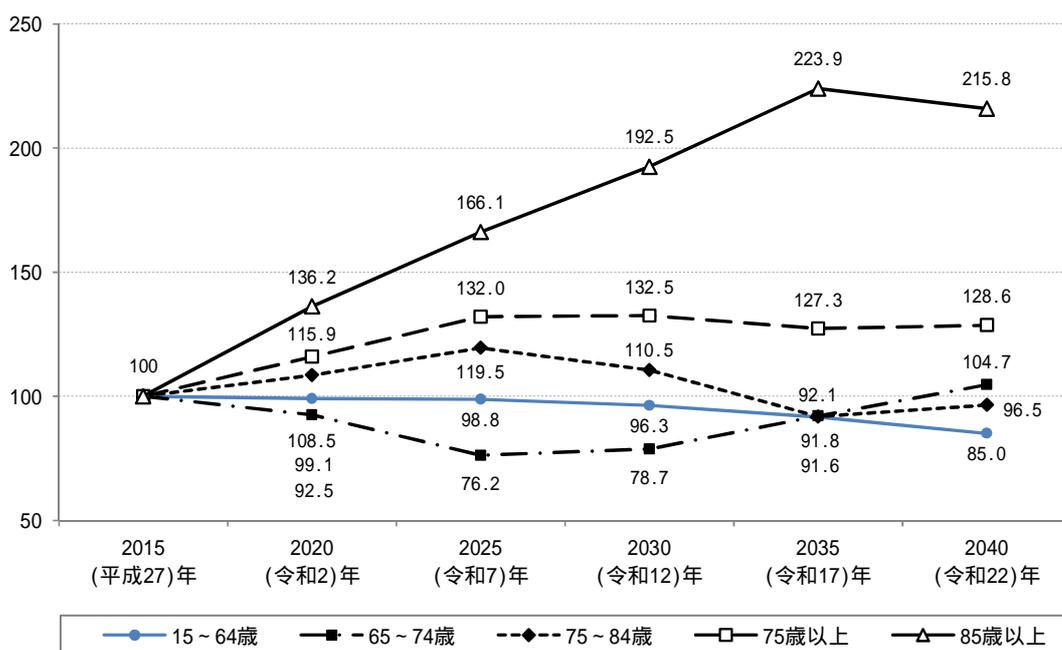
図表5-1-3 大阪市の将来推計人口(高齢者)



資料: 国立社会保障・人口問題研究所「男女・年齢(5歳)階級別データ--『日本の地域別将来推計人口』(2018(平成30)年推計)」

2015(平成27)年を100とした各年齢階層の伸びをみると、85歳以上の伸びが大きく、2035(令和17)年には223.9とピークを迎え、その後減少する見込みですが、2040(令和22)年で2015(平成27)年の約2倍になると見込まれます。また、75歳以上も増加傾向となつていますが、一方で15～64歳は減少傾向であり、2040(令和22)年には15%減少する見込みです。

図表5-1-4 2015(平成27)年を100とした各年齢階層の伸び



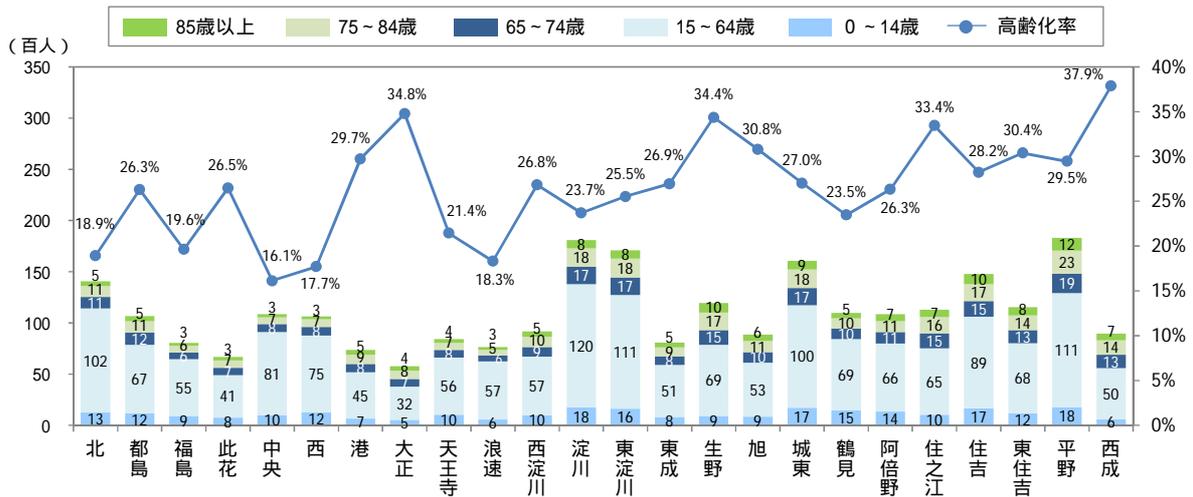
資料: 国立社会保障・人口問題研究所「男女・年齢(5歳)階級別データ--『日本の地域別将来推計人口』(2018(平成30)年推計)」

## (2) 高齢者人口の将来推計

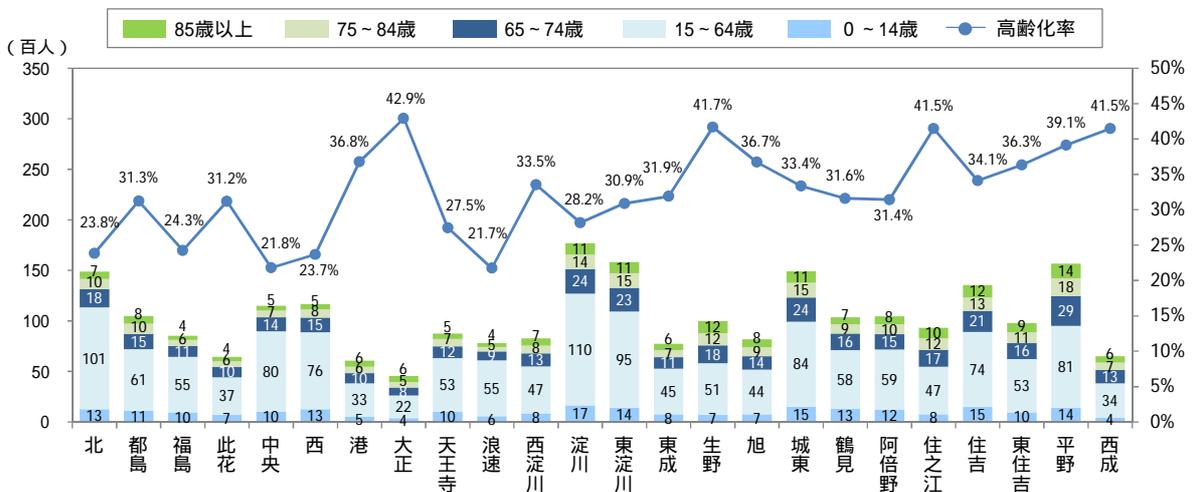
2025(令和7)年における高齢者の人口は平野区で最も多く、高齢化率は西成区、大正区、生野区の順に高くなると見込まれています。

2040(令和22)年における高齢者の人口も平野区で最も多く、高齢化率は大正区、生野区、住之江区の順に高くなると見込まれています。

図表3-4-9 将来人口推計(2025(令和7)年)



図表3-4-9 将来人口推計(2040(令和22)年)



資料：国立社会保障・人口問題研究所「男女・年齢(5歳)階級別データ『日本の地域別将来推計人口』(2018(平成30)年推計)」

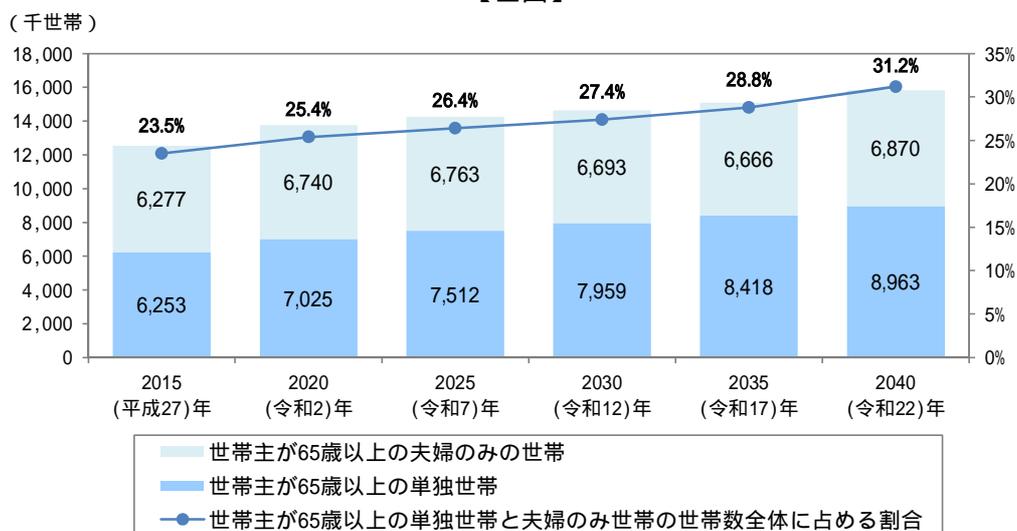
(3) 社会的援護が必要な世帯等の状況

全国的に、ひとり暮らし高齢者世帯、高齢者夫婦のみの世帯の増加が予測されます。大阪府でも同様の傾向であり、2035(令和17)年にはひとり暮らし高齢者世帯もしくは高齢者夫婦のみの世帯が世帯数全体の3割を占めると見込まれています。

国の資料から

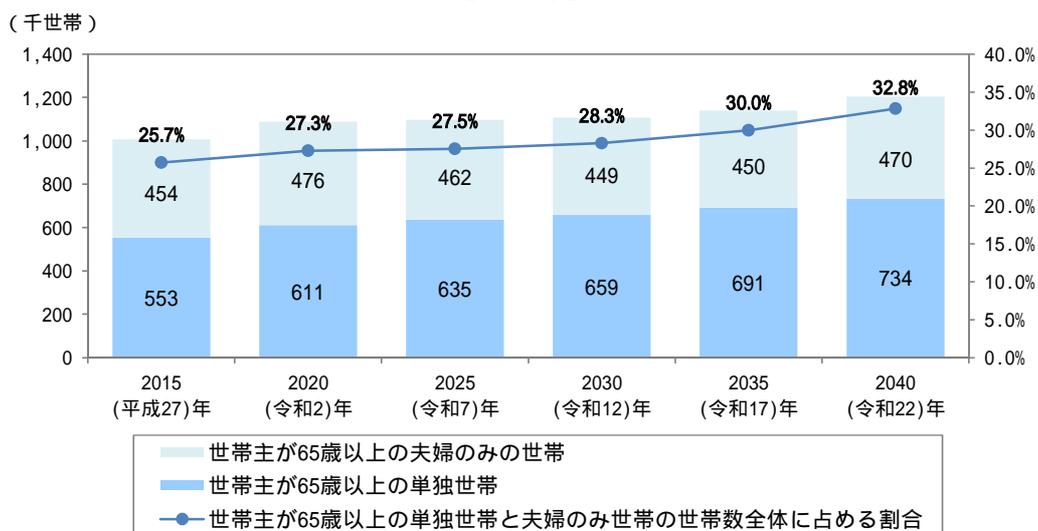
図表5-2-1 世帯主が65歳以上の単独世帯及び夫婦のみ世帯数の推計

【全国】



資料: 国立社会保障・人口問題研究所 『日本の世帯数の将来推計(全国推計)』(2018(平成30)年推計より)

【大阪府】

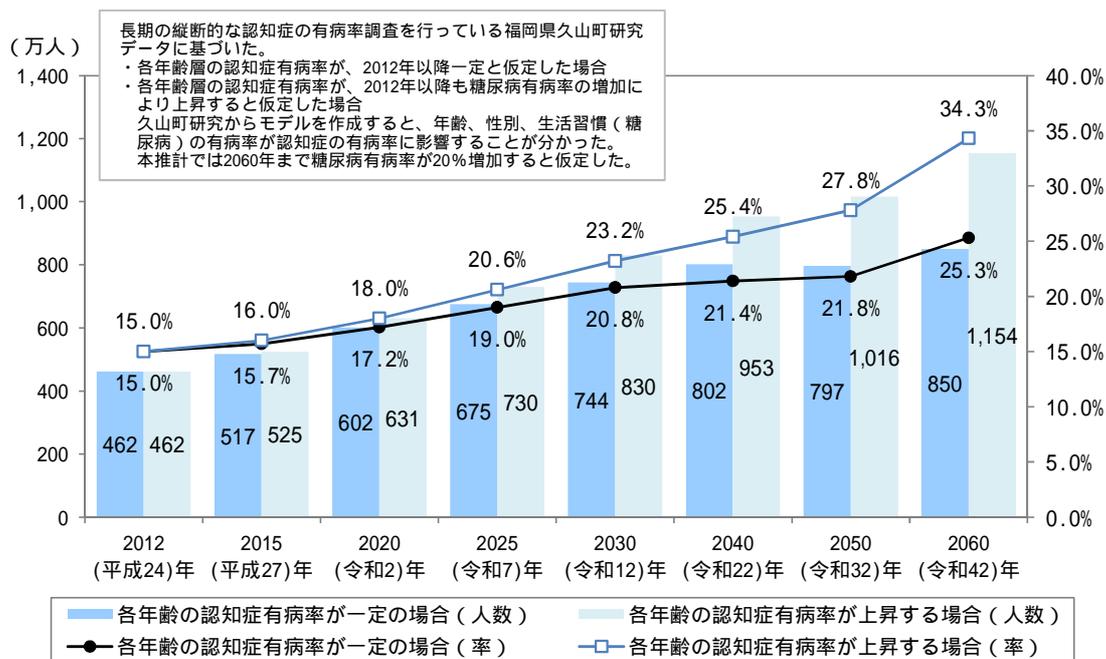


資料: 国立社会保障・人口問題研究所 『日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)』(2019年推計)

全国的に、認知症高齢者数は増加していくと推計されています。また、2025(令和7)年には、認知症患者数は約700万人、高齢者の5人に1人になると見込まれています。

国の資料から

図表5-2-2 65歳以上の認知症患者数と有病率の将来推計

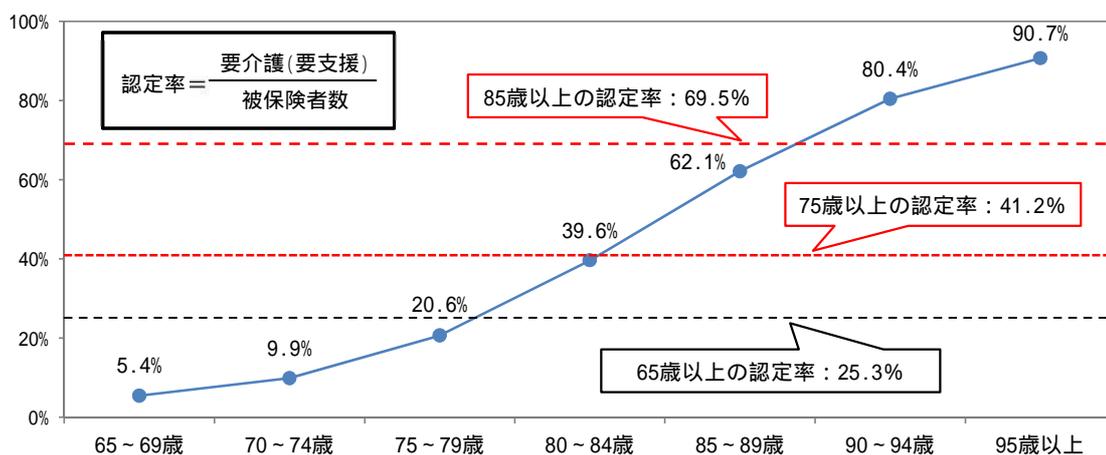


資料:「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(2014(平成26)年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学 二宮教授より)

### (4) 要介護(要支援)認定者

全国の推計によると、要介護(要支援)認定率は年齢とともに上昇しています。年齢区別にみると、85～89歳の6割以上が認定を受けています。今後、後期高齢者が増加するため、要介護(要支援)認定者数は増加していくものと見込まれます。

図表5-3-1 年齢階層別要介護認定率



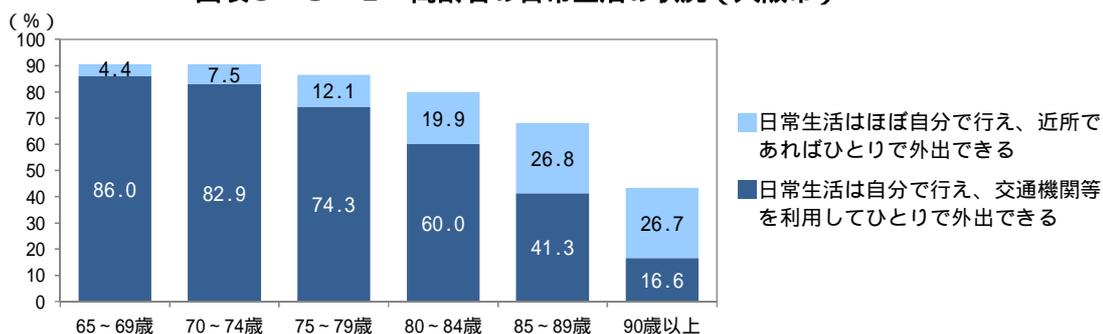
資料：大阪市福祉局(2020(令和2)年3月末)

### (5) ひとりで外出可能な比較的元気な高齢者

大阪市高齢者実態調査結果をみると、現状では、回答者の多くが、ひとりで外出可能な比較的元気な高齢者となっています。高齢になるほどその割合は低くなりますが、75～79歳の年齢区分でも、7割以上の方が、「日常生活は自分で行え、交通機関などを利用してひとりで外出できる」と答えています。

内閣府の調査によると、就労を希望する高齢者の割合は71.9%となっています。また、自主的なグループ活動への参加状況については、60歳以上の高齢者のうち61.0%(2013(平成25)年)が何らかのグループ活動に参加したことがあり、10年前(2003(平成15)年)と比べて6.2ポイント上昇し、社会参加意欲は高まっています。

図表5-3-2 高齢者の日常生活の状況(大阪市)



資料：大阪市高齢者実態調査報告書(2020(令和2)年3月)

## 第6章 計画の基本的な考え方

### 1 基本的な考え方・基本方針

#### (1) 施策推進の基本的な考え方

「団塊の世代」がすべて75歳以上となる2025(令和7)年、更にはその先の2040(令和22)年の社会を見据えて、高齢者も他の世代と共に社会を支えていくという考え方を基本として、高齢者の保健福祉をはじめとする諸施策の充実と介護保険事業の円滑な運営を図ることにより、高齢者一人ひとりが住み慣れた地域で自立した生活を安心して営み、長寿化した人生を健康でいきいきと豊かに尊厳をもって暮らすことのできる社会の実現をめざします。

このため、医療・介護・介護予防・住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」を推進します。

また、高齢者の自立支援とともに、要介護状態の重度化防止を図りつつ、介護保険制度の持続を確保し、サービスを必要とする人に必要なサービスを提供できる取組みを推進します。

大阪市においては、2015(平成27)年から2020(令和2)年を境に総人口が減少する一方で、65歳以上人口は横ばいから、2025(令和7)年以降高齢化が進展することが見込まれています。特に、85歳以上人口は、2035(令和27)年ごろまで急激に増加し続ける推計となっており、それに伴い、医療と介護ニーズを併せ持つ高齢者、重度の要介護認定者、ひとり暮らし高齢者、認知症高齢者などが増加すると見込まれます。

一方で、支え手である生産年齢(15歳から64歳)人口は少なくなっていく、また、核家族化の進行や、ひとり暮らし高齢者や夫婦のみの高齢者世帯が増加していくにつれて、家族や親族の支え合いの機能が希薄化し、地域の支え合いの機能も低下していくことも予測されます。

大阪市では、2000(平成12)年4月の介護保険制度の創設以来、介護保険の保険者として制度運営に取り組んできました。今後、高齢者が医療や介護を要する状態になった場合でも、可能な限り住み慣れた地域で尊厳を保ち、その有する能力に応じ自立した日常生活を送ることができるよう、地域支援事業や地域密着型サービスを効果的に活用した施策の充実を図るとともに、医療・介護の連携をはじめとした在宅支援体制の構築に努めます。

高齢者は、健康状態、経済力、家族構成、住居等が個々の状況に応じて多様であることから、高齢者像を一律に捉えることはできません。

介護を必要とする人がいる一方で、趣味や社会活動への参加など、自らの価値観にしたがって能動的・主体的な生活を送ることもできることから、介護が必要な方は、重度化を防

止し、健康な人は、要介護状態になることを予防する取組みを進めることができるよう支援をしていく必要があります。また、長年培った知識や経験など自身の持てる力を最大限活かし、高齢者自らが介護予防に向けた活動の担い手となることで、高齢者の社会参加や生きがいづくりに資することができるよう施策の展開を図ります。

ともに生きともに支え合い、だれもが自分らしく安心して暮らせる地域、さらにみんなが生活をともに楽しむ地域を作り上げていくという地域福祉の考え方を踏まえ、地域住民をはじめとしたボランティアやNPO等の多様な主体の参画を促しつつ、地域のすべての人が相互に協力しながら、それぞれの役割を積極的に果たすことにより、地域の実情に応じたきめ細かい対応を進めます。また、個々人の意欲や能力に応じた力を発揮し、役割を持って活躍いただくなど、高齢者はサービスの受け手であるだけでなく、地域福祉の担い手でもあるという高齢者自身の自立意識の醸成にも努めます。

認知症の人やひとり暮らし高齢者等については、地域において安心して暮らし、社会で孤立することのないよう、地域住民による見守りによる早期発見や支え合いの取組みを推進します。また、個人情報保護に配慮しながら、高齢者の情報把握や安否確認、避難支援などの仕組みづくりに努めることによって、災害時においても安全で安心して暮らせるまちづくりをめざします。

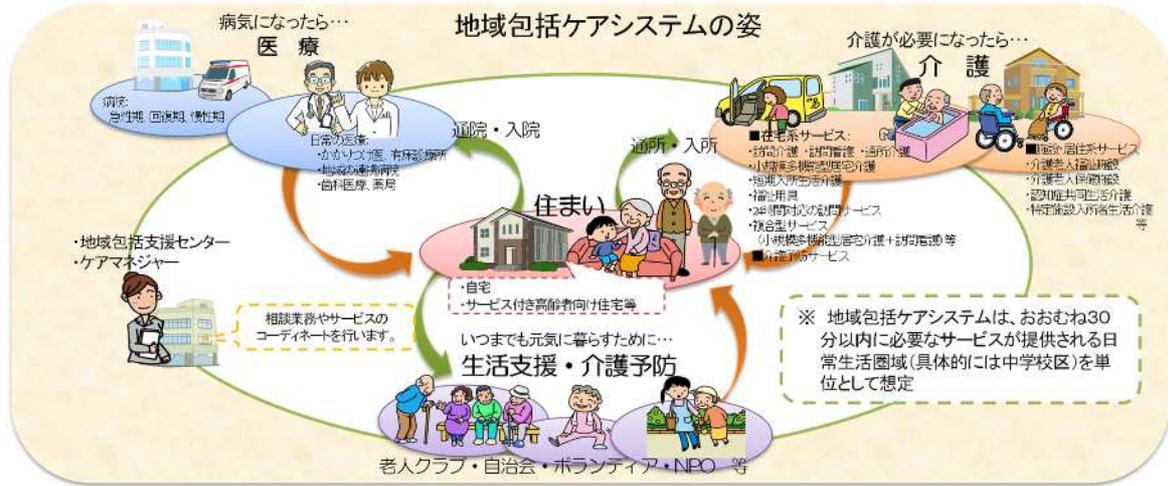
また、大阪市の65歳以上高齢者のいる世帯に占めるひとり暮らし高齢者世帯の割合が全都道府県・政令指定都市の中で最も高いという状況を踏まえ、「ひとり暮らし高齢者への支援」についても取組みを進めていきます。

さらに、近年では、高齢者虐待、高齢者に対する詐欺事件等、高齢者をめぐる様々な問題が生じていますが、これらは高齢者に対する重大な権利侵害です。大阪市の「人権尊重の社会づくり条例」前文に掲げる市民「一人ひとりの人権が尊重され、すべての人が自己実現をめざして、生きがいのある人生を創造できる自由、平等で公正な社会」の実現をめざし、高齢者の権利擁護や虐待の防止・解決等に向けた施策の推進を図ります。

これらの高齢者施策を着実に推進していくため、施策全体の方向性と個々の事業とのつながりを明らかにして、施策展開の中で必要性や効果の低くなった事業は整理していくとともに、新たに生じている課題に対して重点的に取り組んでいきます。また、事業の実施にあたっては、社会・経済状況を踏まえ、負担のあり方も含め、施策の目的がより効果的・効率的に達成できるよう取り組みます。

なお、今後高齢化が一層進む中で、高齢者の地域での生活を支える地域包括ケアシステムは、全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる地域共生社会の実現に向けた中核的な基盤となり得るとされており、地域づくりと一体的に地域共生社会の実現に向けた取組みを進めていく必要があります。

図表 6 - 1 - 1 地域包括ケアシステムの姿



資料：厚生労働省「介護予防・日常生活支援総合事業のガイドラインについて」

## (2) 高齢者施策推進の基本方針

本計画では、これらの考え方をもとに、次の四点を基本方針とします。

### 1. 健康でいきいきとした豊かな生活の実現

健康でいきいきとした豊かな生活を実現するため、高齢者が年齢にとらわれることなく自由に主体的に活動し、自立した生活を送ることができるよう、健康づくり支援、生きがいづくり支援や社会参加支援の充実に努めます。

### 2. 個々人の意思を尊重した生活の実現

個々人の意思を尊重した生活を実現するため、生活環境や心身の状況等に応じて、できる限り住み慣れた地域での生活を続けることができるよう、また、高齢者本人の意思に基づき、自立した生活を送ることができるよう、真に支援が必要な高齢者に対して、適切にサービスが提供されるよう取り組みます。

### 3. 安全で快適な生活環境の実現

安全で快適な生活環境を実現するため、高齢者が社会の一員として住み慣れた地域で自立した日常生活や社会生活を営めるよう、住まいづくりや防災体制の充実とともに、「ひとにやさしいまちづくり」の推進に努めます。

### 4. 利用者本位のサービス提供の実現

利用者本位のサービス提供を実現するため、高齢者自らの選択に基づき、安心してサービスを利用できるよう、情報提供、総合相談、サービスへつなぐ支援や権利擁護に努めます。

## 2 第8期計画における取組み方針

団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年、更にはその先の2040年を見据えて、医療・介護・介護予防・住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の推進に向けて、各種取組みを一層強化します。

また、高齢化の進展等により、認知症の人が増加すると見込まれることから、認知症の人ができる限り地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現をめざし、認知症施策推進大綱に沿って、総合的に認知症施策を推進していくことが重要です。

高齢者人口の大幅な増加が見込まれる一方、生産年齢人口は減少していくことから、地域包括ケアシステムを支える人材の確保及び資質の向上等に取組んでいくことも重要です。

さらに自然災害発生時の介護施設等の備えや、令和2年に流行した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)を含む感染症対策について、介護施設等で発生した際の体制整備を図っていくことが重要となっています。

国では、地域共生社会の実現と2040年の備えとして、以下の取組が示されており、大阪市内においてもこれらの取組みを進めていく必要があります。

### (1) 介護予防・地域づくりの推進～健康寿命の延伸～ / 「共生」・「予防」を両輪とする認知症施策の総合的推進

#### ・通いの場の拡充等による介護予防の推進

介護予防の推進にあたっては、機能回復訓練等の高齢者へのアプローチだけでなく、生活環境の調整など高齢者を取り巻く環境へのアプローチも含めたバランスのとれたアプローチや、高齢者の自立支援に資する取組みを推進することで、要介護状態等になっても高齢者が生きがいを持って生活できる地域の実現を目指すことが重要です。

そのため、高齢者が身近な場所で介護予防や健康づくりに参加でき、また、高齢者のフレイル状態を把握したうえで、適切な医療サービス等につなげることができるよう、介護予防に資する「通いの場」の充実を図る必要があります。

#### ・地域支援事業等を活用した地域づくりの推進

地域の実情に応じたよりきめ細かい対応を行うとともに、地域のつながり機能を強化していくため、総合事業をより効果的に推進していく必要があります。

#### ・認知症施策推進大綱を踏まえた認知症施策の総合的推進

認知症は、だれもがなりうるものであり、家族や身近な人が認知症になることなどを含め多くの人にとって身近なものとなっています。

本市の認知症施策については、これまで国の「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」に基づき取り組んできました。

第8期計画では、令和元年6月に国においてとりまとめられた「認知症施策推進大綱」に沿って、認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会をめざし、認知症の人や家族の視点を重視しながら認知症施策を進めていく必要があります。

## (2) 地域包括ケアシステムの推進

### ・地域特性等に応じた介護サービス基盤整備

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設等の介護保険施設、認知症高齢者グループホーム等の居住系サービス、訪問介護等の在宅サービスなどの介護サービス基盤について、認知症など利用者の状態に応じてそれぞれの役割や機能を果たしながら、また、関係サービスとの連携を強化しながら取り組んでいく必要があります。

### ・質の高いケアマネジメントに向けた環境整備

介護支援専門員の高齢者の自立支援に資するケアマネジメントを推進するため「ケアプランの点検」の強化を行うとともに、介護支援専門員に対し、自らの気づきを促す資質の向上と適正な給付の実施をめざす「ケアマネスキルアップ事業」などにより介護支援専門員がその役割を効果的に果たしながら質の高いケアマネジメントを実現できる環境整備を進める必要があります。

### ・医療介護連携の推進

切れ目のない在宅医療及び介護の提供体制を構築し、医療ニーズ及び介護ニーズを併せ持ち高齢者を地域で支えていくため、在宅医療・介護連携のための体制を充実させる必要があります。

また、地域の実情に応じた取組みが可能となるよう、PDCAサイクルに沿った事業実施をさらに進めていく必要があります。

## (3) 介護現場の革新～人材確保・生産性の向上～

介護職に限らず介護分野で働く人材の確保・育成を行い、介護現場全体の人手不足対策を進めていくとともに、人材のすそ野を広げていくことが重要です。

そのためには、処遇改善、多様な人材の活用の促進、介護の仕事の魅力向上、職場改善のための取組みを進めていく必要があります。

また、元気高齢者の参入による業務改善など介護現場革新の取組を推進していく必要があります。

## (4) 保険者機能強化推進交付金等の活用による保険者機能の強化

地域包括ケアシステムの推進と介護保険制度の持続可能性の確保のためには、保険者による地域課題の分析と対応が必要であり、保険者機能を抜本的に強化していく必要があることから、目標達成に向けた活動を継続的に改善する取組みである「地域マネジメント」を推進していく必要があります。

「地域マネジメント」によって、「実態把握・課題分析 計画作成 取組みの推進 実績評価」のPDCAサイクルを繰り返し行うことが、保険者機能の強化に資する取組みとして求められています。

平成29年の法改正により、地域の課題を分析して、自立支援、重度化防止に取り組むことが制度化され、客観的な指標を用いて、取組みを評価し、高齢者の自立支援・重度化防止等に関する取組みを推進する保険者機能推進交付金が創設されました。

さらに、令和2年度には、介護予防及び重度化防止に関する取組みについて更なる推進を図るため、介護予防・健康づくり等に資する取組みに重点化した介護保険保険者努力支援交付金が創設されました。

これら交付金を活用して、高齢者の自立支援・重度化防止等に向けた必要な各種取組みの一層の強化を図っていくことが重要です。

#### (5) 地域ケア会議の課題の検討

地域包括ケアシステムの推進を図っていくためには、個別課題の解決を図る地域ケア会議に加えて、個別ケア会議から見てきた課題を政策形成につなげるための取組みが必要となります。

また、適切なサービスにつながっていない高齢者個人の生活課題に対して、単に既存サービスを提供するだけでなく、その課題の背景にある要因を探り、個人と環境に働きかけることによって自立支援に資するケアマネジメントを、地域で活動する介護支援専門員が推進できるよう支援することも重要です。

#### (6) 災害・感染症発生時の体制整備

自然災害などの災害対策について、介護施設等は、自力避難困難な方も多く利用されていることから、利用者の安全を確保するため非常災害対策計画の作成及び避難訓練の実施等、日ごろからの備えや、発生時における支援が重要となっています。

また、令和2年2月に発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)を含む感染症対策について、介護施設等で感染が発生した際の代替サービスの確保等、サービスを継続するための備えや連携体制の構築を行うとともに、感染症に対する研修の充実等が必要です。

なお、計画に記載の各種取組みにあたっては、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)を含む感染症予防として、「三つの密」の回避や、「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染対策の継続をしつつ、高齢者に関

わる必要なサービスや各種事業が持続的に安心かつ安全に実施できるよう、関係機関と連携し取り組んでまいります。

## 大阪市の高齢者施策の体系

本計画においては、大阪市の高齢者施策の基本方針に基づき、地域包括ケアシステムの推進に向けた次の5つの重点的課題に向けた取組みを推進します。

### 【基本方針】

健康でいきいきとした  
豊かな生活の実現

個々人の意思を  
尊重した生活の実現

安全で快適な  
生活環境の実現

利用者本位の  
サービス提供の実現

### 【重点的な課題と取組み】

高齢者の地域包括ケアの  
推進体制の充実

認知症施策の推進

介護予防・健康づくりの  
充実・推進

地域包括ケアの推進に向けた  
サービスの充実

高齢者の多様な住まい方の支援

図表6-2-1 重点的な課題に向けた取組みの体系

重点的な課題と取組み	個別の施策
高齢者の地域包括ケアの推進体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在宅医療・介護連携の推進</li> <li>・ 地域包括支援センターの運営の充実 (地域ケア会議の推進)</li> <li>・ 地域における見守り施策の推進 (孤立化防止を含めた取組み)</li> <li>・ 複合的な課題を抱えた人への支援体制の充実</li> <li>・ ひとり暮らし高齢者への支援(再掲)</li> <li>・ 権利擁護施策の推進</li> </ul>
認知症施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普及啓発・本人発信支援</li> <li>・ 予防</li> <li>・ 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援</li> <li>・ 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援</li> </ul>
介護予防・健康づくりの充実・推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般介護予防事業の推進(介護予防・重度化防止の推進)</li> <li>・ 健康づくりの推進</li> <li>・ 保健事業と介護予防の一体実施</li> <li>・ 高齢者の社会参加と生きがいづくり</li> <li>・ ボランティア・NPO等の市民活動の支援</li> </ul>
地域包括ケアの推進に向けたサービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護予防・生活支援サービス事業の充実</li> <li>・ 生活支援体制の基盤整備の推進</li> <li>・ 介護給付費等対象サービスの充実</li> <li>・ 介護保険サービスの質の向上と確保</li> <li>・ 在宅支援のための福祉サービスの充実</li> <li>・ 介護人材の確保及び資質の向上</li> </ul>
高齢者の多様な住まい方の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様な住まい方の支援</li> <li>・ 高齢者の居住の安定に向けた支援</li> <li>・ 施設・居住系サービスの推進</li> <li>・ 住まいに対する指導体制の確保</li> </ul>

また、高齢者施策を総合的に推進するため、「重点的な課題と取組み」を含め、高齢者に関わる保健福祉施策及び介護保険事業、並びにそれ以外の高齢者に係る各施策について、具体的な施策を推進します。

### 3 日常生活圏域の設定

#### (1) 日常生活圏域の基本的な考え方

日常生活圏域は、高齢者が住み慣れた地域で継続して生活できるよう、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、介護給付等対象サービスを提供するための施設の整備の状況その他の条件を総合的に勘案して定める区域をいい、介護保険事業計画において設定することとなっています。(介護保険法第117条第2項第1号)

この日常生活圏域は地域包括ケアシステムの基礎となる区域であり、国においては概ね30分以内に必要なサービスが提供される範囲としています。また、地域包括支援センターの設置区域との整合性にも配慮するものとされています。

#### (2) 大阪市における日常生活圏域の設定

政令指定都市である大阪市の場合においては、各種サービスにおける提供の基本となる単位は行政区であることを踏まえ、第3期から第6期介護保険事業計画まで日常生活圏域を行政区単位(24圏域)としてきました。

しかしながら、介護保険事業における日常生活圏域として捉えた場合、今後、地域包括ケアシステムの推進にあたって、高齢者のニーズに基づく地域の課題を解決するには行政区単位では広範であることから、第7期介護保険事業計画において日常生活圏域をよりきめ細かなニーズ把握とそれに対応する高齢者支援のネットワークを構築できるよう、高齢者人口(概ね1万人に1か所)や地域性を考慮した担当圏域として設置される地域包括支援センター(66か所)が担当する圏域とする見直しを行いました。

今後、地域包括ケアシステムの推進を円滑に進めていくためには、地域の実情に応じた取組みを進めていくことが必要不可欠であり、その中で、地域包括支援センターは地域包括ケアの中核的な役割を担うことが求められています。

それぞれの地域包括支援センターが担当する圏域(66圏域)を日常生活圏域とし、高齢者の身近な課題に対して取組みを進めていくこととし、在宅医療・介護連携の推進や認知症の人への支援等の行政区単位の事業については、地域包括支援センターとのより一層の連携を図りながら、高齢者施策を推進していきます。

図 6 - 3 - 1 大阪市における日常生活圏域



区分	番号	圏域名
北区		北区
		北区大淀
都島区		都島区
		都島区北部
福島区		福島区
此花区		此花区
		此花区南西部
中央区		中央区
		中央区北部
西区		西区
港区		港区
		港区南部
大正区		大正区
		大正区北部
天王寺区		天王寺区
浪速区		浪速区
西淀川区		西淀川区
		西淀川区南西部
淀川区		淀川区
		淀川区東部
		淀川区西部
		淀川区南部

区分	番号	圏域名
東淀川区		東淀川区
		東淀川区北部
		東淀川区南西部
		東淀川区中部
東成区		東成区南部
		東成区北部
生野区		生野区
		東生野
		鶴橋
		巽
旭区		旭区
		旭区西部
		旭区東部
城東区		城東区
		城東・放出
		城陽
		董・鯉江
鶴見区		鶴見区
		鶴見区西部
		鶴見区南部
阿倍野区		阿倍野区
		阿倍野区北部

区分	番号	圏域名
阿倍野区		阿倍野区中部
住之江区		住之江区
		さきしま
		安立・敷津浦
住吉区		加賀屋・粉浜
		住吉区
		住吉区北
		住吉区東
東住吉区		住吉区西
		東住吉区
		矢田
		中野
		東住吉北
平野区		平野区
		加美
		長吉
		瓜破
		喜連
西成区		西成区
		玉出
		西成区北西部
		西成区東部

図6-3-3 日常生活圏域の人口等の推計

区	圏域	推計人口(大阪市都市計画局:2017(H29).10.1) 単位:人												
		総人口	0~14歳		15~64歳		65歳以上		65-74歳		75歳以上			
			人口	割合	人口	割合	人口	割合	人口	割合	人口	割合		
北区		129,575	11,647	9.0%	93,169	71.9%	24,759	19.1%	13,086	10.1%	11,673	9.0%		
		62,155	48.0%	5,612	9.0%	44,672	71.9%	11,871	19.1%	6,222	10.0%	5,652	9.1%	
		67,420	52.0%	6,035	9.0%	48,497	71.9%	12,888	19.1%	6,864	10.2%	6,021	8.9%	
都島区		106,504	11,949	11.2%	68,501	64.3%	26,054	24.5%	13,521	12.7%	12,533	11.8%		
		46,636	43.8%	3,909	8.4%	30,954	66.4%	11,773	25.2%	5,798	12.4%	6,000	12.9%	
		59,868	56.2%	8,040	13.4%	37,547	62.7%	14,281	23.9%	7,723	12.9%	6,533	10.9%	
福島区		74,412	8,786	11.8%	50,616	68.0%	15,010	20.2%	7,671	10.3%	7,339	9.9%		
此花区		66,381	7,794	11.7%	40,629	61.2%	17,958	27.1%	9,079	13.7%	8,879	13.4%		
		29,998	45.2%	3,011	10.0%	18,715	62.4%	8,272	27.6%	4,264	14.2%	4,000	13.3%	
		36,383	54.8%	4,783	13.1%	21,914	60.2%	9,686	26.6%	4,815	13.2%	4,879	13.4%	
中央区		96,457	8,652	9.0%	71,851	74.5%	15,954	16.5%	8,402	8.7%	7,552	7.8%		
		51,526	53.4%	3,662	7.1%	39,167	76.0%	8,697	16.9%	4,528	8.8%	4,172	8.1%	
		44,931	46.6%	4,990	11.1%	32,684	72.7%	7,257	16.2%	3,874	8.6%	3,380	7.5%	
西区		97,966	11,255	11.5%	71,091	72.6%	15,620	15.9%	8,420	8.6%	7,200	7.3%		
港区		81,050	8,571	10.6%	49,851	61.5%	22,628	27.9%	10,993	13.6%	11,635	14.4%		
		48,578	59.9%	5,819	12.0%	29,409	60.5%	13,349	27.5%	6,586	13.6%	6,749	13.9%	
		32,472	40.1%	2,752	8.5%	20,442	63.0%	9,279	28.6%	4,407	13.6%	4,886	15.0%	
大正区		64,357	6,972	10.8%	37,357	58.0%	20,028	31.1%	10,146	15.8%	9,882	15.4%		
		26,809	41.7%	2,675	10.0%	15,711	58.6%	8,423	31.4%	4,160	15.5%	4,276	15.9%	
		37,548	58.3%	4,297	11.4%	21,646	57.6%	11,605	30.9%	5,986	15.9%	5,606	14.9%	
天王寺区		78,429	10,167	13.0%	52,469	66.9%	15,793	20.1%	7,920	10.1%	7,873	10.0%		
浪速区		72,609	4,887	6.7%	53,850	74.2%	13,872	19.1%	7,364	10.1%	6,508	9.0%		
西淀川区		95,538	11,763	12.3%	59,600	62.4%	24,175	25.3%	12,398	13.0%	11,777	12.3%		
		52,491	54.9%	6,565	12.5%	32,674	62.2%	13,253	25.2%	7,148	13.6%	6,068	11.6%	
		43,047	45.1%	5,198	12.1%	26,926	62.6%	10,922	25.4%	5,250	12.2%	5,709	13.3%	
淀川区		179,253	18,021	10.1%	119,351	66.6%	41,881	23.4%	21,923	12.2%	19,958	11.1%		
		56,038	31.3%	6,246	11.1%	36,858	65.8%	12,934	23.1%	6,737	12.0%	6,201	11.1%	
		48,916	27.3%	4,619	9.4%	32,791	67.0%	11,506	23.5%	6,295	12.9%	5,179	10.6%	
		26,258	14.6%	2,799	10.7%	17,366	66.1%	6,094	23.2%	3,072	11.7%	3,036	11.6%	
東淀川区		48,041	26.8%	4,357	9.1%	32,337	67.3%	11,347	23.6%	5,820	12.1%	5,542	11.5%	
		175,877	17,551	10.0%	114,882	65.3%	43,444	24.7%	21,841	12.4%	21,603	12.3%		
		46,318	26.3%	6,433	13.9%	28,941	62.5%	10,944	23.6%	5,758	12.4%	5,149	11.1%	
		51,164	29.1%	5,176	10.1%	33,369	65.2%	12,619	24.7%	6,292	12.3%	6,334	12.4%	
東成区		44,760	25.4%	4,424	9.9%	29,773	66.5%	14,568	32.6%	5,599	12.5%	6,048	13.5%	
		33,635	19.1%	3,422	10.2%	22,772	67.7%	10,508	31.2%	5,508	16.4%	4,072	12.1%	
		81,971										12.6%	10,857	13.2%
生野区		40,102	48.9%									12.4%	5,444	13.6%
		41,869	51.1%									12.7%	5,413	12.9%
		129,837										14.8%	22,139	17.1%
旭区		36,373	28.0%									14.1%	6,731	18.5%
		26,315	20.3%									16.1%	4,248	16.1%
		25,165	19.4%									15.1%	4,340	17.2%
城東区		41,983	32.3%									14.5%	6,820	16.2%
		91,013	9,381	10.3%	54,320	59.7%	27,312	30.0%	12,959	14.2%	14,353	15.8%		
		29,484	32.4%	2,805	9.5%	17,753	60.2%	8,926	30.3%	4,270	14.5%	4,653	15.8%	
鶴見区		21,574	23.7%	2,013	9.3%	13,016	60.3%	6,545	30.3%	2,971	13.8%	3,588	16.6%	
		39,955	43.9%	4,563	11.4%	23,551	58.9%	11,841	29.6%	5,718	14.3%	6,112	15.3%	
		166,287	20,387	12.3%	103,220	62.1%	42,680	25.7%	21,362	12.8%	21,318	12.8%		
		44,761	26.9%	5,968	13.3%	27,444	61.3%	11,348	25.4%	5,775	12.9%	5,561	12.4%	
鶴見区		40,895	24.6%	5,384	13.2%	25,123	61.4%	10,388	25.4%	5,272	12.9%	5,107	12.5%	
		37,362	22.5%	3,269	8.7%	24,120	64.6%	9,973	26.7%	4,805	12.9%	5,191	13.9%	
		43,269	26.0%	5,766	13.3%	26,532	61.3%	10,971	25.4%	5,510	12.7%	5,459	12.6%	
阿倍野区		111,544	16,901	15.2%	69,529	62.3%	25,114	22.5%	12,238	11.0%	12,876	11.5%		
		39,598	35.5%	5,611	14.2%	24,968	63.1%	9,019	22.8%	4,218	10.7%	4,828	12.2%	
		41,907	37.6%	7,432	17.7%	25,326	60.4%	9,148	21.8%	4,554	10.9%	4,579	10.9%	
住之江区		30,039	26.9%	3,857	12.8%	19,234	64.0%	6,947	23.1%	3,465	11.5%	3,470	11.6%	
		108,728	13,643	12.5%	67,039	61.7%	28,046	25.8%	13,310	12.2%	14,736	13.6%		
		43,273	39.8%	5,465	12.6%	26,657	61.6%	11,152	25.8%	5,176	12.0%	5,986	13.8%	
東住吉区		37,854	34.8%	5,267	13.9%	22,975	60.7%	9,612	25.4%	4,644	12.3%	4,962	13.1%	
		27,601	25.4%	2,912	10.5%	17,407	63.1%	7,282	26.4%	3,491	12.6%	3,789	13.7%	
		121,688	13,055	10.7%	72,100	59.2%	36,533	30.0%	19,213	15.8%	17,320	14.2%		
住吉区		39,223	32.2%	4,882	12.4%	22,792	58.1%	11,549	29.4%	6,181	15.8%	5,356	13.7%	
		25,474	20.9%	2,590	10.2%	15,189	59.6%	7,696	30.2%	4,439	17.4%	3,214	12.6%	
		23,840	19.6%	2,414	10.1%	14,221	59.7%	7,206	30.2%	3,445	14.5%	3,797	15.9%	
東住吉区		33,150	27.2%	3,169	9.6%	19,899	60.0%	10,083	30.4%	5,147	15.5%	4,952	14.9%	
		153,388	18,009	11.7%	92,759	60.5%	42,620	27.8%	19,980	13.0%	22,640	14.8%		
		39,935	26.0%	4,765	11.9%	24,098	60.3%	11,072	27.7%	5,315	13.3%	5,743	14.4%	
		36,996	24.1%	3,644	9.8%	22,852	61.8%	10,500	28.4%	4,686	12.7%	5,840	15.8%	
平野区		36,148	23.6%	4,728	13.1%	21,528	59.6%	9,892	27.4%	4,994	13.8%	4,859	13.4%	
		40,310	26.3%	4,872	12.1%	24,281	60.2%	11,156	27.7%	4,986	12.4%	6,197	15.4%	
		126,225	14,204	11.3%	74,841	59.3%	37,180	29.5%	17,379	13.8%	19,801	15.7%		
西成区		42,038	33.3%	5,394	12.8%	24,482	58.2%	12,162	28.9%	5,597	13.3%	6,576	15.6%	
		28,222	22.4%	2,191	7.8%	17,391	61.6%	8,640	30.6%	3,969	14.1%	4,679	16.6%	
		30,572	24.2%	3,332	10.9%	18,199	59.5%	9,041	29.6%	4,247	13.9%	4,791	15.7%	
		25,393	20.1%	3,287	12.9%	14,769	58.2%	7,337	28.9%	3,566	14.0%	3,755	14.8%	
西成区		194,818	22,951	11.8%	116,467	59.8%	55,400	28.4%	25,996	13.3%	29,404	15.1%		
		41,270	21.2%	5,636	13.7%	24,148	58.5%	11,486	27.8%	5,571	13.5%	5,880	14.2%	
		38,403	19.7%	4,717	12.3%	22,828	59.4%	10,858	28.3%	5,636	14.7%	5,116	13.3%	
西成区		47,616	24.4%	5,416	11.4%	28,597	60.1%	13,603	28.6%	5,991	12.6%	7,689	16.1%	
		32,476	16.7%	3,443	10.6%	19,675	60.6%	9,359	28.8%	4,338	13.4%	5,032	15.5%	
		35,053	18.0%	3,740	10.7%	21,220	60.5%	10,094	28.8%	4,460	12.7%	5,688	16.2%	
		110,594	7,532	6.8%	59,036	53.4%	44,026	39.8%	22,816	20.6%	21,210	19.2%		
西成区		24,558	22.2%	1,974	8.0%	12,936	52.7%	9,647	39.3%	4,838	19.7%	4,832	19.7%	
		25,239	22.8%	2,876	11.4%	12,810	50.8%	9,553	37.8%	4,793	19.0%	4,782	18.9%	
		19,098	17.3%	1,425	7.5%	10,124	53.0%	7,550	39.5%	3,783	19.8%	3,784	19.8%	
		41,698	37.7%	1,257	3.0%	23,166	55.6%	17,276	41.4%	9,402	22.5%	7,811	18.7%	

後日更新

年齢別人口及び世帯数については、2015(H27).10.1の国勢調査をもとに按分等したのになります

(総論) 第6章 計画の基本的な考え方

区	圏域	国勢調査結果(総務省:2015(H27).10.1)より推計 単位:人			介護保険事業統計(大阪市福祉局:2017(H29).3.31) 単位:人			
		世帯数	高齢者を含む世帯数	高齢者単身世帯	第1号被保険者	認定者数	要支援認定者数	要介護認定者数
北区		74,053	16,630	7,209	23,678	4,996	2,009	2,987
		39,084	7,826	3,492				
		34,969	8,804	3,717				
都島区		51,505	17,139	6,619	24,819	5,399	2,113	3,286
		25,611	7,599	3,346				
		25,894	9,540	3,273				
福島区		37,485	10,008	3,635	14,704	3,141	1,245	1,896
此花区		30,685	12,105	4,467	18,045	3,895	1,429	2,466
		13,392	5,686	2,125				
		17,293	6,419	2,342				
中央区		59,023	11,532	5,500	15,920	3,249	1,234	2,015
		29,346	6,427	3,351				
		29,677	5,105	2,149				
西区		52,106	10,183	3,934	15,266	2,907	1,153	1,754
港区		40,323	15,170	6,019	22,192	5,150	1,720	3,430
		26,556	8,965	3,411				
		13,767	6,205	2,608				
大正区		29,172	13,495	5,162	20,156	4,682	1,719	2,963
		11,227	5,673	2,208				
		17,945	7,822	2,954				
天王寺区		38,014	10,291	4,121	14,636	3,342	1,239	2,103
浪速区		47,440	9,483	3,902	12,618	3,284	1,231	2,053
西淀川区		42,889	16,326	6,090	24,090	5,226	2,057	3,169
		24,518	9,176	3,331				
		18,371	7,150	2,759				
淀川区		94,400	29,038	12,351	40,535	8,667	3,504	5,163
		27,707	8,972	3,629				
		30,430	8,157	3,647				
		10,607	4,080	1,677				
		25,656	7,829	3,398				
東淀川区		92,435	29,024	12,219	41,563	10,318	3,648	6,670
		24,849	7,233	2,927				
		22,768	8,355	3,297				
		25,515	7,822	3,650				
		19,303	5,614	2,345				
東成区		39,637	14,145	5,518			2,003	3,021
		17,304						
		22,333						
生野区		63,532					3,373	7,216
		15,203						
		15,708						
		12,820						
		19,801						
旭区		43,664					2,588	4,174
		14,342						
		10,007						
城東区		19,315	8,137	3,054	42,721	9,315	3,929	5,386
		76,379	28,812	10,967				
		24,310	7,832	3,111				
		17,893	7,038	2,539				
		15,406	6,491	2,423				
鶴見区		18,770	7,451	2,894	24,788	5,646	2,079	3,567
		46,325	16,524	5,374				
		15,302	5,875	1,941				
阿倍野区		18,223	6,068	1,945	27,753	6,765	2,812	3,953
		12,800	4,581	1,488				
		50,055	19,210	7,780				
		18,525	7,530	2,897				
住之江区		19,579	6,634	2,844	35,629	8,095	3,103	4,992
		11,951	5,046	2,039				
		56,868	23,983	9,365				
		20,021	7,848	3,260				
		10,499	4,503	1,286				
住吉区		11,089	4,678	1,914	41,956	11,005	4,296	6,709
		15,259	6,954	2,905				
		71,658	28,703	11,905				
		20,185	7,554	3,230				
東住吉区		15,149	6,804	2,661	37,581	10,201	3,602	6,599
		19,459	7,049	3,133				
		16,865	7,296	2,881				
		57,681	25,020	10,036				
		19,056	8,222	3,046				
平野区		12,208	5,668	2,617	54,721	13,592	4,939	8,653
		14,292	6,234	2,623				
		12,125	4,896	1,750				
		88,854	37,300	14,720				
		21,343	7,837	3,092				
		18,221	7,216	2,713				
西成区		20,737	9,204	3,808	41,112	12,825	4,196	8,629
		13,668	6,135	2,355				
		14,885	6,908	2,752				
		68,230	32,986	22,456				
		14,933	7,098	4,510				
	15,121	6,578	3,532					
	10,703	5,496	3,271					
	27,473	13,814	11,143					

後日更新